

2019年度

神戸女学院大学 専任教員
教育・研究業績報告集

神戸女学院大学
FD センター(学長室)

『2019年度 教育・研究業績報告書』の発行にあたって

『2019年度 教育・研究業績報告書』を発行いたします。公表する項目は、大学基準協会の定めるところに準拠しつつ、本学が2007年度に設定したものです。

この報告書には、本学専任教員の教育、研究、社会活動の記録が集められています。どうか一人ひとりの活動内容をご覧くださり、本学が小さいながらも多様な分野で教育研究活動を行う場として機能していることをご確認くださいようお願い申し上げます。記載されている内容は、原則として教員本人の申告によるものであり、個々の教員の自己評価活動の一端を表しています。このような業績の公開が、社会への情報の発信につながり、本学の教員の教育研究活動のいっそうの向上をもたらすことになれば幸いです。

『教育・研究業績報告書』は神戸女学院大学のホームページにも掲載しております。こちらもご覧いただければありがたく存じます。

2020年11月

FDセンター・ディレクター
孟 真理

目 次

文学部	英文学科	教授	Shawn BANASICK	----- 1	
			栗 栖 和 孝	----- 2	
			松 尾 步	----- 3	
			溝 口 薫	----- 5	
			白 井 由美子	----- 6	
			立 石 浩 一	----- 8	
			Yolanda TSUDA	----- 10	
			和 氣 節 子	----- 12	
			准教授	Nathaniel CARNEY	----- 13
				FUKUSHIMA Marcelo	----- 15
	古 村 敏 明	----- 16			
	南 出 和 余	----- 18			
	中 村 昌 弘	----- 20			
	奥 村 キャサリン	----- 22			
	Goran VAAGE	----- 23			
	Corey WAKELING	----- 25			
	専任講師	Susan JONES		----- 27	
	総合文化学科	教授	古 岡 俊 之	----- 29	
			石 川 康 宏	----- 37	
金 田 知 子			----- 39		
川 瀬 雅 也			----- 41		
河 島 真			----- 42		
北 川 将 之			----- 44		
藏 中 さやか			----- 46		
三 杉 圭 子			----- 48		
孟 真 理			----- 50		
中 野 敬 一			----- 51		
清 水 学			----- 53		
建 石 始			----- 54		
横 田 恵 子			----- 56		
與那嶺 司			----- 57		
米 田 眞 澄			----- 59		

		准教授	伊藤拓真	-----	60
			景山佳代子	-----	61
			桐生裕子	-----	62
			小林隆道	-----	64
			栗山圭子	-----	66
			奥野佐矢子	-----	68
			笹尾佳代	-----	70
			戸江哲理	-----	72
			渡部充	-----	73
		専任講師	大澤香	-----	74
音楽学部	音楽学科	教授	松本薫平	-----	76
			斉藤言子	-----	79
			佐々由佳里	-----	82
			島崎徹	-----	84
			田中修二	-----	86
			津上智実	-----	88
		准教授	Xavier John LUCK	-----	91
			松浦修	-----	94
			岡田将	-----	97
			辻井淳	-----	100
人間科学部	心理・行動科学科	教授	石谷真一	-----	102
			小林知博	-----	104
			國吉知子	-----	106
			三浦欽也	-----	111
		准教授	木村昌紀	-----	113
			水本誠一	-----	116
			須藤春佳	-----	119
			鶴田英也	-----	121
			若佐美奈子	-----	123
			矢野円郁	-----	125
環境・バイオサイエンス学科		教授	出口弘	-----	127
			遠藤知二	-----	128
			張野宏也	-----	130

		三宅志穂	-----	132
		中川徹夫	-----	134
		西田昌司	-----	139
		野寄玲児	-----	141
		塩見尚史	-----	142
		高岡素子	-----	144
		寺嶋正明	-----	146
		横田弘文	-----	147
体育研究室	准教授	小坂美保	-----	149
	専任講師	安田友紀	-----	151
共通英語教育研究センター	准教授	Kurtis McDONALD	-----	153
	専任講師	田岡千明	-----	156

凡 例

▷ 掲載対象は2020年4月1日現在の在職教員とした（職名は2019年4月1日現在のものを記載）。ただし、新任教員は除く。

▷ 配列は、学部学科ごとに教授、准教授、専任講師、助教の順序とし、それぞれアルファベット順とした。

▷ 記載事項

氏名、学位、専門分野、研究課題

1. 教育活動

担当授業科目／教育活動上特記すべき事項

2. 研究活動

著書・CD／学術論文／学会発表／演奏会*／作曲・編曲*／その他研究発表、演奏／その他の著作・訳書等／研究助成金の受領状況／産官学連携の受領状況

3. 社会活動

学会役員等／公開講座、市民講座等での講演／公開レッスンでの指導*／コンクール等の審査*／学外機関委員等／その他社会活動上特記すべき事項

4. 海外での活動

注) *原則、音楽学部のみ記載

氏名／所属／職名

Shawn BANASICK / 英文学科 / 教授

学位						
B.A., M.A., Ph.D.						
専門分野						
International Relations						
研究課題						
US-Japan security agreement, regional development, US military bases in Okinawa						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
クローバーゼミ, Current Issues in Japan, Introduction to Global StudiesI, Introduction to Global StudiesII, EnglishIa, EnglishIb, Lecture & Discussion: International Relations, Topics in International Relations, Advanced Discussion on Global IssuesB, Graduation Thesis SeminarI, Graduation Thesis SeminarII						
担当授業科目(大学院)						
American Studies						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
"KADE: A desktop application for Q methodology."(Peer reviewed)	単	2019.4.23	The Journal of Open Source Software 4(36),	pp.1-4		
学会発表						
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間		機関名・委員名・役職名				
その他社会活動上特記すべき事項						
海外での活動						
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること						
期間	国名	概要				

氏名／所属／職名

栗栖 和孝 KURISU Kazutaka / 英文学科 / 教授

学位				
学士(外国文化), 修士(英語学), Ph.D.(言語学)				
専門分野				
理論言語学(音韻論・形態論)				
研究課題				
世界の諸言語の音韻体系				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
Introduction to LinguisticsI, Introduction to LinguisticsII, PhonologyI, PhonologyII, Advanced Linguistic & Communication Studies, Graduation Thesis SeminarI, Graduation Thesis SeminarII				
担当授業科目(大学院)				
言語理論入門				
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要
専門科目におけるオリジナルハンドアウトの作成		2019年度		
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
Moraic phonology in Chuukese	単	2019年度	『音韻研究』22号	pp.43-50
学会発表				
Consonant harmony in Japanese mimetics	単	2019.08.26	Phonology Forum 2019、 上智大学	
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
研究助成金の受給状況				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別
				支給額
				支給年度
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要	
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間		学会役員名		
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

学位						
文学士, M.A., Ph.D.						
専門分野						
言語学						
研究課題						
第1言語習得						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
Current Issues in Japan, Introduction to LinguisticsI, Introduction to LinguisticsII, SyntaxI, Psycholinguistics, Graduation Thesis SeminarI, Graduation Thesis SeminarII						
担当授業科目(大学院)						
統語論演習						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
The Old Man Knows the Rules, the Young Man Knows Exceptions (査読あり)	共	2019年度	In Proceedings of MAPLL-TCP-TL Conference	with Nigel Duffield		
Novel Word Learning by Different Populations (査読あり)	共	2019年度	In Proceedings of MAPLL-TCP-TL Conference	with Letitia Naigles and Tamiko Ogura		
学会発表						
The Old Man Knows the Rules, the Young Man Knows Exceptions	共	2020.01.08	Hawaii International Conference in Education, Honolulu, USA.	with Nigel Duffield		
The Old Man Knows the Rules, the Young Man Knows Exceptions	共	2019.07.28	MAPLL-TCP-TL 2019 甲南大学	with Nigel Duffield		
Novel Word Learning by Different Populations	共	2019.07.28	MAPLL-TCP-TL 2019 甲南大学	with Letitia Naigles and Tamiko Ogura		
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
言語発達遅滞児の名詞と動詞の構築プロセスについて	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)			代	1,300千円	2019年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間			学会役員名			
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		

学外機関委員等		
就任期間		機関名・委員名・役職名
その他社会活動上特記すべき事項		
海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要

学位																	
文学士, 文学修士																	
専門分野																	
英文学																	
研究課題																	
イギリス小説、ディケンズ、都市、アイデンティティと共生																	
教育活動																	
担当授業科目(大学)																	
Victorian Literature and Culture, British Literature and History, The Novel, Special Lecture in Literary Studies, Graduation Thesis SeminarI, Graduation Thesis SeminarII																	
担当授業科目(大学院)																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>その他教育活動上特記すべき事項</th> <th>年月</th> <th>対象者</th> <th colspan="3">概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td colspan="3"> </td> </tr> </tbody> </table>						その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要								
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要														
研究活動																	
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など													
著書・CD																	
学術論文																	
「カズオ・イシグロの“A Family Supper”における語りのセンシビリティ」	単	2020.03	『女性学評論』	pp.4-21													
学会発表																	
その他の研究発表、演奏																	
その他の著作、訳書等																	
「新年史発行と史料室の今後に向けて」	単	2020.03	『学院資料』 Vol.33	pp.1-4													
研究助成金の受給状況																	
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度											
産官学連携の受給状況																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>その他研究活動上特記すべき事項</th> <th>年月</th> <th colspan="4">概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td colspan="4"> </td> </tr> </tbody> </table>						その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要									
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要															
社会貢献活動																	
学会役員																	
就任期間	学会役員名																
2019.04-2020.03	日本英文学会関西支部 編集委員																
公開講座																	
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要													
学外機関委員等																	
就任期間	機関名・委員名・役職名																
2019.04-2020.03	神戸女学院中学部高等学校評価委員																
その他社会活動上特記すべき事項																	
海外での活動																	
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること																	
期間	国名	概要															

学位			
文学士, P.G.Diploma, M.A.			
専門分野			
英語教育			
研究課題			
英語科教授法、早期英語教育、誤答分析			
教育活動			
担当授業科目(大学)			
初期神戸女学院, English ProficiencyIA, English ProficiencyII, Academic Essay WritingIII, 英語科教育法I, 英語科教育法II, 英語科教育法III, 英語科教育法IV, 教職実践演習(中・高), 教育実習I, Graduation Thesis SeminarI, Graduation Thesis SeminarII			
担当授業科目(大学院)			
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要
教育実習事前指導・反省会	2019.05.09 2019.07.29	英文学科教育実習生	2019年度に教育実習に行く英文学科の学生を対象に、事前指導を行い、教育実習に対する姿勢、心構えを改めて指導した。また、実習後の反省会も行い、今後教職について時の意識を高める機会とした。
西宮市立山口小学校、西宮浜小学校における英語活動に対する事前指導	2019.07.03	教職課程履修中の英文学科4年次学生5名	西宮市立山口小学校、西宮浜小学校において、4年次学生5名が英語活動のボランティアを行うにあたって、小学校1年生から4年生児童を対象とした英語活動のための事前指導を行った。
帝塚山学院中学校1年生への模擬授業	2019.08.31	教職課程履修中の英文学科4年次学生4名と帝塚山学院中学校1年生90名	英文学科教職課程履修中の4年次学生が、本学にて帝塚山学院中学校1年生90名の生徒を対象に、クイズ形式で本学のことを学べる授業を教室と中庭で展開した。夏休み中には数回そのための事前指導等も行った。
卒業生教員による神戸女学院中学部における英語科授業見学	2020.02.03 2020.02.05 2020.02.06 2020.02.10 2020.02.17	英文学科教職課程3年次学生5名、4年次学生4名	卒業生教員である神戸女学院中高部の太田久美子教諭のJ1の授業を教職課程3年次及び4年次学生(希望者)が見学させて頂き、All Englishで進める授業の仕方を学ばせて頂いた。
西宮市立山口小学校、西宮浜小学校における英語活動授業参観	2019.07.05 2020.02.26	英文学科4年次教職課程履修学生+3年次教職課程履修学生2名	西宮市立山口小学校では小学校教諭が行う6年生対象の英語活動の授業を参観させて頂き、また、西宮浜小学校では本学4年次学生による1年生対象の英語活動の授業を、2020年度活動希望の学生と参観し、その後、3年次学生、4年次学生と共にその日の活動の分析を行い、次年度につなげるため着眼点の指導を行った。
英語科教育法における模擬授業のための指導	2019年度後期	英語科教育法履修中の3年次学生	中学、高校用の模擬授業のためのレッスンプランを各自に作成させる前にはコンサルテーションを、そして作成後は、それぞれのレッスンプランを最低2回ずつチェックし、よりよいレッスンプランを作成するために授業時間外に個別指導を行った。また、模擬授業後も個人面談を行い、授業方法の向上について話し合った。
教員志望学生へのケア	2019年度	英文学科学生	教員志望の学生に対して、教職課程について、教員採用試験について、講師登録の仕方、私学の制度について等を指導した。(2019年度4年次学生については、2020年4月より4名が大阪市、泉佐野市、姫路市、私立の中学校に講師として赴任している。)
卒業論文作成に関するケア	2019年度	英文学科4年次ゼミ生	卒業論文がはかどらない学生に対して重点的に個別の指導を行った。
1年次学生対象のTOEIC対策	2019年度	英文学科1年次学生(TOEICの点数が300点前後の学生)	英文学科教職課程4年次学生が、TOEICの点数が芳しくない1年次学生を対象に『一緒に歩もうプログラム』にて指導を行った。その調整役をした。

研究活動					
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	
著書・CD					
学術論文					
「1930年から1932年初めにかけての神戸女学院の英語教育ニュース―当時のデフォレスト書簡より―」	単	2020.01	『C. B. デフォレスト書簡の解説(V) (1930-1931) アメリカン・ボード宣教師文書より』	単著。pp.14-22。	
「英語科教職課程の1年を振り返って」	単	2020.03	神戸女学院大学教職センター委員会 『神戸女学院大学教職センター研究紀要』第3巻第2号	単著。pp.45-54。	
学会発表					
その他の研究発表、演奏					
その他の著作、訳書等					
高学年向け本の紹介	単	2020.03	『本がすき』3月号、宝塚市立西山小学校	B4版	
大人向け本の紹介	単	2020.03	『本がすき』3月号、宝塚市立西山小学校	B4版	
研究助成金の受給状況					
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額	支給年度
宣教師文書の解説と解明 ～1930年代半ばのデフォレスト文書を中心に～	神戸女学院大学研究所 総合研究助成		分	1,500千円 (総額)	2019年度
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要			
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間	学会役員名				
公開講座					
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要	
英語の絵本の読み聞かせ	単	2020.02.27	宝塚市立西山小学校	図書ボランティアとしての活動の一環	
学外機関委員等					
就任期間	機関名・委員名・役職名				
1997.04-現在	日本英語検定協会英語検定試験面接委員				
2013.05-現在	アカデミック英語能力判定試験(TEAP)連絡協議会参加大学委員				
2017.04-現在	社会福祉法人ソフィア福祉会 バラホーム保育所評議員				
2019.04-2020.03	宝塚市立西山小学校PTA愛護部登校班地区長				
その他社会活動上特記すべき事項					
2010.07-現在 西宮市立山口小学校、西宮浜小学校での英語活動ボランティア 西宮市立山口小学校、西宮浜小学校で教職課程4年次学生が英語活動ボランティアとして活動を行っている。その事前指導、同行指導を行った結果、学生が大変良い活動を行い、校長先生や先生方、また、保護者からも高い評価を得ていることが分かった。活動を体験した児童も「また英語を習いたい」と活動の継続を希望している。実際に、外国からの学校への客人に対しても抵抗なく話しかける児童の様子がみられる等、英語活動の効果についても伺っている。よって、来年度も今年度に引き続き活動をさせて頂くことになっている。活動を通して、学生は意識を高め、そこで多くのことを学んでいる。実際に卒業後、この活動に携わった学生の多くが教職の道に進んでいる。この社会活動は地域貢献、社会貢献につながっている。					
2016.04-現在 宝塚市学校応援団・図書ボランティア					
海外での活動					
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること					
期間	国名	概要			

氏名／所属／職名

立石 浩一 TATEISHI Koichi / 英文学科 / 教授

学位				
教養学士, 教育学修士, Ph.D.				
専門分野				
言語学				
研究課題				
言語理論の哲学的評価, 英語学習者の音声知覚・発話, 文法部門のインターフェース				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
クローバーゼミ, Introduction to Japanese Culture, Language and Human Beings, Introduction to LinguisticsII, Phonetics, Advanced English Grammar, SyntaxII, Graduation Thesis SeminarI, Graduation Thesis SeminarII				
担当授業科目(大学院)				
Special Lecture on Linguistics				
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
Perception of Narrow Focus by Bilingual Speakers	共	2019.08.04	Proceedings of the 19th International Congress of Phonetics Sciences (Australasian Speech Science and Technology Association Inc.)	共著/Shinobu Mizuguchi, Koichi Tateishi, Yukiko Nota, pp.1660-1664
Why L1 Is Not Easy to Hear (査読あり)	共	2020.03	Proceedings of the Linguistic Society of America, Vol.5, No.1 (https://doi.org/10.3765/plsa.v5i1.4668)	共著/Shinobu Mizuguchi, Koichi Tateishi, pp.59-73
学会発表				
Perception of Narrow Focus by Bilingual Speakers	共	2019.08.09	International Congress of Phonetic Sciences (ICPhS) 2019 (Melbourne Convention and Exhibition Centre, Australia)	共同発表/Shinobu Mizuguchi, Koichi Tateishi, Yukiko Nota
Why L1 Is Not Easy to Hear - An fMRI Study of the Focus Perception by Japanese/English Late-Onset Bilinguals -	共	2020.01.03	The 94th Meeting of the Linguistic Society of America (Hilton New Orleans Riverside, USA)	共同発表/Shinobu Mizuguchi, Koichi Tateishi
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
神谷哲史折り紙作品集3	共	2019.06.15	おりがみほうす	編 山口真、著 神谷哲史、訳 立石浩一
勝田恭平折り紙作品集	共	2020.01.30	おりがみほうす	編 山口真、著 勝田恭平、訳 立石浩一
研究助成金の受給状況				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		

社会貢献活動				
学会役員				
就任期間		学会役員名		
2013.04.01-現在		日本折紙学会評議員		
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共 の別	年月	場所	概要
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

学位						
B.A., M.A., A.M						
専門分野						
女性学, 移民学, 人間安全保障, グローバリゼーション						
研究課題						
Gender, Migration, Leadership						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
Introduction to Global StudiesII, Lecture & Discussion: Global Social Issues, Topics in Global Social Issues, Advanced Discussion on Global Issues A, Leadership and Career Design, Lecture & Discussion: Global Social Issues, Introduction to Global StudiesI, Graduation Thesis SeminarI, Graduation Thesis SeminarII						
担当授業科目(大学院)						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
Attendance to UN University Lecture by the Director-General of International Organization for Migration, Antonio Vitorino		2019.05.27	Students			
Attendance to Global Summit of Women		2019.07.04-06	Students			
Attendance to the Winter Conference, Japan Association for Migration Policy Studies		2019.12.07-08	Students			
Attendance to the Workshop on Women and Leadership, Osaka University		2020.01.31	Osaka University Students			
Visit to the International Organization for Migration Japan Office (Tokyo)		2020.02.07	Students			
Research on Diaspora and Religion		2019 後期	Students (on-going)			
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
“Migration Issues in Japan” (Co-Chair)	共	2019.12.07	Winter Conference, Japan Migration Policy Studies, Nagasaki University			
“Race, Gender and Migration Issues” (Co-Chair)	共	2019.05.25	Annual Conference, Japan Migration Policy Studies, Rikkyo University			
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況						

その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間		学会役員名		
2019.04-2020.03		Member of Executive Board, Japan Association for Migration Policy Studies		
2019.04-2020.03		Chair, International Committee, Japan Association for Migration Policy Studies		
2019.06-2020.05		Associate in Research, Reischauer Institute, Harvard University		
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
Introduction to the Speaker, Ambassador 重枝豊英	共	2019.06.07	Kobe College	Assembly Hour
“Women and Leadership” Lecture Series (Lara JAVIER, JICA)	共	2019.11.06	Kobe College	How to Work in an International Organization
“Women and Leadership” Lecture Series (YOSHIZUKA Minori, NHK)	共	2019.11.14	Kobe College	What I Did, What I did not, and What I should have Done in Kobe College
“Women and Leadership” Lecture Series (Noriko KIYOTANI, Intl. Organization for Migration, IOM)	共	2019.11.22	Kobe College	Migration and Sustainable Development Goals
“Women and Leadership” Lecture Series (KOJIMA Miyoko, President, GEWEL)	共	2019.12.19	Kobe College	Women and Leadership
コンクール等の審査				
English Speech Contest for High School	共	2019.	Hisshoten Kokusai High School	Hisshoten Kokusai High School
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
その他社会活動上特記すべき事項				
法定通訳人 (all year)				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		
2019.04-2020.03	USA	Associate in Research, Harvard University		
2019.07.04-06	Switzerland	Attended Global Summit of Women (Basel, Switzerland)		
2020.03.12	USA, Canada	Joined “Log on.RiseUp” Webinar		
2020.03.16	USA, etc.	Joined Virtual Consultation Day, Commission for the Status of Women (CSW64)		

学位				
文学士, 文学修士, 博士(文学)				
専門分野				
イギリスロマン派文学・思想				
研究課題				
S.T.Coleridgeにみられるプラトニズム, 比較思想(ドイツ観念論や密教とイギリスロマン主義の接点), 英文学と聖書、環境文学				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
Literature as Art of Living, Introduction to LiteratureI, Introduction to LiteratureII, Romantic Literature and Culture, Poetry and Poetics, Bible and Literature, Graduation Thesis SeminarI, Graduation Thesis SeminarII				
担当授業科目(大学院)				
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
「遊戯」を通して神を知る—超越論者の美的教育論(査読あり)、『コウルリッジのロマン主義—その詩学・哲学・宗教・科学』	共	2020.02.28	東京大学出版会	編者/大石和欣(論文集)。デヴィッド・ヴァリンズ、直原典子、勝山久里、藤井圭子、園田暁子、吉川朗子、アルヴィイ宮本なほ子。 pp.151-197。
学術論文				
学会発表				
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
研究助成金の受給状況				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別
				支給額
				支給年度
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間	学会役員名			
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名			
2019.04-2020.03	大学基準協会大学評価委員			
2019.04-2020.03	日本英文学会関西支部評議員			
2019.04-2020.03	関西コウルリッジ研究会会報編集委員			
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

学位				
B.A., M.A., MET, Ph.D.				
専門分野				
Education/Applied Linguistics				
研究課題				
Education/Applied Linguistics				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
EnglishI, EnglishII, EnglishIII:Research Presentation & Public Speech, Advanced Writing,				
担当授業科目(大学院)				
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
学会発表				
"Understanding the effects of speech rates on L2 listening"	単	2020.02.09	The 22nd Annual Temple Japan Applied Linguistics Colloquium, Temple University, Tokyo Campus.	
"Learning from dynamic assessment"	共	2019.11.03	JALT 2019 International Conference, WINC Aichi, Nagoya.	Dr. Allan Nicolas
"L2 listeners' misinterpretation of familiar lexis"	単	2019.11.02	JALT 2019 International Conference, WINC Aichi, Nagoya.	
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
研究助成金の受給状況				
研究タイトル		助成金タイトル、支給元	代分の別	支給額 支給年度
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間	学会役員名			
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名			

その他社会活動上特記すべき事項		
海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要
備考:2018.08.06-2019.08.05 海外留学		

学位						
学士(経済学), 修士(経済学), 博士(経済学)						
専門分野						
International Economics, Global Business						
研究課題						
International Trade and Migration, International Trade and ICT						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
Current Issues in Japan, Tutorial for Exchange Student, Introduction to Global StudiesI, Introduction to Global StudiesII, Workshop in International Studies, Lecture & Discussion: Global Business, Academic Essay WritingII, Topics in Global Business, Graduation Thesis SeminarI, Graduation Thesis SeminarII						
担当授業科目(大学院)						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間		機関名・委員名・役職名				
その他社会活動上特記すべき事項						
海外での活動						
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること						
期間	国名	概要				

学位						
B.A., M.F.A., M.A., Ph.D.						
専門分野						
Modern and Contemporary Poetry (American and British), American Literature, Elegy Studies						
研究課題						
Modern Elegy, Literary Translation, Empathy Studies						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
クローバーゼミ, Introduction to LiteratureI, Introduction to LiteratureII, Workshop in International Studies, Contemporary Literature and Culture, American Literature and History, Comparative Literature, Special Lecture in Literary Studies, Comparative Literature, Graduation Thesis SeminarI, Graduation Thesis SeminarII						
担当授業科目(大学院)						
Thesis Writing						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
独自教材の電子配布		2019.04-2020.03	学部受講生	独自教材(パワーポイントなど)をオンラインストレージを使用し、どこからでもアクセスできるようにし、学習促進をする。		
プロセス型のライティング指導		2019.04-2020.03	学部・大学院受講生	アカデミックライティングなどのライティング指導において、完成したエッセイだけの評価ではなく、書く過程(プロセス)に重点を置いたメソッドを用いる。		
Diversity / Inclusion を意識した教材選択		2019.04-2020.03	学部・大学院受講生	学生のダイバーシティに対する意識を高めるため、多様性の理解・包摂を目標とし、教材選択に国際性・多様性を反映させる。		
大学院教育における模擬講義指導		2019.04-2020.03	大学院受講生	大学院生は将来教育者になる可能性が高いので、その準備の一環として模擬講義を体験させ、フィードバックを与える。		
アクティブラーニング手法の実施		2019.04-2020.03	学部・大学院受講生	様々なアクティブラーニング手法を用いて授業を行う。		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
“Poetics of Dark Humor: Reassessing the Trope of Vulnerability in Post-1945 American Poetry”	単	2019.11.14-17	Pacific Ancient and Modern Language Association, 117th Annual Conference, San Diego			
“Literature and Healing”	単	2019.11.14-17	Pacific Ancient and Modern Language Association, 117th Annual Conference, San Diego			
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
現代アメリカ詩におけるエレジーの変化について	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)			代	500千円	2019年度
Textual Practices in English in the Asia-Pacific Region	神戸女学院大学研究所 総合研究助成			分	1,399千円 (総額)	2019年度

産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要	
Pushcart Prize nomination		2019.11	by <i>The Louisville Review</i> , for “Children’s Corner”	
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間		学会役員名		
2019.04-2020.03		日本アメリカ文学会関西支部・編集委員		
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共 の別	年月	場所	概要
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		
2019.08.01-09.15	アメリカ	Visiting Scholar at the University of Washington (客員研究員)		

学位					
学士(文学), 修士(人間科学), 博士(文学)					
専門分野					
文化人類学, 映像人類学, バングラデシュ地域研究, 子ども研究					
研究課題					
バングラデシュの教育経験と社会変動, 民族誌映画制作					
教育活動					
担当授業科目(大学)					
クローバーゼミ, Tutorial for Exchange Student, Introduction to Global StudiesI, Introduction to Global StudiesII, Lecture & Discussion: Global Media & Communication, Topics in Global Media and Communication, Graduation Thesis SeminarI					
担当授業科目(大学院)					
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要	
履修生たちによる各10分程度の映像作品制作		2019年度後期	E332b		
研究活動					
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	
著書・CD					
『子どもへの視覚—新しい子ども社会研究』	共	2020.02.20	新曜社	共編著/元森絵里子、高橋靖幸。	
学術論文					
学会発表					
‘Memories, Narratives in the Field of an Ethnographer: Notes on Professor Tadahiko Hara’s Ethnography’	単	2019.05.01-03	2019 Qualitative Methods Conference, Hilton Brisbane, Brisbane, Australia		
「子ども社会をフィールドワークする」	単	2019.06.29-30	日本子ども社会学会第26回大会、東京成徳大学	テーマセッション司会・趣旨説明	
‘Identity Negotiations among the Urban Youth of Ethnic Minority in South Asian Cities’	単	2019.10.05-06	日本南アジア学会大32回全国大会、慶應義塾大学	パネル司会・趣旨説明	
「人類学実践ツールとしての映像制作—関係の記録を例として—」	単	2019.12.21	日本映像学会 中部支部第2回研究会、椙山女学園大学	招待講演	
その他の研究発表、演奏					
その他の著作、訳書等					
映画解説:「メイド・イン・バングラデシュ」	単	2020.03.06	『第15回大阪アジア映画祭』カタログ	pp.46	
研究助成金の受給状況					
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額	支給年度
「現代バングラデシュの若者のアイデンティティポリティクスからみる社会変動」	日本学術振興会国際共同研究加速基金A(国際共同研究強化)		代	5565千円 (H29年度支給分残額を前任校より移管)	2019年度
「アジアの在地の協働によるグローバル問題群に挑戦する実践型地域研究」	日本学術振興会研究費補助金基盤海外研究(A)		分	100千円	2019年度
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要		
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間		学会役員名			
2019.04-2021.03		日本南アジア学会・理事			

公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
「1990年代生まれの若者たちーバングラデシュの社会変動を背負ってー」	単	2019.07.30	聖心グローバルプラザ	日本バングラデシュ協会第30回講演会、招待講演
「もうアジアの最貧国だなんて言わせないーバングラデシュの問題は私たちの問題」	単	2019.11.09	カトリック芦屋教会	芦屋JOCS40周年記念講演会、招待講演
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
2010.5ー現在		学校法人大阪YMCA評議員		
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

学位				
学士(法学), 修士(法学)				
専門分野				
神経生物学、通訳学・通訳教育学				
研究課題				
三叉神経の運動感覚に関する解剖・生理学的研究、情報デザインとしての通訳、分析力・理解力・表現力を高める通訳教育				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
Interpreting: Theory and TechniqueI, Interpreting: Theory and TechniqueII, Interpreting: Theory and TechniqueIII, Graduation Thesis SeminarI, Graduation Thesis SeminarII				
担当授業科目(大学院)				
逐次通訳演習I, 逐次通訳演習II, 同時通訳演習I, 同時通訳演習II, 通訳実践特別講義, 通訳実習I, 通訳実習II				
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要
通訳・翻訳プログラム(ITP)手帖作成		2020.01	同プログラム履修者	プログラムの構成・各科目の学修目標・学修項目・評価基準(ルーブリック)を記載した小冊子を作成した。
E215a 教材集作成		2019.12	科目履修者	事前学習・授業・振り返りに役立つ情報と教材を合わせた小冊子を作成した。
E215b 教材集作成		2019.12	科目履修者	事前学習・授業・振り返りに役立つ情報と教材を合わせた小冊子を作成した。
E218a 教材集作成		2019.12	科目履修者	事前学習・授業・振り返りに役立つ情報と教材を合わせた小冊子を作成した。
E218a 教材集作成		2019.12	科目履修者	事前学習・授業・振り返りに役立つ情報と教材を合わせた小冊子を作成した。
E315a 教材集作成		2019.12	科目履修者	事前学習・授業・振り返りに役立つ情報と教材を合わせた小冊子を作成した。
E315b 教材集作成		2019.12	科目履修者	事前学習・授業・振り返りに役立つ情報と教材を合わせた小冊子を作成した。
E415a 教材集作成		2019.12	科目履修者	事前学習・授業・振り返りに役立つ情報と教材を合わせた小冊子を作成した。
E415b 教材集作成		2019.12	科目履修者	事前学習・授業・振り返りに役立つ情報と教材を合わせた小冊子を作成した。
E398ab ゼミ手帖2.0作成		2019.12	科目履修者	事前学習、授業中の活動、卒業論文の書き方・卒業プロジェクトの進め方、プロジェクト用翻訳手法の解説、2年間のスケジュール、発表などについて、情報を盛り込んだ小冊子を作成した。
E497ab ゼミ手帖作成		2019.12	科目履修者	事前学習、授業中の活動、卒業論文の書き方・卒業プロジェクトの進め方、発表などについて、情報を盛り込んだ小冊子を作成した。
トリッキング世界大会通訳ボランティア指導		2019.10.13-14	大学院生	日本トリッキング協会主催の大会での大学院生による通訳ボランティアの指導。
音楽作りワークショップ通訳ボランティア指導		2019.09.21	大学院生	本学音楽学部連携ルーム主催イベントでの大学院生による通訳ボランティアの指導。
大阪アジア映画祭特別招待作品『メイド・イン・バンガラデシュ』日本語字幕作成指導		2020.02.14 納品	英文学科学生有志28名	英文学科南出先生と同映画祭とのつながりで実現した通訳ボランティアの指導を補助した。
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
学会発表				

その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
研究助成金の受給状況				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間	学会役員名			
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
コンクール等の審査				
第10回神戸女学院大学絵本翻訳コンクール 審査員	共	2019.10	本学	本学
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名			
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

氏名/所属/職名

奥村 キャサリン OKUMURA Katharine / 英文学科 / 准教授

学位						
B.A., M.A.						
専門分野						
通訳理論と実践、異文化コミュニケーション、異文化理解能力						
研究課題						
異文化理解能力の概念を取り入れた授業設計と実践						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
担当授業科目(大学院)						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
How is cultural intelligence incorporated into intercultural communication programs at Japanese universities?	神戸女学院大学研究所 研究助成			代	287千円	2019年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名					
その他社会活動上特記すべき事項						
海外での活動						
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること						
期間	国名	概要				

備考: 2019.04-2020.03 海外留学

学位				
B.A.(文化社会学), 修士(言語・文化), Ph.D.(言語・文化)				
専門分野				
社会言語学, 日本語・日本文化, ユーモア, 言語学, 語用論, 日本語教育, 比較文化				
研究課題				
ことばあそびとユーモア, 関西方言とボケとツッコミ, DNA研究と言語・文化の起源, ステイグマとことばに対する姿勢, 人称表現, 異文化コミュニケーション				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
Introduction to LinguisticsI, Introduction to Japanese Culture, Workshop in International Studies, Language and Society, Changes and Variations of English, Morphology, Sociolinguistics Theory and PracticeI, Sociolinguistics Theory and PracticeII, Graduation Thesis SeminarI, Graduation Thesis SeminarII				
担当授業科目(大学院)				
言語学基礎演習				
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要	
Washoku - Japanese Cuisine	2019.04.25	留学留学生、在学生	講演、料理のチュートリアル	
Kawaii - A slice of Japanese Pop-culture	2019.05.23	ワイオミング大学の訪問学生・先生、留学生、在学生	講演	
Kawaii - A slice of Japanese Pop-culture	2019.09.26	留学生、在学生	講演	
Washoku - Japanese Cuisine	2019.11.07	留学生、在学生	講演、料理のチュートリアル	
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
<i>The Dark Side of Digital Platforms: Linguistic Investigations of Socially Unacceptable Online Discourse Practices</i>	単	2020.03.19	Ljubljana University Press	pp.114-127
学術論文				
"Osaka Studies - Behind the Myths" (peer reviewed)	単	2019.12.31	Proceedings of the Sixth International Conference Japan: Pre-modern, Modern and Contemporary	pp.32-43
学会発表				
"Teaching the Structure of Jokes in English - A Case Study of Japanese College Students"	単	2019.06.24-29	The 2019 Conference of the International Society for Humor Studies, The University of Texas at Austin, USA	
"Japanese Humor Structures in the My Funny Talk Corpus."	単	2019.10.23-25	International Conference on Verbal Humor, University of Alicante, Spain	
"Toward a Diachronic Analysis of Japanese Humor"	単	2020.01.06-08	9th Annual Arts, Humanities, Social Sciences & Education Conference, Hawaii University, USA	
"Using Words for Person to Teach Sociolinguistic Variation in Japanese"	単	2020.01.09-11	Twenty-Sixth Annual Japan Studies Association Conference, Kapi'olani Community College, USA	
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				

研究助成金の受給状況					
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額	支給年度
Textual Practices in English in the Asia-Pacific Region	神戸女学院大学研究所 総合研究助成		分	1,399千円 (総額)	2019年度
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要			
科研費	2017年～2020年	基盤研究(B)特設分野研究:「対話合成実験に基づく、話の面白さが生きる「間」の研究」課題番号:17KT0059 連携研究者			
司会	2019.09.21	日本語日本文化教育研究会第36回研究発表 司会			
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間	学会役員名				
公開講座					
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要	
学外機関委員等					
就任期間	機関名・委員名・役職名				
2016.04.01～現在	日本語日本文化教育研究会運営委員				
2019年	日本語日本文化教育研究会第36回研究発表会実行委員				
その他社会活動上特記すべき事項					
海外での活動					
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること					
期間	国名	概要			
2020.01.06-08	USA	司会、9th Annual Arts, Humanities, Social Sciences & Education Conference, Hawaii University			

学位				
B.A., B.A., Ph.D.				
専門分野				
Literature and Theatre Studies				
研究課題				
Poetry and Performance				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
Field StudyA, Introduction to Japanese Culture, Workshop in International Studies, Introduction to LiteratureI, Introduction to LiteratureII, Shakespeare and His Age, British Studies, British Literature and History, Special Lecture in Literary Studies, Graduation Thesis SeminarI, Graduation Thesis SeminarII				
担当授業科目(大学院)				
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
学会発表				
"No Place for No-One: Vibrating Inertia and the Problem of Transit in Two New Works about Urban Positionality"	単	2019.07.04-07	Performance Studies international #25, University of Calgary	
Spectres of the Ward: Transit in Tokyo in Contemporary Japanese Performance	単	2019.07.27	Contemporary Japanese Theatre Workshop, German Institute for Japanese Studies Tokyo	
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
研究助成金の受給状況				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別
Textual Practices in English in the Asia-Pacific Region	神戸女学院大学研究所 総合研究助成			代
				支給額
				1,399千円
				支給年度
				2019年度
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要	
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間		学会役員名		
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
その他社会活動上特記すべき事項				

海外での活動

海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること

期間	国名	概要

学位						
B.S.S., M.A.						
専門分野						
Translation						
研究課題						
Children's Literature in Translation, Media Translation, Teaching Translation						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
Introduction to Japanese Culture, Tutorial for Exchange Student, EnglishI, Translation: Theory and TechniqueI, Translation: Theory and TechniqueII, Graduation Thesis SeminarI, Graduation Thesis SeminarII						
担当授業科目(大学院)						
翻訳の理論と実践II, 通訳実習I, 通訳実習II						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
Facilitated community service by completing a translation project for the Kobe Migration Museum		2019.9-12	神戸市にある海外移住と文化の交流センターの移住ミュージアム(Kobe Migration Museum operated by the Kobe Center for Overseas Migration and Cultural Interaction)	E318a students translated the museum audio guide to be printed and used as a self-guided tour material for museum English-speaking visitors.		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
「ソボル作ミステリー・シリーズ完結編: パーシック・アカデミック・ライティングの紹介」	共	2019.4.27	JACET関西支部文学教育研究4月定例会	吉村俊子、時岡ゆかり		
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
『笑顔の砦』 <i>Fortress of Smiles</i> (タニノクロウ作) 上部字幕	単	2019.09.19-23	庭劇団ペニノ			
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間			学会役員名			
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
"Found in Translation" literary translation circle	単	2019-2020	Kobe College	Current and former KC students gathered nine times throughout the year to work on a joint translation project.		

コンクール等の審査				
Kurodahan Press Translation Prize	共	2019.12	Kumamoto	Kurodahan Press
第10回絵本翻訳コンクール	共	2019.10.21	Kobe College	Kobe College
World Scholars Cup Kansai Round Debate	共	2019.05.04	Senri & Osaka International Schools of Kwansei Gakuin	World Scholars Cup
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

学位 博士			
学士(教育学), 修士(教育学), 博士(臨床教育学)			
専門分野			
教育学, 臨床教育学, 社会科教育学			
研究課題			
帰国子女教育・外国人子女教育における社会認識教材の開発			
教育活動			
担当授業科目(大学)			
西宮市大学交流センター科目D, 日本語(III)文法・作文, 教師論, 生徒・進路指導論, 教育相談, 特別活動の指導法I, 特別活動の指導法II, 教職実践演習(中・高), 教育実習I			
担当授業科目(大学院)			
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要
教育方法開発・工夫等の実践例 「教育方法の工夫」	2019.04.09-	神戸女学院大学学生	ノート指導の徹底(授業のノートだけではなく課題や ホームワークも含めて自分独自のノートテキストを創る、授業において定期的に確認し指導した)。毎回資料を作り配布する。配布資料や宿題をもとに、グループワークや演習も取り入れた。
「神戸女学院大学教職課程人権教育特別講座」	2019.04.20	神戸女学院大学学生	学校生活や社会において様々な問題が起こっているが、必ずしも正解があるわけではない。本講義では、正解のない人権問題に対してどのように考えればよいのかを様々な問題(学力の定着、障害者、ジェンダー、子ども、外国人、同和問題など)を提起して、教育実習を前に、学校現場で大きな課題となっているよりよい人生や社会を目指しての考える力を育めるようにした。
教材開発・工夫等の実践例 「神戸女学院大学講義テキスト(教育相談論)」	2019.04.06	中高科目免許取得希望者	教員にとって必須である教育相談の知識(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む)を身に付けるために、基礎的な心理学的知見と、それらを教育の現場でどのように応用するかを学ばせた。主に教育相談の対象となる多様な問題について、心理学的な視点による理解の仕方について学習させるために、講義事例集を作成した。これを使って具体的な対応の進め方を理解し、受容・傾聴・共感的理解等のカウンセリング・スキルを定着をさせるように工夫した。
「神戸女学院大学講義テキスト(教師論)」	2019.04.06	中高科目免許取得希望者	教職は身近に接してきた職業であるため、教職課程科目の履修を始めるにあたって、改めてその位置づけを、講義を通して行った。まず教育法規に基づく制度上の位置づけについて理解を図った。次に自らの経験や体験、調査したことをもとにした発表、討議で教師の専門職性について学び取らせるようにした。重要な箇所を太字にし、図版を盛り込むなど、学生の理解が進むように工夫した。
「神戸女学院大学講義テキスト(特別活動の指導法Ⅰ・Ⅱ、総合的な学習の時間・特別活動指導法Ⅰ・Ⅱ)」	2019.04.06	中高科目免許取得希望者	「特別活動」「総合的な学習の時間」の指導は、人間形成上重要な教育活動として、学校の教育課程のなかで大きな意味と役割を果たすものである。「特別活動」「総合的な学習の時間」の役割や目標・内容・指導計画等について学習し、変化の激しい社会を生き抜く生きる力の育成のために「特別活動」「総合的な学習の時間」の教育的意義を具体的に理解・把握させるのに必要な事例を取り上げ、実践的指導力を身につけることができるように工夫した。

「西宮市大学交流センター共通単位講座講義テキスト(フィールドワークに学ぶ)」	2019.04.06	西宮市大学交流センター共通単位講座の受講を希望する者(前期)	「西宮名塩和紙と世界遺産京都二条城」「台地に水・新田開発に取り組んだ人たち」「宮水・酒造り・樽廻船」「礼文島の人々(北海道)」「佐渡島・自然を守り続ける人(新潟県)」「隠岐諸島・戻れ人口(島根県)」「愛媛県の洞窟(愛媛県)」「姫島の七大不思議(大分県)」「屋久島・種子島に生きる(鹿児島県)」「薩摩金山物語(鹿児島県)」「池島炭鉱・軍艦島に未来を学ぶ(長崎県)」「竹富島の教育・育つ人(沖縄県)」「JR九州観光列車・いさぶろう、しんぺい(熊本県・鹿児島県)」等の実践フィールドワーク科目資料15回分を作成し、講義で活用した。
「神戸女学院大学講義テキスト(2020年度採用教員採用選考試験受験対策特別講義用)」	2019.04.06	2020年度採用 教員採用選考試験受験予定者	「日本史」「世界史」「地理」「政治・経済」の一般教養科目、並びに「教育心理」「教育原理(含:生徒指導・特別支援教育)」「教育法規」「面接」「場面指導」「論文」「模擬授業対策」等の教職教養関係科目資料を作成し、講義で活用した。
「武庫川女子大学講義テキスト(教育方法の理論と実践)」「夏季集中講義用」	2019.07.20	中高科目免許取得希望者(武庫川女子大学)	学校現場においては、子どもたちを取り巻く問題の本質をとらえ、自らの力で新たな実践を構想する力量が必要とされている。その力量を形成するため、教育目標、教材・教具、教授行為・学習形態、教育評価といった教育方法的な視点から、講義補助資料を作成した。これを活用しグループディスカッション、ワークショップなど取り入れて授業実践力を身につけさせる取り組みをし、一定の成果を収めた。
「神戸女学院大学講義テキスト(生徒・進路指導論)」	2019.07.20	中高科目免許取得希望者	授業の論点を理解するための補助資料として、冊子を作成した。生徒指導の基礎に関する理論、実証データを概説した。グループディスカッション、事例研究、ロールプレイなど取り入れて学生の理解を確かなものとする工夫をした。テキストをもとにしながら、生徒指導について理論的に考察する視点を形成するとともに、それにもとづく生徒指導の今日的課題(いじめ、不登校、非行などへの対応と教育相談、進路指導・キャリア教育のあり方など)を提起し、その指導のあり方を身につけさせる取り組みをし、一定の成果を収めた。
「神戸女学院大学講義テキスト(社会科教育法Ⅱ)」	2019.08.20	中高科目免許取得希望者	社会科の方法原理や授業設計理論に基づいた学習指導案の作成、作成した学習指導案にしたがっての模擬授業、実施した模擬授業を振り返り、授業改善の視点を身につけさせるための補助資料として、冊子を作成した。主体的・対話的で深い学びを求めて行った最近の、全国の社会科実践校10校の実践例を参考にした授業づくりをさせる予定でいた。受講者希望なく未開講。
「神戸女学院大学講義テキスト(教職実践演習<中・高>)」	2019.08.20	中高科目免許取得希望者	2013年度より、教職課程必修科目になった「教職実践演習」(中高国語、社会、理科、英語、音楽を担当するに当たりその目的を達成するための補助教材として、書き込み式の「教職実践演習ノート」を作成し、実際に授業において活用した。本授業の目的や授業計画とともに、本演習を通しての学びがより一層明確になり、学修効果が高まることを配慮した。教職を志す受講学生の意欲と実践力・表現力を身につけさせる取り組みは一定の成果を収めた。

「西宮市大学交流センター共通単位講座講義テキスト『西国街道』を歩く」	2019.08.20	西宮市大学交流センター共通単位講座の受講を希望する者(後期)	都市化が進み歴史的遺産が徐々に壊されていく。そんななか、巷ではテレビドラマ等の影響も加わってか、歴史ブームがわき起こり、地方史、郷土史に対する関心が高くなっている。また、人口減に伴う故郷存亡の危機にあって、故郷の歴史への興味関心が益々高まっているようにも思う。そんな気運の中でこの講義では、旧街道、それも脇街道を歩いてみようと思われ、地元西国街道を選んだ。通史に登場する著名な人物も通った街道である。尼崎から伊丹、西宮から神戸辺りを探訪のコースに決め、街道に沿って講義資料を作成した。主な内容は「暴れ川武庫川」「髭の渡し」「鳴尾義民碑・百間樋」「今津灯台」「灘五郷・西宮郷・伊丹郷」「西宮砲台」「西宮神社・甕岩神社」「瓦林城・越水城・尼崎城」「浄教寺・昆陽寺・京都宇治放生院」「甲子園球場」等を講義資料として作成し、講義で使用した。その指導に一定の成果を収めた。
「神戸女学院大学講義テキスト(2021年度採用教員採用選考試験受験対策特別講義用)」 (一問一答集『地理』『歴史』『政治・経済』の3種)	2019.10.01	2021年度採用 教員採用選考試験受験予定者(3年生)	「日本史」「世界史」「地理」「政治・経済」の一般教養科目の教職一般教養(社会科学)関係科目資料を作成し、11月から3年生を対象にした講義で活用し、指導上一定の成果を収めた。
「神戸女学院大学講義テキスト(2021年度採用教員採用選考試験受験対策特別講義用)」	2020.01.30	2022年度採用 教員採用選考試験受験予定者(3年生)	教職教養科目『教育法規』、教職一般教養科目『人文科学』『社会科学』『自然科学』の問題演習資料を作成し、3年生の教員採用試験対策講座受講希望者を対象に、春休み自習教材として配布し、主体的な取り組みによる学修の支援をした。指導は現在継続中である。
学生・教員へのケアなど			
「神戸女学院大学人間科学部環境バイオエンス学科の要請を受け、その研究・充実に資するため環境教育研究実践校及び関係機関(西宮市教育委員会、NPO法人等市関係部署)を推挙」	2019.05-2019.07	本学教授、人間科学部環境バイオエンス学科卒業研究をする学生	本学教授から、「どこに行けば、また何を調べれば西宮市の小学校の環境教育の現状と課題を知ることができるか」と関係機関推挙の要請を受けた。そこで、環境教育を扱う西宮市教育委員会学校教育課、西宮市立総合教育センター、NPOを訪問し取材の内諾を得た。ここでは市立学校全体の取り組みの概要を把握することができる。また、西宮市立夙川小学校、同山口小学校、同西宮浜小学校を訪問し、ここでも取材の内諾を得た。各学校の具体的な取り組みの概要を把握することができる。2019年7月、依頼者は各関係機関の調査研究を終え、一定の成果を報告書にまとめた。
「神戸女学院大学における『2020年度採用』教員採用選考試験対策講座開講」	2019.04-2019.10	2020年度採用 教員採用選考試験受験予定者	一般教養科目(「社会科学分野」)、教職教養科目(「教育法規」「教育心理」「教育原理」等)、面接指導、論文指導、模擬授業、場面指導(ロールプレイ)の指導に取り組み一定の成果を収めた。
「神戸女学院大学における教職課程履修生のサポート、教職センターでの学生対応」(教育相談)	2019.04-2020.02	教職課程履修生、教員採用選考試験受験予定者	「木曜日」オフィスアワー(12:30~13:20)(研究室)、「金曜日」午後5時まで(教職センター)常駐しサポートを継続し、一定の成果を収めた。
「日本の帰国子女教育及び外国人子女教育の現状と課題について、講話及び関連行政機関紹介」	2019.05.30	アメリカ・レズリー大学教授、本学教授	日本の帰国子女教育及び外国人子女教育の現状と課題について90分間指導講話をし、一定の理解を深めた。帰国子女・外国人子女の出国・帰国後の入学手続き、同じく受け入れの現状、国際教育の現状等を把握したい旨の申し出があり、西宮市教育委員会学校教育課、西宮市総合教育センターの関連部署を紹介するなど、一定の成果を収めた。

「神戸女学院大学教育実習生受入先確保」	2019.06.12	音楽科教員免許取得希望者で教育実習を必要とする者	教職センターより、音楽科の学生で教育実習受入先確保に困窮している旨の相談を受けた。当該学生の母校で実習困難事態に備えて、直ちに西宮市教育委員会及び西宮市立中学校校長会に打診した。本年度に限ってという条件付きで1名の受入先を確保した。
「新教育課程実施状況に関する調査及び支援」	2019.06-2020.02	教職関係科目及び教科専門科目を受講する者	新学習指導要領の本格実施を前に新教育課程に基づいた教育を実施している国立大学法人の富山大学、宇都宮大学、東京学芸大学、岐阜大学、山口大学、大分大学、岡山大学、福井大学、三重大学、横浜国立大学の各附属中学校研究大会を視察した。そこで教育課程の実施状況を把握、資料の収集等を行い、本学の教職関係科目及び教科専門科目(社会科教育法等)の指導計画の立案、指導資料の作成などに活かし教育研究の充実に一定の成果を収めた。
「兵庫県教員採用選考試験実施問題資料収集と支援」	2019.07-	兵庫県教員採用選考試験を受験する者	2019年実施の兵庫県教員採用選考試験受験者の便に資するため、兵庫県阪神南県民局を訪れ、2017年、2018年の二年間分の過去問題(一般・教職教養、専門教科)について現物(複写)を収集し、本学において模擬試験として活用した。問題文の形状、解答の様式、解答時間等を試験当日と同様の環境で実施し、受験対策としての効果的な活用についての研究に一定の成果を収めた。
「山口小学校教育、西宮浜小学校教育における神戸女学院大学との連携教育(外部人材活用)に関する支援」	2019.07-2020.02	神戸女学院大学文学部英文学科学生、西宮市立山口小学校、西宮市立西宮浜小学校	西宮市学校サポートボランティア事業推進の一環として、山口小学校、西宮浜小学校の両校と神戸女学院大学とが連携した教育のあり方について研究を深めてきた。英文学科学生2名を本学教授と共に山口小学校へ引率・指導し、小学校低・中学年の「外国語活動」において本学との連携を重視した取り組みを行い、一定の成果を収めた。
「神戸女学院大学卒業生の臨時講師採用にかかる調査及び支援」	2019.11.20	教育職員免許法に規定する免許状をもつ公立学校臨時講師を希望する者	2020年度より臨時講師を希望する本学学生の就職先確保のための調査で、西宮市教育委員会を訪問する。臨時講師の需要のある教科・科目、人員、時期等について状況を把握し、学生の指導に一定の成果を収めた。
「山口小学校教育における神戸女学院大学との連携教育(外国人留学生との交流)に関する調査及び支援」	2019.12.20	神戸女学院大学外国人留学生・西宮市立山口小学校	西宮市学校サポートボランティア事業推進の一環として、山口小学校と神戸女学院大学とが連携した教育のあり方について研究を深めてきた。英文学科学生3名を本学教授と共に山口小学校へ引率・指導し、小学校4年生の「総合的な学習の時間」において本学との連携を重視した取り組みを行い、一定の成果を収めた。

<p>『研究紀要』</p> <p>『研究紀要』「フィールドワークに学ぼう！ 『この人に会えてよかった』」</p>	<p>2019.07.19</p>	<p>西宮市大学交流センター 共通単位講座の受講を希望する者(前期)</p>	<p>知識は個人が単に「蓄える」だけでは意味がない。知識は惜しみなく与え合うことで、知識の知識による生産が可能になる。例えば、学界では、知識を蓄えるだけで他者に与えることがなければ、尊敬されることはない。知識に所有者を設定して、市場で取引しても、知識による知識産業は効率化しない。真理を探究する知識人にとって、真理を探究すること自体が喜びであり、インセンティブとなる。知識は他者と共有し合うオープンな集合財と考えるほうがよい。知識基盤社会における知識の革新は、知識を分かち合い、学び合う衝動によってもたらされる。</p> <p>フィールドワークでは「歴史」や「地理」、「産業」「文化・伝統」など、地域の探検活動を通じて、問題に気づき、それを解決していく能力を養う。そのためには、興味関心のある地域の現象について、その特性に気づき、そこから学びとるための手法を身につけることが重要である。この報告書でフィールドワーク紙上研究報告を試みた。人々の暮らしに視点をおいたその報告は、国内はじめ外国にまで及んでいる。</p> <p>2019年度の個人・グループの研究課題・報告をまとめた。A4 88p. 分担頁1p, pp.87-88 古岡俊之他18人</p>
<p>『研究紀要』「『西国街道』に行く」</p>	<p>2020.01.17</p>	<p>西宮市大学交流センター 共通単位講座の受講を希望する者(後期)</p>	<p>本講座の講義概要に次のように書いた。「人が生活すると、そこに道ができます。道は人の生活の足跡ともいえます。人はこの道を歩いて地域と地域をつなぎ、物と物をつなぎ、人と人をつないできました。人々はこうして豊かな生活を築いてきたのです。その足跡は道に記され、現代の私たちに様々なことを教えてくれます。道は情報の宝庫。西国街道を一緒にたどっていきましょう。」と。「『西国街道』に行く」では「歴史」や「地理」、「産業」「文化・伝統」など、街道沿いの地域の探検活動を通じて、問題に気づき、それを解決していく能力を養う。そのためには、興味関心のある街道沿いの地域の現象について、その特性に気づき、そこから学びとるための手法を身につけることが重要である。この報告書で紙上研究報告を試みた。人々の暮らしに視点をおいたその報告は、西宮宿から始まり都のあった京都にまで及んでいる。</p> <p>2019年度(後期)の個人・グループの研究課題・報告をまとめた。A4 88p. 分担頁1p, pp.87-88 古岡俊之他13人</p>

『研究紀要』「神戸女学院大学講義(教職実践演習<中・高>)」(研究発表資料集)Vol.1 『教職実践演習学習研究報告Ⅰ』(J.Dewey「経験の再構成」) 2019年度	2019.12.17	中高科目免許取得希望者	この授業では、教師として求められる力量を、「A. 教職に求められる教養」「B. 児童・生徒理解と人間関係構築力」「C. 課題探究力」という三つの柱で捉えた。それぞれの柱について、想定課題に取り組み、力量を育むことを目標とした。また、一貫して教職に相応しい知識と技能、教職を目指す姿勢の獲得について、4年間の単位修得状況、関連科目の成績等の到達点を踏まえ、教員免許取得に求められる大学教育としての到達目標を達成することを目標とした。そのために、教育哲学者John Deweyが述べたように、「経験の再構成」が不可欠です。経験の中身を分析＝言語化し、人と意見を交換しふっつけ合う学習方法を取り入れた。 授業はグループを結成しての共同研究方式で行う。テーマは、A) 授業研究 B) 特別活動や部活動 C) 教員・実習生相互の学び合い、の3領域から選択し、その成果を研究紀要にまとめた。。A4 70p. 分担頁1p、pp.69-70 古岡俊之他50人
その他『調査・研究』			
「文部科学省における「教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業」に関する調査研究」	2019.08.01	文部科学省総合教育政策局教育人材政策課	文部科学省は、教員が自ら学び続ける強い意志を備え、資質能力を教職生涯にわたって向上させていくことができるよう、教員の養成・採用・研修を通じた一体的な改革に資する取組を推進することを目的として、2017年度より「教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業」を委託するとともに、同事業における成果の先行事例としての普及啓発を図るため、「教師力向上フォーラム」を開催した。同事業の採択団体は大学・教育委員会・民間教育事業者と多岐にわたっている。このたび出席したフォーラムにおいて、岡山大学、長野県教育委員会、株式会社 早稲田アカデミー、福岡教育大学、兵庫教育大学の各団体の事例発表・ポスターセッションがあり、そこで教師力向上に係る取り組みの実施状況を把握、資料の収集等を行い、本学の教職関係科目及び教科専門科目の指導計画の立案、指導資料の作成など指導の充実に関する研究を進めた。
「新任教員研修会」	2019.08.30-2019.08.31	明治学院大学(東京)	キリスト教学校教員としての役割など講義、グループ協議、演習等様々な工夫のある方法により研修を深め、一定の成果を収めた。
「第53回 全国中学校道德教育研究大会鳥取大会」 「第4回 中国中学校道德教育研究大会鳥取大会」	2019.10.24-2019.10.25	とりぎん文化会館	研究主題:「人間としての生き方について自らの考えを深める道德教育の在り方 ～道德かとしてのこれからの試行する～」について調査・研究に従事した。方法は文部科学省教科調査官飯塚秀彦氏の指導講話、公開授業参観・事後研究協議会における研究協議、課題別分科会、記念講演等による。教職課程担当科目「生徒・進路指導」「教育相談」の指導の充実に資することができた。
「2019年度 全国小学校道德教育研究会第42回 研究発表大会」	2020.02.14	東京都新宿区立落合第一小学校	研究主題:「自己の生き方についての考えを深め、共によりよく生きる児童を育む道德教育」について調査・研究に従事した。方法は、文部科学省教科調査の指導講話、公開授業、研究報告等による。2020年度より教科に位置づけられ特別の教科道德科として本格実施される。中学校教育との連続性の在り方が問われている。担当している教職関係科目の教育研究の充実に資することができた。

「学習公開・初等教育研修会」	2020.02.15	筑波大学附属小学校	研究主題:「学びの本質に立ち返り、生きた授業づくりを模索する研修会」に参画し調査研究に従事した。方法は公開授業、事後研究協議会による。小・中一貫した社会教育カリキュラムの提示、主体的・対話的で深い学びにつながる教育方法の提案があり、本学における教職関係科目の教育研究の充実に資することができた。個人研究テーマである「今求められる小中一貫教育」の研究の充実に資することができた。
「2019年度 鹿児島大学教育学部ICT活用促進フォーラム」	2020.02.16	鹿児島大学教育学部	研究主題:「Society5.0時代の一人1台端末環境と情報活用能力育成」について調査・研究に従事し、今後の教員養成の在り方について知り、教員養成の大学教員としての教育研究の充実に資することができた。 主な内容は次の通りである。 (1)事例から学ぶ 14:00-15:30 4月から大丈夫!プログラミング教育の総復習 <発表者> 3名 <進行> 鹿児島大学大学院教育学研究科 准教授 (2)トークセッション 15:40-16:45 Society5.0時代の一人1台端末環境と情報活用能力育成 <アドバイザー> 株式会社EdLog 代表取締役社長 (文部科学省初等中等教育局視学委員、東京大学先端科学技術研究センター研究員)、鹿児島県義務教育課 指導主事、鹿児島県総合教育センター 指導主事、鹿児島市学習情報センター 指導主事、霧島市メディアセンター 指導主事 <進行> 鹿児島大学大学院教育学研究科准教授
「西宮市立西宮浜中学校・西宮市立西宮小学校閉校式(合同)」の会に来賓(前校長)として臨席。	2020.03.25	西宮市立西宮浜小学校・西宮市教育委員会	2020年度より、西宮市総合教育センター付属西宮浜義務教育学校として開校するための閉校である。開校時の教育委員会の開校担当者、前校長として出席要請を受けた。小学校・中学校の特別活動(学校行事)に位置づけた本閉校式に臨席することで、式次第、子どもの様子、開校後の小中一貫教育の必要性等把握し、教職課程「特別活動」「総合的な学習の時間」の担当授業計画の充実に資することができた。

研究活動

著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
「中学校校歌によまれている西宮市域の地域環境」(査読あり)	単	2019.04.01	武庫川女子大学 学校教育センター年報 第4号 2019年	単著 pp.37-49
「大学と学校園の連携による教育サポートの成果と課題 ―西宮市学校サポートボランティア<ささえ>の取り組みから―」	単	2019.10.31	神戸女学院大学教職センター紀要 第3巻 第1号 2019年10月	単著 pp.9-18
「小学校における外国人子女教育の試み ―文部省(現文部科学省)指定帰国子女教育受入推進地域センター校の取組から―」(査読あり)	単	2020.03.31	武庫川女子大学 学校教育センター年報 第5号 2020年	単著 pp.53-66
「旧西国街道沿いを対象とした地理歴史的な講義 ～西宮宿周辺の地形条件を事例として～」	単	2020.03.31	神戸女学院大学教職センター紀要 第3巻 第2号 2020年3月	単著 pp.11-22

学会発表				
大会テーマ:「自然と教育・・・初心へ」	単	2019.08.24 -08.25	日本環境教育学会 第30 回年次大会(山梨)北杜 (ほくと)市立甲陵高等学 校(山梨県北杜市)	”学会員として出席”
大会テーマ:「深い学び」の実現とはーコンピ テンシー・ベースの社会科教育の構築ー」	単	2019.11.9- 2019.11.10	全国社会科教育学会 第 68回全国研究大会、島根 大学	”学会員として出席”
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
研究助成金の受給状況				
研究タイトル			助成金タイトル、支給元	代分 の別
				支給額
				支給年度
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項				
	年月		概要	
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間			学会役員名	
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共 の別	年月	場所	概要
西宮市大学交流センター共通単位講座 (前期 計15回)	単	2019.04.11 - 2019.07.18	西宮市大学交流センター	内容/地理学「フィールドワークに学ぼう！」 「歴史」や「地理」、「産業」「文化・伝統」など、地域の探検活動を通じて、問題に気づき、それを解決していく能力を養う。 旅というのは美しい風景や名産品、歴史等との出会いを求めただけではない。旅先で、そこに住む人々に出会う。その人との出会いから、その土地の風土やそこに生きる人々の工夫、息づかいを感じることができる。「この人に会えてよかった」。それが旅の本当の面白さだと思う。学生自らも調べ、発表し、研究レポートにまとめ、その成果を研究紀要として発行した。
西宮市大学交流センター共通単位講座 (後期 計15回)	単	2019.09.24 - 2020.01.14	西宮市大学交流センター	内容/『西国街道』を歩く 人が生活すると、そこに道ができる。道は人の生活の足跡ともいえる。人はこの道を歩いて地域と地域をつなぎ、物と物をつなぎ、人と人をつないできた。人々はこうして豊かな生活を築いてきたのである。その足跡は道に記され、現代の私たちに様々なことを教えてくれる。道は情報の宝庫。西国街道を一緒にたどっていった。学生自らも調べ、発表し、研究レポートにまとめ、その成果を研究紀要として発行した。
学外機関委員等				
就任期間			機関名・委員名・役職名	
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名		概要	

学位				
経済学士、経済学修士				
専門分野				
経済理論、経済政策				
研究課題				
「構造改革」「アベノミクス」など政府の経済政策の検討、現代日本経済のジェンダー視角からの検討、東アジアの経済共同に対する「慰安婦」問題・歴史問題の影響の検討、マルクスの社会・経済思想の検討、原発・エネルギー問題の検討				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
プロジェクトA(IV)、現代社会と経済学、経済学、経済学(国際経済を含む)、比較経済論、基礎ゼミ、文献ゼミ、専攻ゼミ(I)、専攻ゼミ(II)、卒業論文				
担当授業科目(大学院)				
国際文化論I				
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要	
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
『社会のしくみのかじり方』韓国語版	単	2019.07.29		全体231ページ。
学術論文				
「明治150年と日本資本主義の形成」	単	2019.06.30	関西唯物論研究協会『近現代日本と思想の課題』(『唯物論と現代』60号)	pp.17-33。
「書評・牧野広義『マルクスの哲学思想』」	単	2019.11.30	関西唯物論研究協会『唯物論と現代』61号	pp.145-148。
学会発表				
「現代の社会と学生との学び」	単	2019.10.09	日本科学者会議大阪支部哲学部会	
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
「過労死、低賃金いったいなぜ?」	単	2019.04.14	「しんぶん赤旗・日曜版」4月14日付	第19面。
書評「不破哲三『資本論』のなかの未来社会論」	単	2019.04.21	「しんぶん赤旗」4月21日	第8面。
「労働者階級の発達への注目」	単	2019.05.01	『経済』5月号、新日本出版社	pp.36-37。
「憲法を生かし、だれもが安心して暮らせる社会をめざして」	単	2019.05.01	『女性&運動』5月号、新日本婦人の会	pp.8-14。
「希望の見える未来を大いに語ろう」	単	2019.07.03	『憲法運動』7月号、憲法会議	pp.4-11。
「参院選結果をどう見るか」	単	2019.08.19	「全国商工新聞」8月19日、全国商工団体連合会	第7面。
「野党連立政権構想がいよいよ共闘の表舞台に」	単	2019.09.01	『平和運動』9月号、日本平和委員会	pp.2-11。
「参院選の前進点」	単	2019.09.10	「全国革新懇ニュース」9月号、平和・民主・革新をめざす全国の会	第4面。
「経済これって何?ジェンダー格差」	単	2020.01.19	「しんぶん赤旗・日曜日」、1月19日付	第20面。
「私と『資本論』④ マルクスを広く市民の教養に」	単	2020.01.31	「しんぶん赤旗」1月31日付	第9面。
「貴族社会にもどっている-深まる格差への強烈な危機意識」	単	2020.03.20	「しんぶん赤旗」3月20日付	第9面。

研究助成金の受給状況					
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要			
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間	学会役員名				
2019.04-2020.03	関西唯物論研究協会・委員				
公開講座					
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要	
「労働者・市民要求の実現に向けた労働組合運動と政治闘争のあり方」	単	2019.06.22	さいたま共済会館	主催/埼玉県労働組合連合会。	
「2020年の展望」	単	2020.01.05	大阪市中央区民センター	主催/関西勤労者教育協会。	
「マルクス・エンゲルスの魅力」	単	2020.03.21	兵庫県民会館	主催/神戸映画サークル。	
				他、計27回。詳細は個人ブログに。 https://walumono.typepad.jp/4/	
学外機関委員等					
就任期間	機関名・委員名・役職名				
2019.04-2020.03	兵庫県自治体問題研究所・理事				
2019.04-2020.03	労働者教育協会・理事				
2019.04-2020.03	子どもと教科書全国ネット21・代表委員				
2019.04-2020.03	全国革新懇・代表世話人				
2019.04-2020.03	日本平和委員会・代表理事				
その他社会活動上特記すべき事項					
海外での活動					
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること					
期間	国名	概要			

氏名／所属／職名

金田 知子 KANATA Tomoko / 総合文化学科 / 教授

学位						
文学士, Dip.SW, M.Soc.Sci.						
専門分野						
社会福祉学						
研究課題						
途上国(アフリカ)の精神保健福祉、国際ソーシャルワーク						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
人間福祉学入門, 精神保健福祉相談援助の基盤(専門), 精神保健福祉援助演習(基礎), 社会福祉援助技術現場実習指導, 精神保健福祉援助実習, 精神保健福祉援助実習指導I, 精神保健福祉援助実習指導II, 基礎ゼミ, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文						
担当授業科目(大学院)						
その他教育活動上特記すべき事項						
	年月	対象者	概要			
精神保健福祉士国家試験対策	2019.07-2020.01	精神保健福祉士養成課程学生(4年生)	精神保健福祉実習室の協力を得て、精神保健福祉士国家試験対策としての小テスト、学内模試を実施。			
精神保健福祉援助実習報告書の作成	2019.11-2020.03	学生、精神保健福祉実習指導者、精神保健福祉士養成校	2019年度精神保健福祉援助実習報告書の執筆および編集。			
精神保健福祉士養成課程OG(卒業生)へのケア	2019.07.07 2020.02.01	総合文化学科精神保健福祉士養成課程の修了生	総合文化学科精神保健福祉士養成課程の修了生(主として精神保健福祉士)を対象に交流会を開催し、各自の現状を確認するとともに、必要なアドバイスを行った。			
コミュニティ開発ワーカーとして働く卒業生の実践活動についてのビデオ制作	2019.08-	学生、一般	ベナン共和国にてコミュニティ開発ワーカーとして働く元ゼミ生の実践を現地でも撮影し、ビデオ制作した。ビデオは授業で見せ、またYou Tubeでも公開している。			
あいりん地区(西成区)でのフィールドワーク	2019.07.29	学生	大阪市西成区のあいりん地区でのフィールドワークを実施。同地域でソーシャルワーカーとして働く卒業生の現場を訪問し、話を伺った。			
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
メンタルヘルス見聞録「シエラレオネ共和国のメンタルヘルスケアの変遷」	単	2019.10	日本精神保健福祉士協会『精神保健福祉』Vol.50/No.1	pp.328-331		
エッセイ「「理念」か「信念」か、それが問題です！」	単	2019.10.18	兵庫県精神保健福祉士協会『兵庫PSWの会ニュース』2019・10・18 No.21	p.1		
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況						

その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要		
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間		学会役員名			
公開講座					
講座名、講演タイトル	単共 の別	年月	場所	概要	
学外機関委員等					
就任期間		機関名・委員名・役職名			
2019.04-現在		神戸市精神医療審査会審査委員			
2019.04-現在		医療法人紫博会相談支援センター「りあん」第三者委員			
2019.04-現在		一般社団法人兵庫県精神保健福祉士協会 副会長			
2019.04-現在		Research Associate at Department of Social Work, University of Stellenbosch, South Africa			
その他社会活動上特記すべき事項					
2019.04-現在 精神科病院に強制入院中の精神障害者の退院および処遇改善要求に対し、本人および関係者への聞き取り調査を実施。					
海外での活動					
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること					
期間	国名	概要			
2019.08.20-08.30	ベナン共和国	ベナン共和国の国際協力(事業・プロジェクト)についての現地調査。			

学位						
学士(文学), 修士(文学), 博士(文学)						
専門分野						
哲学・倫理学						
研究課題						
生の現象学・臨床哲学・人文社会学を横断する共同性・文化・多文化性に関する研究						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
論理学入門, 哲学(I), 倫理学(II), 倫理学(III), 基礎ゼミ, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I)						
担当授業科目(大学院)						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
「コムニタスと開かれた文化」	単	2019.12.20	立命館大学人文科学研究 所紀要 No.120	pp.3-26		
「共同体の諸原理と生の現象学」	単	2020.02.27	『立命館文学』第665号 谷 徹教授退職記念論集	pp.148-160		
学会発表						
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
生の現象学・臨床哲学・人文社会学を横断する共同性・文化・多文化性に関する研究	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)			代	300千円	2019年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
2019.04-2020.03	日本ミシェル・アンリ哲学会 運営委員(事務局担当)					
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名					
その他社会活動上特記すべき事項						
2019.04-2020.03 哲学カフェ「晤語の哲学」を開催(計4回) 場所:島根大学松江キャンパス 参加者:一般市民(各回10名程度)						
海外での活動						
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること						
期間	国名	概要				

学位				
学士(文学), 修士(文学)				
専門分野				
日本近現代史				
研究課題				
戦間期日本の政治史・思想史・地域史, 戦後日本の政治史・思想史・地域史				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
アジアの中の日本史, 日本史(II), 近代日本思想史, 地理と生活, 基礎ゼミ, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I)				
担当授業科目(大学院)				
その他教育活動上特記すべき事項				
	年月	対象者	概要	
フィールドワーク	2019.07.06	基礎ゼミCu100(1)Fクラス	授業で学習した上で須磨寺周辺をFW	
フィールドワーク	2019.07.06	SS152a地理と生活a	授業で学習した上で孫文記念館を訪問	
他教員の専攻ゼミ4年生の卒業論文指導	2019.01-2020.01	4年生の学生1名	面接及びメールを繰り返して指導	
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
『新修神戸市史』生活文化編	共	2020.03.31	神戸市	共著/奥村弘ほか23人。pp.285-336。
学術論文				
学会発表				
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
「天皇代替わり雑感」	単	2019.夏	『神戸大学史学研究会会報』、神戸大学史学研究会	pp.3-4。
活動報告「高等学校『地理歴史科』教員養成プロジェクト-概要・現状・課題-	単	2019.12.26	『LINK-地域・大学・文化』第11号、神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター	pp.227-230。
研究助成金の受給状況				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別
				支給額
				支給年度
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間	学会役員名			
2017.04-2019.10	日本史研究会編集委員			
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
芦屋市立公民館講座 日本の戦後を振り返る-占領、経済成長、バブル崩壊-(計3回)	単	2019.07.13 -09.14	芦屋市立公民館	内容/戦後日本の政治史。主催/芦屋市立公民館。
明石市制100周年記念明石市史シンポジウム 歴史から探る明石の魅力(1回)	共	2019.09.07	あかし市民広場	内容/明石市の歴史に関するパネルディスカッション(パネラーとして参加)。主催/明石市。

朝日カルチャーセンター川西教室 戦争と政治－第二次世界大戦期の日本政治－(計3回)	単	2019.10.24 -12.26	朝日カルチャーセンター 川西教室	内容/日米開戦直前からポツダム宣言受諾までの政治史。主催/朝日カルチャーセンター川西教室。
鹿島市民図書館郷土史講座 内務官僚・田澤義鋪の国家構想-田澤が追い続けた理想の政治とは-(1回)	単	2019.12.08	鹿島市立図書館	内容/田澤義鋪の歩みと政治構想。主催/鹿島市立図書館。
芦屋市立公民館講座 はじめての福沢諭吉(1回)	単	2020.01.25	芦屋市立公民館	内容/「学問ノススメ」初編の講読。主催/鹿島市立図書館。

学外機関委員等

就任期間	機関名・委員名・役職名
2011.09-現在	八尾市史専門部会員
2014.05-現在	三木市情報公開審査会委員
2014.05-現在	三木市個人情報保護審査会委員
2015.04-現在	明石市史編纂専門部会委員(現代部会長)
2016.04-2020.03	新修神戸市史「生活文化編」執筆委員

その他社会活動上特記すべき事項

海外での活動

海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること

期間	国名	概要

学位					
学士(外国研究), 修士(国際関係論), 博士(国際関係論)					
専門分野					
政治学, 国際関係論					
研究課題					
インド民主主義の変容, 在外インド人の市民意識, インド貧困女性の政治参加					
教育活動					
担当授業科目(大学)					
プロジェクトC(I), プロジェクトA(II), Introduction to Japanese Culture, Current Issues in Japan, 現代アジア地域研究(IV)(南アジア), 概説国際関係論, 国際関係論, 市民のための現代社会・政治, 人権論, 政治学(国際政治を含む), 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文					
担当授業科目(大学院)					
その他教育活動上特記すべき事項					
年月	対象者	概要			
2019.04.20	教職課程履修の4回生	人権問題の具体例についての講義			
神戸女学院大学 教職センター主催 人権教育特別講義					
研究活動					
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	
著書・CD					
学術論文					
学会発表					
その他の研究発表、演奏					
その他の著作、訳書等					
「南部諸州におけるインド人民党の選挙戦」	単	2019.04.10	『インド経済フォーラム』	第146号 p.13.	
「ラファール・ガンディー会議派総裁のケーララ州からの立候補表明」	単	2019.05.10	『インド経済フォーラム』	第147号 p.14.	
「アーンドラ・プラデーシュ州議会選挙結果」	単	2019.06.10	『インド経済フォーラム』	第148号 p.20.	
「連邦下院選挙結果—カルナータカ州におけるインド人民党の圧勝」	単	2019.07.10	『インド経済フォーラム』	第149号 p.13.	
「カルナータカ州における会議派とジャナタ・ダル(世俗主義)連立政権の崩壊危機」	単	2019.08.13	『インド経済フォーラム』	第150号 p.19.	
「ケーララ州のモンスーン被害復旧支援をめぐる政治的攻防」	単	2019.09.10	『インド経済フォーラム』	第151号 p.12.	
「カルナータカ州における会議派有力議員の逮捕とその波紋」	単	2019.10.10	『インド経済フォーラム』	第152号 p.13.	
「ケーララ州とタミル・ナドゥ州の州議会補欠選挙結果」	単	2019.11.11	『インド経済フォーラム』	第153号 p.15.	
「カルナータカ州議会議員の辞職に関する最高裁判決と補欠選挙の行方」	単	2019.12.10	『インド経済フォーラム』	第154号 p.16.	
「カルナータカ州議会補欠選挙結果」	単	2020.01.10	『インド経済フォーラム』	第155号 p.15.	
「アーンドラプラデーシュ州の新州都計画をめぐる政治対立」	単	2020.02.10	『インド経済フォーラム』	第156号 p.13.	
「ケーララ州におけるコロナウイルス対策」	単	2020.03.10	『インド経済フォーラム』	第157号 p.15.	
研究助成金の受給状況					
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額	支給年度
分権の発展の効果と潜在力: インド29州の比較分析を通じた民主主義的安定のかたち	日本学術振興会研究費補助金 基盤研究(A)		分	20千円	2019年度
移民受入れ国-送出国の政策相互関連——国際社会学からの比較研究	日本学術振興会研究費補助金 基盤研究(A)		分	230千円	2019年度
産官学連携の受給状況					

その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間		学会役員名		
2019.04-2020.03		日本南アジア学会 雑誌編集委員		
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共 の別	年月	場所	概要
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		
2019.08	モーリシャス	インド系ディアスポラ調査		
2020.02.15-20	オーストラリア	春期語学研修の引率		

氏名／所属／職名

藏中 さやか KURANAKA Sayaka / 総合文化学科 / 教授

学位					
文学士, 文学修士, 博士(国文学)					
専門分野					
日本古典文学					
研究課題					
中古中世和歌文学における題詠のあり方, 中古中世和歌文学と漢籍との関連性, 歌題集成書の成立と展開					
教育活動					
担当授業科目(大学)					
担当授業科目(大学院)					
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要		
研究活動					
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	
著書・CD					
奥義抄古鈔本集成	共	2020.02.20	和泉書院	共著/黒田彰子、中村文 共同研究につき担当部分抽出不可。全594頁。科研費研究成果公開促進費「学術図書」受給。	
中世歌題集成書の研究	単	2020.02.28	青澗舎	全326頁。神戸女学院大学研究所出版助成、神戸女学院大学文学部総合文化学科出版助成受給。	
学術論文					
岩崎美隆旧蔵私家集の検討ー関西大学岩崎美隆文庫本『恵慶集』を起点としてー	単	2020.03.01	関西大学『国文学』第104号	pp.101- 118。	
学会発表					
岩崎美隆旧蔵私家集の検討ー関西大学岩崎美隆文庫本『恵慶集』を起点としてー	単	2019.12.07	和歌文学会関西12月例会第131回、於京都大学		
その他の研究発表、演奏					
その他の著作、訳書等					
和歌を詠む赤松教康一赤松関係軍記、寸描一	単	2019.11.01	花鳥社 webジャーナル	『軍記物語講座』(全4巻)に関する連続コラム「軍記物語講座によせて(5)」として掲載。	
研究助成金の受給状況					
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額	支給年度
蘆庵本歌合集の研究	龍谷大学世界仏教研究センター特定研究		分	総額70千円	2019年度
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要			
龍谷大学世界仏教文化研究センター客員研究員	2019.04-2020.03	龍谷大学所蔵資料を用いた研究に従事した。			
関西大学私学研修員	2019.04-2020.03	関西大学所蔵資料を用いた研究に従事した。			
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間	学会役員名				
2019.04-2020.03	和歌文学会委員、同関西例会委員				
2019.04-2020.03	中古文学会関西西部会運営委員				
公開講座					
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要	

学外機関委員等		
就任期間		機関名・委員名・役職名
その他社会活動上特記すべき事項		
海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要
備考：2019.04-2020.03 国内留学		

氏名／所属／職名

三杉 圭子 MISUGI Keiko / 総合文化学科 / 教授

学位						
文学士, 文学修士, M.A., 博士(英文学)						
専門分野						
20世紀アメリカ小説						
研究課題						
語りの技法, モダニズム, ジェンダー, 多文化社会におけるマイノリティの諸相						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
プロジェクトA(IV), アメリカの文化・文学(II), アメリカの文化・文学(III), 外国語セミナー(英語I), 基礎ゼミ, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文						
担当授業科目(大学院)						
比較文化・文学II						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
John Dos Passos's Corporeal Experimentations through 1920's Theater	単	2019.12	神戸女学院大学『論集』第66巻第2号			
学会発表						
Theatrical Experiments and Aesthetic Distance: John Do Passos in the 1920s	単	2019.05.23	American Literature Association Annual Conference, Westin Copley Place, Boston, USA			
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
書評:「広瀬佳司、伊達雅彦編『ユダヤの記憶と伝統』」	単	2019.12	『ユダヤ・イスラエル研究』第33号	pp.87-88.		
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
ジョン・ドス・パソスの代表的小説群における言葉と身体性——言語芸術の可能性	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)			代	500千円	2019年度
プラグマティズム再考:ジェイムズ兄妹とモダニテ	神戸市外国語大学プロジェクトB			分	100千円	2019年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
2019.04-2020.03		日本アメリカ文学会関西支部評議員				
2019.04-2020.03		日本ユダヤ学会理事				
2019.04-2020.03		日本英文学会編集委員				
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間		機関名・委員名・役職名				

その他社会活動上特記すべき事項		
海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要
2020.01.09-12	アメリカ	Modern Language Association Annual Conventionに参加

学位														
文学士, 文学修士														
専門分野														
ドイツ文学														
研究課題														
ホーフマンスタール, ヘルマン・ブロッホ, klassisch-Moderneの長編小説, 世紀転換期ウィーン文化														
教育活動														
担当授業科目(大学)														
ドイツの文化・文学(I), ドイツの文化・文学(IV), 欧米文化特殊研究(II), ドイツ語(I)文法, 基礎ゼミ, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文														
担当授業科目(大学院)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>その他教育活動上特記すべき事項</th> <th>年月</th> <th>対象者</th> <th colspan="2">概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td colspan="2"> </td> </tr> </tbody> </table>					その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要						
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要											
研究活動														
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など										
著書・CD														
学術論文														
学会発表														
"Hofmannsthal und Lafcadio Hearn"	単	2019.10.17-18	Conference: Japan and Viennese Modernism、ザルツブルク大学、オーストリア											
一般研究発表	単	2019.11.23	第230回阪神ドイツ文学会研究発表会、神戸女学院大学	司会										
その他の研究発表、演奏														
その他の著作、訳書等														
研究助成金の受給状況														
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度								
産官学連携の受給状況														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>その他研究活動上特記すべき事項</th> <th>年月</th> <th colspan="3">概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td colspan="3"> </td> </tr> </tbody> </table>					その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要							
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要												
社会貢献活動														
学会役員														
就任期間	学会役員名													
公開講座														
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要										
学外機関委員等														
就任期間	機関名・委員名・役職名													
その他社会活動上特記すべき事項														
海外での活動														
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること														
期間	国名	概要												

氏名／所属／職名

中野 敬一 NAKANO Keiichi / 総合文化学科 / 教授

学位						
神学士, 神学修士, D.Min.						
専門分野						
キリスト教学, 実践神学						
研究課題						
キリスト教の死者儀礼, 死生学						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
Current Issues in Japan, プロジェクト: 神戸女学院を創る, キリスト教概説, 現代社会と宗教, キリスト教学(新約学), 基礎ゼミ, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文						
担当授業科目(大学院)						
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要			
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
『C.B.デフォレスト書簡の解説(V)(1930-31) アメリカンボード宣教師文書より』	共	2020.1.31	神戸女学院大学「宣教師文書」研究会	共著/津上智実、白井由美子。pp.8-13。		
著書・CD						
『C.B.デフォレスト書簡の解説(V)(1930-31) アメリカンボード宣教師文書より』						
学術論文						
学会発表						
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
宣教師文書の解説と解明 ～1930年代前半のデフォレスト文書を中心に～	神戸女学院大学研究所 総合研究助成			分	1,500千円 (総額)	2019年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要				
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
2019.04-2020.03	日本基督教学会・幹事					
2019.04-2020.03	日本基督教学会・学会誌編集委員					
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
2019年春学期 同志社 Spirit Week講演会 講演題「会衆派教会のスピリット」	単	2019.06.05	同志社大学	主催/同志社大学キリスト教文化センター		
人権学習市民講座、「人はなぜ自死を選ぶのか」-その心理状態について考える-	単	2019.06.26	川西市総合センター	内容/自死(自殺)問題について考えるという主催からの要望。主催/川西市人権推進課		
HSCマイスターゼミナール、講演題「現代社会と宗教」	単	2020.01.09	尼崎女性センター	シニアカレッジでの講演		
礼拝説教「新しい神殿」	単	2020.02.02	日本基督教団伊丹教会	主日礼拝説教		
礼拝説教「荒れ野の誘惑」	単	2020.03.01	日本基督教団伊丹教会	主日礼拝説教		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名					
2019.04-2020.03	社会福祉法人イエス団・理事					

2019.04-2020.03		一般財団法人キリスト教学校教育同盟関西地区協議会・大学部会委員
その他社会活動上特記すべき事項		
海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要

学位					
社会学士, 学術修士					
専門分野					
社会学					
研究課題					
1) 社会の詩学 2) エスノメソドロジー以後の社会理論					
教育活動					
担当授業科目(大学)					
社会理論, 社会学概論, 基礎ゼミ, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文					
担当授業科目(大学院)					
比較社会学特論, 比較文化学総合演習I, 比較文化学総合演習II, 比較文化学総合演習III					
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要	
研究活動					
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	
著書・CD					
学術論文					
「図書館というトポス(2)」	単	2019.06.20	『神戸女学院大学論集』66(1)		
「社会は図書館である」	単	2019.07	『三田社会学』24		
「社会の余白に生きること」	共	2019.07.26	『日常を拓く知 古典を読む3 さびしさ』所収	神戸女学院大学総合文化学科監修、共著/笹尾佳代	
学会発表					
その他の研究発表、演奏					
その他の著作、訳書等					
研究助成金の受給状況					
研究タイトル		助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要		
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間		学会役員名			
公開講座					
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要	
学外機関委員等					
就任期間		機関名・委員名・役職名			
その他社会活動上特記すべき事項					
海外での活動					
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること					
期間	国名	概要			

学位					
学士(言語・文化), 修士(文学), 博士(文学)					
専門分野					
日本語学・日本語教育学					
研究課題					
語彙と文法を連動させた日本語・日本語教育研究					
教育活動					
担当授業科目(大学)					
クローバーゼミ, プロジェクトA(V), Tutorial for Exchange Student, 言語習得論, 日本語教授法(I)(日本語教育概論), 日本語教育実習(国内), 中国語(I)文法a, 中国語(I)文法b, 日本語学入門(I), 日本語学特論, 日本語(III)文法・作文, 日本語学研究(V), 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文					
担当授業科目(大学院)					
比較文化学合同研究A, 比較文化学特殊研究, 日本語学特殊研究					
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要	
研究活動					
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	
著書・CD					
学術論文					
「コロケーションに注目した日中対照研究— 「発生」と“发生”, 「進行」と“进行”を例に— (査読あり)	単	2019.07.13	中国語話者のための日本語教育研究会編『中国語話者のための日本語教育研究』第10号, 日中言語文化出版社	pp.1-11。	
学会発表					
その他の研究発表、演奏					
その他の著作、訳書等					
「授業に必要な中国語の豆知識—最終回まとめにかえて」	単	2019.07.13	中国語話者のための日本語教育研究会編『中国語話者のための日本語教育研究』第10号, 日中言語文化出版社	pp.71-86。	
研究助成金の受給状況					
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額	支給年度
英語教育・日本語教育・国語教育における学年別・レベル別教材の横断的調査	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)		代	0千円	2019年度
話題が語彙・文法・談話ストラテジーに与える影響の解明	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(B)		分	70千円	2019年度
日本語教育用テキスト解析ツールの開発と学習者向け誤用チェッカーへの展開	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(B)		分	90千円	2019年度
コーパスを活用した日中対照研究—日中同形自他動詞の分析—	神戸女学院大学研究所 研究助成		代	298千円	2019年度
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要		
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間	学会役員名				
2019.04-2019.05	日本語教育学会学会誌委員会委員				
2019.05-2020.03	日本語教育学会大会委員会委員				
2019.04-2020.03	日本語文法学会総務委員長				
2019.04-2020.03	日本語/日本語教育研究会総務委員				

2019.04-2020.03		中国語話者のための日本語教育研究会編集委員会委員長		
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共 の別	年月	場所	概要
外国語として日本語を見つめ直してみよう— 学校文法と日本語教育文法の違い—	単	2020.02	大手前大学	大手前大学通信教育部・日本語教員養成 課程シンポジウム～日本語教員に必要なこ と～
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

氏名／所属／職名

横田 恵子 YOKOTA Keiko / 総合文化学科 / 教授

学位						
芸術学士, 文学修士, 博士(社会福祉学)						
専門分野						
福祉社会学						
研究課題						
労働のグローバル化・女性化と日本女性の国際移動, 滞日アジア女性の支援に資する多文化ソーシャルワークの方法論の構築, 医療現場における価値・倫理規範と医学・看護教育にかかわる問題, 公衆衛生と健康の社会学						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
Tutorial for Exchange Student, 社会調査入門, NGO・NPO論, 社会調査計画法, 社会調査実習, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文						
担当授業科目(大学院)						
文化基礎論I						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
HIV感染症における倫理的課題に関する研究	共	2019.12	HIV感染症及びその合併症の課題を克服する研究分担研究報告書	共著/大北全俊		
学会発表						
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
ライフストーリーを繙く: 文学批評理論を援用した解釈学的アプローチの可能性	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)			代	1600千円	2019年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間		機関名・委員名・役職名				
その他社会活動上特記すべき事項						
海外での活動						
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること						
期間	国名	概要				

学位					
学士(社会福祉学), M.S.W., 博士(学術)					
専門分野					
社会福祉学					
研究課題					
「知的障害のある人の自己決定とその支援」および「障害福祉分野の相談支援専門員によるソーシャルワーク実践」					
教育活動					
担当授業科目(大学)					
プロジェクトC(I), クローバーゼミ, 人間福祉学入門, 精神保健福祉相談援助の基盤(基礎), 精神保健福祉援助演習(基礎), 精神保健福祉援助実習指導I, 精神保健福祉援助実習指導II, 社会福祉援助技術現場実習指導, 精神保健福祉援助実習, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文					
担当授業科目(大学院)					
比較文化学特殊講義					
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要	
研究活動					
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	
著書・CD					
学術論文					
「知的障害のある人の自己決定とその支援」	単	2019.04.15	日本介護福祉学会『介護福祉学』第25巻2号	pp.72-81。	
学会発表					
その他の研究発表、演奏					
その他の著作、訳書等					
研究助成金の受給状況					
研究タイトル		助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要		
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間		学会役員名			
公開講座					
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要	
社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団・相談支援「くすのき」第1回スーパービジョン	単	2019.05.09	相談支援事業所「くすのき」(大阪府池田市)	内容/障害福祉・相談支援事業所「くすのき」におけるスーパービジョンを行なった。主催/社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団。	
「スーパーバイザー・フォローアップ研修: スーパービジョンの進め方」	単	2019.06.23	かでの2.7(北海道札幌市)	内容/社会福祉士に対するピアグループスーパービジョンの進め方について、札幌会場において講義を行った。主催/公益社団法人日本社会福祉士会。	
「スーパーバイザー・フォローアップ研修: スーパービジョンの進め方」	単	2019.06.30	NLC新大阪ビル(大阪市淀川区)	内容/社会福祉士に対するピアグループスーパービジョンの進め方について、東京会場において講義を行った。主催/公益社団法人日本社会福祉士会。	

社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団・相談支援「くすのき」第2回スーパービジョン	単	2019.07.25	相談支援事業所「くすのき」(大阪府池田市)	内容/障害福祉・相談支援事業所「くすのき」におけるスーパービジョンを行なった。主催/社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団。
社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団・相談支援「くすのき」第3回スーパービジョン	単	2019.09.26	相談支援事業所「くすのき」(大阪府池田市)	内容/障害福祉・相談支援事業所「くすのき」におけるスーパービジョンを行なった。主催/社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団。
貝塚市障害者自立支援協議会・権利擁護部会セミナー「高齢者や障がい者の自己決定とその支援:意思決定支援の基本的な考え方」	単	2019.12.12	貝塚市・市民福祉センター(大阪府貝塚市)	内容/貝塚市の福祉関係者に対して意思決定支援の基本的な考え方に関する研修会を行い、その講師を務めた。主催/貝塚市障害者自立支援協議会。
社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団・相談支援「くすのき」第4回スーパービジョン	単	2019.12.26	相談支援事業所「くすのき」(大阪府池田市)	内容/障害福祉・相談支援事業所「くすのき」におけるスーパービジョンを行なった。主催/社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団。
社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団「令和元年実践事例報告会」	単	2020.02.08	障害者支援施設「三恵園」(大阪府池田市)	内容/社会福祉法人の事例報告会において、スーパーバイザーとして解説やコメントを行なった。主催/社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団。
令和元年度 神戸市・神戸市社会福祉協議会主催障害者施設職員スキルアップ研修「障害者施設における福祉援助職の『可能性』を考える」	共	2020.02.17-02.18	神戸市民福祉交流センター(神戸市中央区)	内容/平成元年度開始された神戸市・神戸市社会福祉協議会主催の障害者施設職員スキルアップ研修における講師を務めた。主催/神戸市・神戸市社会福祉協議会。
社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団・相談支援「くすのき」第5回スーパービジョン	単	2020.02.20	相談支援事業所「くすのき」(大阪府池田市)	内容/障害福祉・相談支援事業所「くすのき」におけるスーパービジョンを行なった。主催/社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団。

学外機関委員等

就任期間	機関名・委員名・役職名
2019.05-2020.03	公益財団法人社会福祉振興・試験センター・社会福祉士試験委員会委員(東京都渋谷区)
2019.04-2020.03	認定社会福祉士認証・認定機構認定委員会副委員長(東京都新宿区)
2019.04-2020.03	NPO法人おおさか行動する障害者応援センター理事会副代表兼理事(大阪市北区)
2019.04-2020.03	大阪府工賃向上計画の推進に関する専門委員会委員長(大阪市中央区)
2019.12-2020.03	大阪府公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会委員長(大阪市中央区)
2019.04-2020.03	豊中市健康福祉審議会委員(大阪府豊中市)
2019.04-2020.03	西宮市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会委員(兵庫県西宮市)
2019.04-2020.03	社会福祉法人産経新聞厚生福祉事業相談支援「くすのき」スーパーバイザー(大阪市浪速区)
2019.04-2020.03	社会福祉法人くすのき福社会評議員(大阪府守口市)
2019.04-2020.03	社会福祉法人ふらっふ監事(大阪府大東市)
2019.05-2020.03	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟・近畿ブロック運営委員長(東京都港区)

その他社会活動上特記すべき事項

海外での活動

海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること

期間	国名	概要

学位				
文学士, 法学修士				
専門分野				
国際人権法				
研究課題				
国際人権法における男女平等の確保, 国際人権法における女性と子どもの人身売買の防止				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
日本国憲法, 現代社会と法, 国際法, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文				
担当授業科目(大学院)				
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要
問題を抱えたゼミ生のケア・支援を行った。		2019年度		
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
学会発表				
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
研究助成金の受給状況				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別
				支給額
				支給年度
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要	
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間		学会役員名		
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
1994.04-2020.03		(公益財団法人)世界人権問題研究センター・嘱託研究員		
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

氏名／所属／職名

伊藤 拓真 ITO Takuma / 総合文化学科 / 准教授

学位						
学士(芸術), 修士(文学), Ph.D.						
専門分野						
芸術学・西洋美術史						
研究課題						
イタリア・ルネサンス美術史						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
クローバーゼミ, 西洋美術史, 芸術学, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文						
担当授業科目(大学院)						
比較文化学総合演習I, 比較文化学総合演習II, 比較文化学総合演習III						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
『Caravaggio : カラヴァッジョ展』	共	2019.08	北海道新聞社	共著・共訳		
学術論文						
学会発表						
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
ペルジーノ主義の形成と継承:ルネサンス期イタリアにおける芸術地理的枠組みの変容	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)			代	1,200千円	2019年度
盛期ルネサンスおよびバロック美術揺籃期における中心と周縁に関する研究	神戸女学院大学研究所 研究助成			代	299千円	2019年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要				
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間			学会役員名			
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間			機関名・委員名・役職名			
その他社会活動上特記すべき事項						
海外での活動						
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること						
期間	国名	概要				

氏名／所属／職名

景山 佳代子 KAGEYAMA Kayoko / 総合文化学科 / 准教授

学位						
学士(教育学), 修士(人間科学), 博士(人間科学)						
専門分野						
社会学, メディア論, 社会意識論						
研究課題						
日本近代を「風俗化」概念で捉える(戦後民主主義)						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
プロジェクトA(IV), メディア論, 社会病理学, 社会意識論, 社会病理学, 基礎ゼミ, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文						
担当授業科目(大学院)						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間		機関名・委員名・役職名				
その他社会活動上特記すべき事項						
海外での活動						
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること						
期間	国名	概要				

氏名／所属／職名

桐生 裕子 KIRYU Yuko / 総合文化学科 / 准教授

学位						
学士(文学), 修士(学術), 博士(学術)						
専門分野						
西洋史						
研究課題						
近代におけるハプスブルク君主国の変容とその特質						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
クローバーゼミ, Tutorial for Exchange Student, 西洋史入門, ヨーロッパ社会史(II), 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I)						
担当授業科目(大学院)						
比較文化学総合演習I, 比較文化学総合演習II, 比較文化学総合演習III						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
『論点・西洋史学』	共	2020	ミネルヴァ書房	共著。226-227頁。		
学術論文						
学会発表						
「自治体年代記にみる第一次世界大戦とチェコスロヴァキア建国の記憶」	単	2019.08.03	サロン・チェコスロヴァキア			
「チェコの歴史研究と体制転換—ハプスブルク時代を中心に—」	単	2019.11.30	第4回ボヘミアフォーラム			
その他の研究発表、演奏						
神戸女学院大学専門部会	単	2019.06.20	神戸女学院大学	研究発表「諸民族の牢獄」から「われわれの帝国へ」：ハプスブルク君主国史像の変化と第一次世界大戦		
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
1918-19年像の再構築 —継続と変容—	日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(A)			分	300千円	2019年度
第一次世界大戦前のハプスブルク君主国における国家機能と住民統合	日本学術研究会科学研究費補助金基盤研究(C)			代	600千円	2019年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要				
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名					
その他社会活動上特記すべき事項						

海外での活動

海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること

期間	国名	概要

学位						
学士(文学), 修士(文学), 博士(文学)						
専門分野						
中国史						
研究課題						
10-14世紀中国における統治の諸相						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
プロジェクトA(V), プロジェクトB(I), 外国語セミナー(中国語), 中国語(I)文法, 中国語(II)閲読, アジア史入門, アジア史研究, 日本アジア関係史, 基礎ゼミ, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文						
担当授業科目(大学院)						
その他教育活動上特記すべき事項						
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
『宋代史料への回帰と展開』	共	2019	汲古書院	共編著/梅村尚樹, 小林晃, 小林隆道, 藤本猛		
学術論文						
「宋元代の伯夷叔齊廟への加封と文書保管：首陽山二賢廟を中心に」	単	2019.06	歴史学研究会『歴史学研究』第984号	pp.23-34		
「南宋淳祐九年における茅山加封文書の発出過程—『道藏』所収『三茅真君加封事典』を分析対象として—」	単	2019.07	宋代史研究会(梅村尚樹, 小林晃, 小林隆道, 藤本猛)編『宋代史料への回帰と展開』汲古書院	pp.407-435		
学会発表						
「元代の范氏義学について」	単	2019.06.08	アジア史連絡会第5回研究会、愛媛大学			
「宋元代的伯夷叔齊的加封和文书保管：以首陽山二賢廟为中心」	単	2019.06.16	“宋史研究諸层面：思考与实践”学术研讨会、北京大学・清华大学			
「范文正公祠『小楷青州三絶碑』について」	単	2019.12.07	アジア史連絡会第6回研究会、下関市立大学			
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
宋金元代中国の文物をめぐる政治と土人	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)			代	900千円	2019年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項						
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間			学会役員名			
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
インターカレッジ西宮中国史レクチャー 宋代中国の政治と社会(計2回)	単	2019.07.10 /17	西宮市大学交流センター	内容/10～13世紀の中国では宋王朝が統治を担っていたが、そこで成立した政治のしくみが以後の中国社会のあり方を大きく規定したと言われる。その政治のしくみとその社会への影響を講義した。主催：西宮市大学交流センター		

学外機関委員等		
就任期間		機関名・委員名・役職名
その他社会活動上特記すべき事項		
海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要

氏名／所属／職名

栗山 圭子 KURIYAMA Keiko / 総合文化学科 / 准教授

学位					
学士(文学), 修士(文学), 博士(文学)					
専門分野					
日本史					
研究課題					
日本古代中世王家成立史, 日本古代中世家族史					
教育活動					
担当授業科目(大学)					
プロジェクトA(II), プロジェクトB(I), クローバーゼミ, 日本史(I), 史料で探る日本の歴史, 基礎ゼミ, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文					
担当授業科目(大学院)					
比較文化学総合演習I, 比較文化学総合演習II, 比較文化学総合演習III					
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要	
研究活動					
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	
著書・CD					
『藤原道長を創った女たち』	共	2020.03.25	明石書店	共著/服藤早苗、高松百香。pp.129-140。	
学術論文					
「女性からみた中世天皇制」	単	2019.12.01	歴史科学協議会『歴史評論』836号	pp.27-37。	
学会発表					
曾我部愛「鎌倉期王家の構造と変容」(司会)		2019.06.30	大阪歴史学会中世史部会報告、関西大学		
その他の研究発表、演奏					
「天皇の母たち」	単	2019.06.14	神戸女学院大学女性学インスティテュート連続セミナー		
その他の著作、訳書等					
研究助成金の受給状況					
研究タイトル		助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額
河内国金剛寺文書に基づく中世地域社会史の研究		科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金(基盤研究(C)))		分	55千円
					2019年度
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要		
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間		学会役員名			
2017.06-2019.06		大阪歴史学会・編集委員			
公開講座					
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要	
学外機関委員等					
就任期間		機関名・委員名・役職名			
2017.12-現在		兵庫県三木市『三木市史』編集委員会古代史部会委員			
2019.04-現在		兵庫県明石市『明石市史』編集委員会中世史部会委員			
その他社会活動上特記すべき事項					

海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要

学位																													
学士(教育学), 修士(教育学)																													
専門分野																													
教育哲学・人間形成論																													
研究課題																													
英米圏アイデンティティ政治学・フェミニズム批評理論の知見を用いた人間形成モデルの構築, 道徳性発達理論などを用いた道徳教育研究の実践性および妥当性の検証																													
教育活動																													
担当授業科目(大学)																													
クローバーゼミ, 人間と教育, 教育原理I, 教育原理II, カリキュラム論, 教育実習I, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文																													
担当授業科目(大学院)																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>その他教育活動上特記すべき事項</th> <th>年月</th> <th>対象者</th> <th colspan="2">概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>執筆した教科書を使った授業実践</td> <td>2019.04-2020.01</td> <td>教職課程「教育原理」受講学生</td> <td colspan="2">内容/「多様性」をキーワードに編纂された教育原理の教科書において第一章「教育とは何か」および第二章「教育思想の歴史」を担当。本年度はこのコンテンツを活用し、「原理」の硬直性をやわらげ、多様な視点を獲得しうるような授業内容を工夫した。</td> </tr> <tr> <td>アクティブラーニングやワークを取り入れた授業実践</td> <td>2019.04-2020.01</td> <td>「クローバーゼミ」、教職課程「教育原理」「カリキュラム論」受講学生など</td> <td colspan="2">内容/クローバーゼミでは『アクティブラーニングで学ぶジェンダー:現代を生きるための12の実践』、教職課程の講義では『ワークで学ぶ教育学』『ワークで学ぶ教育課程論』などの教材を活用し、一方向からの講投げかけではなく、双方向および学生同士での交流の機会を取り入れた授業内容を工夫した。</td> </tr> <tr> <td>滋賀県教員研修向け講演「ジェンダーに配慮したカリキュラムの実践」内容を、本学教職課程受講生たちに還元</td> <td>2019.12-2020.01</td> <td>教職課程「教育原理」受講学生</td> <td colspan="2">内容/同年11月に滋賀県・滋賀県教育委員会主催で開催された教職員むけ講座「ジェンダーに配慮したカリキュラムの実践」の内容が好評だったため、本学教職課程受講者に向けて開講される教育原理の授業テーマ「性の多様性と学校空間」の中に取り入れ、質疑応答などを通して性の多様性と学校空間の関係について学びを深めた。</td> </tr> </tbody> </table>					その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要		執筆した教科書を使った授業実践	2019.04-2020.01	教職課程「教育原理」受講学生	内容/「多様性」をキーワードに編纂された教育原理の教科書において第一章「教育とは何か」および第二章「教育思想の歴史」を担当。本年度はこのコンテンツを活用し、「原理」の硬直性をやわらげ、多様な視点を獲得しうるような授業内容を工夫した。		アクティブラーニングやワークを取り入れた授業実践	2019.04-2020.01	「クローバーゼミ」、教職課程「教育原理」「カリキュラム論」受講学生など	内容/クローバーゼミでは『アクティブラーニングで学ぶジェンダー:現代を生きるための12の実践』、教職課程の講義では『ワークで学ぶ教育学』『ワークで学ぶ教育課程論』などの教材を活用し、一方向からの講投げかけではなく、双方向および学生同士での交流の機会を取り入れた授業内容を工夫した。		滋賀県教員研修向け講演「ジェンダーに配慮したカリキュラムの実践」内容を、本学教職課程受講生たちに還元	2019.12-2020.01	教職課程「教育原理」受講学生	内容/同年11月に滋賀県・滋賀県教育委員会主催で開催された教職員むけ講座「ジェンダーに配慮したカリキュラムの実践」の内容が好評だったため、本学教職課程受講者に向けて開講される教育原理の授業テーマ「性の多様性と学校空間」の中に取り入れ、質疑応答などを通して性の多様性と学校空間の関係について学びを深めた。						
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要																										
執筆した教科書を使った授業実践	2019.04-2020.01	教職課程「教育原理」受講学生	内容/「多様性」をキーワードに編纂された教育原理の教科書において第一章「教育とは何か」および第二章「教育思想の歴史」を担当。本年度はこのコンテンツを活用し、「原理」の硬直性をやわらげ、多様な視点を獲得しうるような授業内容を工夫した。																										
アクティブラーニングやワークを取り入れた授業実践	2019.04-2020.01	「クローバーゼミ」、教職課程「教育原理」「カリキュラム論」受講学生など	内容/クローバーゼミでは『アクティブラーニングで学ぶジェンダー:現代を生きるための12の実践』、教職課程の講義では『ワークで学ぶ教育学』『ワークで学ぶ教育課程論』などの教材を活用し、一方向からの講投げかけではなく、双方向および学生同士での交流の機会を取り入れた授業内容を工夫した。																										
滋賀県教員研修向け講演「ジェンダーに配慮したカリキュラムの実践」内容を、本学教職課程受講生たちに還元	2019.12-2020.01	教職課程「教育原理」受講学生	内容/同年11月に滋賀県・滋賀県教育委員会主催で開催された教職員むけ講座「ジェンダーに配慮したカリキュラムの実践」の内容が好評だったため、本学教職課程受講者に向けて開講される教育原理の授業テーマ「性の多様性と学校空間」の中に取り入れ、質疑応答などを通して性の多様性と学校空間の関係について学びを深めた。																										
研究活動																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称</th> <th>単共の別</th> <th>発行又は発表の年月</th> <th>発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称</th> <th>共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>著書・CD 「教育学から『ぼっち』恐怖の正体:ディヴィッド・リースマン『孤独な群衆』」</td> <td>単</td> <td>2019.07</td> <td>笹尾佳代編著『日常を拓く知 古典を読む 第3巻 さびしさ』世界思想社所収。</td> <td>pp.66-82</td> </tr> <tr> <td>学会発表 「リスク・教育・主体---学校における統治技術の変容とその帰結」</td> <td>単</td> <td>2019.12.01</td> <td>中国四国教育学会第71回大会「社会と教育」部会 於松山大学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の研究発表、演奏 神戸女学院大学女性学インスティテュート主催 第6回女性学研究会</td> <td>単</td> <td>2020.2.26</td> <td>於神戸女学院大学文学館L-8教室</td> <td>表題/「学校における<ジェンダー平等教育>の現在」</td> </tr> <tr> <td>その他の著作、訳書等</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	著書・CD 「教育学から『ぼっち』恐怖の正体:ディヴィッド・リースマン『孤独な群衆』」	単	2019.07	笹尾佳代編著『日常を拓く知 古典を読む 第3巻 さびしさ』世界思想社所収。	pp.66-82	学会発表 「リスク・教育・主体---学校における統治技術の変容とその帰結」	単	2019.12.01	中国四国教育学会第71回大会「社会と教育」部会 於松山大学		その他の研究発表、演奏 神戸女学院大学女性学インスティテュート主催 第6回女性学研究会	単	2020.2.26	於神戸女学院大学文学館L-8教室	表題/「学校における<ジェンダー平等教育>の現在」	その他の著作、訳書等				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など																									
著書・CD 「教育学から『ぼっち』恐怖の正体:ディヴィッド・リースマン『孤独な群衆』」	単	2019.07	笹尾佳代編著『日常を拓く知 古典を読む 第3巻 さびしさ』世界思想社所収。	pp.66-82																									
学会発表 「リスク・教育・主体---学校における統治技術の変容とその帰結」	単	2019.12.01	中国四国教育学会第71回大会「社会と教育」部会 於松山大学																										
その他の研究発表、演奏 神戸女学院大学女性学インスティテュート主催 第6回女性学研究会	単	2020.2.26	於神戸女学院大学文学館L-8教室	表題/「学校における<ジェンダー平等教育>の現在」																									
その他の著作、訳書等																													
研究助成金の受給状況																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>研究タイトル</th> <th>助成金タイトル、支給元</th> <th>代分の別</th> <th>支給額</th> <th>支給年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					研究タイトル	助成金タイトル、支給元	代分の別	支給額	支給年度																				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元	代分の別	支給額	支給年度																									

産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要	
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間		学会役員名		
2013.09-現在		日本道徳教育方法学会国際委員会		
2015.10-現在		教育思想史学会編集委員会		
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共 の別	年月	場所	概要
滋賀県・滋賀県教育委員会主催 令和元年度教職員さんかく講座	単	2019.11.21	於滋賀県立男女共同参画センター“G-Net しが”大ホール	表題/「ジェンダーに配慮したカリキュラムの実践」
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
2016.04-現在		めぐみ会奨学金委員会・委員		
2017.04-現在		公益社団法人神戸女学院めぐみ会理事		
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

氏名／所属／職名 笹尾 佳代 SASAO Kayo / 総合文化学科 / 准教授

学位					
学士(教育), 修士(教育学), 博士(国文学)					
専門分野					
日本近現代文学					
研究課題					
女性の文化生産および女性表象をめぐる諸問題、1930年代東アジアの女性雑誌					
教育活動					
担当授業科目(大学)					
プロジェクトB(I), Tutorial for Exchange Student, 国語科教育法II, 教育実習I, 日本近現代文学研究(I), 日本近現代文学講読(II), 日本文学史(II), 基礎ゼミ, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文					
担当授業科目(大学院)					
日本文学特殊講義II					
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要	
研究活動					
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	
著書・CD					
『女性と闘争 雑誌「女人芸術」と一九三〇年前後の文化生産』	共	2019.05.28	青弓社	「目覚めの途上にあること—「女人芸術」の文学作品にみる闘争の周縁」pp.122-145/ 「コラム「女人芸術」の読者共同体」pp.146-150当該部分単著 共編著	
『さびしさ』	共	2019.07.26	世界思想社	共著/清水学「〈さびしさ〉を問いなおす 社会の余白に生きること」pp.3-28 編著	
学術論文					
学会発表					
その他の研究発表、演奏					
奈良女子大学 文学部 言語文化学科 ジェンダー言語文化プロジェクト講演会	単	2019.12.09	奈良女子大学	「左翼運動と女性作家 雑誌『女人芸術』にみる運動の周縁」	
その他の著作、訳書等					
紹介「佐々木亜紀子・光石亜由美・米村みゆき編『ケアを描く 育児と介護の現代小説』」	単	2019.11.15	『日本近代文学』101号	p.336	
書評「黒田俊太郎『鏡』としての透谷 表象の体系/浪漫的思考の系譜」	単	2019.10.01	『日本近代文学学会関西支部会報』30号	p.20	
書評「文学テキストの動態を捉える 表象のパフォーマティビティの可能性—関礼子『演じられる近代』書評」	単	2020.02.21	『週間読書人』3328号	4面	
研究助成金の受給状況					
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額	支給年度
1930年代における東アジア女性雑誌の比較研究	学術研究助成基金助成金(国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B)))		分	250千円	2019年度
1930年前後左翼運動の文化実践におけるジェンダーとセクシュアリティ	学術研究助成基金助成金(基盤研究(C))		分	150千円	2019年度
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要			
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間	学会役員名				

公開講座				
講座名、講演タイトル	単共 の別	年月	場所	概要
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		
2020.02.20-23	台湾	中央研究院臺灣史研究所(座談会 日本統治下の台湾文学・文化研究に関する意見交換)、国立台湾図書館台湾史資料室調査(科研費による共同研究の一環)、台湾慰安婦記念博物館調査(科研費による共同研究の一環)		

氏名／所属／職名

戸江 哲理 TOE Tetsuri / 総合文化学科 / 准教授

学位				
学士(法学), 修士(文学), 博士(文学)				
専門分野				
社会学				
研究課題				
子育て支援の社会学的研究・現代家族にかんする全国規模の質的調査にもとづく社会学的研究				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
子どもの社会学, 家族社会学, 質的調査法, 基礎ゼミ, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文				
担当授業科目(大学院)				
比較文化学総合演習I, 比較文化学総合演習II, 比較文化学総合演習III				
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
学会発表				
その他の研究発表、演奏				
よその子をどう叱るか	単	2019.09.02	第2回会話分析研究発表会	
その他の著作、訳書等				
研究助成金の受給状況				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額
現代家族の過程と実践をめぐる質的研究に対する組織的取り組み	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(B)		分	100千円
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間	学会役員名			
2017.10-2019.12	日本エスノメソドロジー・会話分析研究会・代表			
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名			
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

氏名／所属／職名

渡部 充 WATANABE Mitsuru / 総合文化学科 / 准教授

学位						
理学士, 文学士, 文学修士						
専門分野						
イギリス文学, 沖縄学, 女性学						
研究課題						
ユートピア文学, イギリス・ロマン派						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
イギリスの文化・文学(I), イギリスの文化・文学(IV), 欧米文化特殊研究(I), 英米文化・文学入門, Tutorial for Exchange Student, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文						
担当授業科目(大学院)						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名					
その他社会活動上特記すべき事項						
海外での活動						
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること						
期間	国名	概要				

氏名／所属／職名 大澤 香 OZAWA Kaori / 総合文化学科 / 専任講師

学位						
学士(文学), 修士(神学), 博士(神学)						
専門分野						
聖書学(ヘブライ語聖書、新約聖書)						
研究課題						
第二神殿時代ユダヤ教と原始キリスト教の聖書解釈						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
キリスト教概説, キリスト教学(旧約学), 聖書学(I), 聖書学(II), 新約聖書原典講読, 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I)						
担当授業科目(大学院)						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
「神の所有としての生—ルカ福音書20章27-40節についての考察—」(査読あり)	単	2019.09.13	『青野太潮先生献呈論文集 イエスから初期キリスト教へ—新約思想とその展開』	単著/大澤香。pp.173-187。		
“God-Fearer” in Acts as a Topos: Where Religious Piety and Ethnic Otherness Meet” (査読あり)	単	2020.03.31	ORIENT, Volume 55	単著/大澤香。pp.105-115。		
学会発表						
「ヘブライ語聖書における捕囚と穢れのメタファー」	単	2019.12.08	若手研究者による古代中近東研究会	ワークショップにて研究発表。		
その他の研究発表、演奏						
RCCエコロジカル聖書解釈研究会	単	2019.09.18	関西学院大学キリスト教と文化研究センター	「ヨナ書の動物・自然・異邦人」		
連続セミナー「母なるものの役割」	単	2019.06.07	神戸女学院大学 女性学インスティテュート	「キリスト教における母なるもの」		
第6回四国同信伝道会研修会	単	2019.08.23	日本基督教団松山教会	「聖書と女性の視点—聖書の多声性と多様な聖書解釈」		
その他の著作、訳書等						
「福音のはじめ」	単	2019.10.31	『チャペル・アワー奨励集』(同志社大学キリスト教文化センター)No.302	単著/大澤香。pp.156-167。		
書評:嶺重淑『ルカ福音書一章～九章五〇節 (NTJ新約聖書注解)』	単	2019.09	『日本の神学』 58号	単著/大澤香。pp.102-107。		
『「神の詩」を共にうたうために～聖書翻訳事業へのかかわりを通して～』	単	2019.05.15	『基督教世界』 第3763号	単著/大澤香。pp.3-4。		
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
アイデンティティと「穢れ」: 原始キリスト教会形成プロセスにおける「他者」の受容	日本学術振興会科学研究費助成事業 若手研究			代	800千円	2019年度
エコロジカル聖書解釈	2019年度キリスト教と文化研究センター共同研究費			分	500千円 (総額)	2019年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			

社会貢献活動				
学会役員				
就任期間		学会役員名		
2017.10-現在		日本基督教学会「若手研究者イニシアティブ」委員		
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
礼拝説教「他者の声を聴くこと、他者と共に歩むこと」	単	2019.08.23	日本基督教団松山教会	主日礼拝
礼拝説教「命を回復する時」	単	2019.09.08	日本基督教団西宮門戸教会	特別礼拝
礼拝説教「溢れる恵み」	単	2020.02.23	日本基督教団伊丹教会	主日礼拝
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

学位				
学士(音楽)				
専門分野				
声楽				
研究課題				
オペラ, 歌曲, 宗教曲				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
声楽アンサンブル, オペラ実習, 伴奏実習(I), 伴奏実習(IV), 声楽Major(I), 声楽Major(III), 声楽Major(IV), 声楽Minor(I), 声楽Minor(IV), 声楽Second Major(I), 声楽Second Major(II)				
担当授業科目(大学院)				
演奏芸術特論I, 演奏芸術特論II, 声楽実技I, 声楽実技II				
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要	
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
学会発表				
演奏会・発表会				
東日本大震災復興チャリティーコンサート 未来へつなぐ『集』コンサート2019	共	2019.05.04	ザ・シンフォニーホール	主催/関西音楽人の力『集』実行委員会。 共演/井村誠貴、牧村邦彦、高谷光信他。 曲/アヴェ・ヴェルム・コルプス、故郷の四季、他。
高谷みのりリサイタル 「カプレーティ家とモンテッキ家」 ベッリーニテバルド役	共	2019.05.18	ラブリーホール	主催/MT企画。音楽監督・ピアノ/服部容子。演出/岩田達宗。共演/高谷みのり、平野雅世、片桐直樹、他。
市民搜索オペラ「イワイさまおじやったか」 イベント	共	2019.07.16	西部市民会館	主催/アワーズホール・明石市立市民会館。共演/松田緑、諏訪部匡司、他。
Canzone da KOBE vol.21 フェニックスコンサート-47th	共	2019.08.03	神戸新聞松方ホール	主催/兵庫県音楽推進会議、神戸新聞社・(一財)神戸新聞文化財団。共演/伊釈迎郡洋介、桑井謙三、松本幸三、田原祥一郎、他。曲/ダッツァ、タベの静かな海、他。
明石市制施行100周年記念事業 市民創作オペラ「イワイさまおじやったか」 ～明石岩屋神社伝承～ オオスキ役	共	2019.08.11	アワーズホール・明石市立市民会館大ホール	主催/アワーズホール・明石市立市民会館。指揮/斉田好男。演出/藪川直子。管弦楽/明石フィルハーモニー管弦楽団。共演/松田緑、諏訪部匡司、神田行雄、名島嘉津栄、他。
第28回みつなかオペラ チマローザ:「秘密の結婚」 パオリーノ役	共	2019.10.06	川西 みつなかホール	主催/みつなかオペラ実行委員会、公益財団法人川西市文化・スポーツ振興財団。指揮/牧村邦彦。演出/井原広樹。管弦楽/ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団。共演/坂口裕子並河寿美、片桐直樹、尾崎比佐子、迎肇聡、他。
東京藝術大学音楽学部同声会 兵庫支部演奏会	共	2019.10.09	兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール	主催/東京藝術大学音楽学部同声会兵庫支部。曲/ヴェルディ 歌劇「椿姫」ハイライト。アルフレード役。共演/金澤佳代子、本家規代、松岡万希、他。
松田緑 ソプラノ・リサイタル	共	2019.10.20	稲美町市文化会館 コスモホール	主催/コスモホール文化振興協会。共演/松田緑、藤江圭子。曲/乾杯の歌、誰も寝てはならぬ、「蝶々夫人」ハイライト、他。
クラシックファンのためのコンサート 松本薫平 イタリア歌曲とカンツォーネのタベ	共	2019.11.21	大阪倶楽部 4Fホール	主催/NPO法人クラシックファンのためのコンサート。共演/小柳るみ。曲/暁は光から、マッティナータ、禁じられた音楽、他。

みんなで気軽に楽しもう イオンモール×日本オペラ振興会 オペラdeイオンモール	共	2019.11.23	イオンモール神戸南3F イオンモール	主催/イオンモール、藤原歌劇団。共演/山口安紀子、二渡加津子、久保晃子。曲/「トスカ」星はひかりめ、忘れな草、他。
2019春日井市民第九演奏会 テノールソロ	共	2019.12.08	春日井市民会館	主催/春日井市、春日井市教育委員会、他。指揮/井村誠貴。管弦楽/春日井市管弦楽団。共演/國光ともこ、河村典子、池田真己。
第27回コープこうべ 第九コンサート テノールソロ	共	2019.12.22	兵庫県立芸術文化センター KOBELCOホール	主催/生活協同組合コープこうべ。指揮/牧村邦彦。管弦楽/紫苑交響楽団。共演/田中希美、伊藤絵美、小玉晃。
帝国ホテルの音楽會 ～チャリティーチャペルコンサート～ New Year Gala 2020	共	2020.01.03	帝国ホテル大阪 チャペル	主催/帝国ホテル大阪。共演/尾碕比佐子、西原綾子、西尾岳史、矢崎真理。曲/誰も寝てはならぬ、友情の二重唱、「カルメン」ハイライト、他。
藤原歌劇団「トスカ」 にっぽん丸 新春オペラクルーズ カヴァラドッシ役	共	2020.01.13	ドルフィンホール	主催/NIPPONMARU。指揮/杉原直基。演出/橋本英志。共演/野田ヒロ子、折江忠道、松浦健、安東玄人、他。
山口安紀子×中田一史 歌と踊りのステージ ～ソプラノ&ダンサーによる夢の共演～	共	2020.02.29	兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール	主催/ブリランテ・ムジカ事務局。共演/山口安紀子、中田一史、藤原藍子、他。曲/乾杯の歌、誰も寝てはならぬ、Time to say goodby、他。
作曲・編曲・振付				
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
研究助成金の受給状況				
研究タイトル		助成金タイトル、支給元	代分の別	支給額 支給年度
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間	学会役員名			
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
公開レッスンでの指導				
コンクール等の審査				
カワイ歌のコンクール	共	2019.04.20	クオレ大阪南	主催/カワイ音楽コンクール委員会
第32回和歌山県高等学校制学・ピアノコンクール	共	2019.07.24	和歌山県民文化会館	主催/和歌山県高等教育研究会音楽部会
第20回大阪国際コンクール	共	2019.08.16	うはらホール	主催/大阪国際コンクール事務局
第11回東京国際声楽コンクール	共	2019.09.06, 08	たんば田園交響ホール	主催/一般社団法人東京国際芸術協会
第73回全日本学生音楽コンクール大阪大会予選	共	2019.09.03, 04,05	ザ・フェニックスホール	主宰/毎日新聞社
第73回全日本学生音楽コンクール大阪大会本選	共	2019.10.18	ザ・フェニックスホール	主宰/毎日新聞社
The13th ベーテン音楽コンクール	共	2019.11.17	神戸女学院大学講堂	主宰/ベーテン音楽協会
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名			

その他社会活動上特記すべき事項		
海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要

学位				
芸術学士				
専門分野				
声楽				
研究課題				
オペラ, 歌曲, 宗教曲				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
声楽アンサンブル, 伴奏実習(I), 伴奏実習(II), 伴奏実習(III), 伴奏実習(IV), 声楽Major(I), 声楽Major(II), 声楽Major(III), 声楽Major(IV)				
担当授業科目(大学院)				
声楽実技II				
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
学会発表				
演奏会・発表会				
大坂府立大学「関西経済論XXV」(斉藤言子リサイタル)	単	2019.07.04	大坂府立大学Uホール	主催/大阪府立大学 世界の歌巡り(9曲) プッチーニ: 歌に生き恋に生き(オペラ「トスカ」)ある晴れた日に(オペラ「蝶々夫人」)私の名はミミ(オペラ「ラ・ボエーム」) ベッリーニ: 清らかな女神よ(オペラ「ノルマ」) My favorite Songs(遠くへ行きたい、夜明けの歌、小さな空、空よ(翼を広げて)、マイ・ウエイ、すべての山に登れ
2019年度めぐみ会公開講座”東洋文化と西洋文化が出会う能舞台 伽羅沙〜ガラシャ〜	共	2019.10.12	神戸女学院講堂	主催/めぐみ会 共演:梅若玄祥 曲目: ベッリーニ:清らかな女神(オペラ「ノルマ」)、プッチーニ:歌に生き恋に生き(オペラ「トスカ」)、ルッチ:アヴェマリア
学院クリスマス礼拝	共	2019.12.18	神戸女学院講堂	主催/神戸女学院 曲目;デイヴィス「世界中でいちばん素敵なお誕生日」
オールスター関西オペラ鶴亀歌合戦	共	2019.12.29	ザ・シンフォニーホール	主催/ザ・シンフォニーホール 共演:大阪交響楽団 曲目/ベッリーニ:清らかな女神よ(オペラ「ノルマ」)
兵庫県医師会交響楽団第12回定期演奏会「第九」	共	2020.02.21	神戸国際会館大ホール	主催/兵庫県医師会 共演:兵庫県医師会 曲目:ベトーヴェン「第九シンフォニー」ソプラノ
関西二期会「イタリア歌曲の流れ」公演監督	共	2019.11.12	兵庫女学院ホール	主催/関西二期会
関西二期会オペラ本公演「カヴァレリア・ルスティカーナ」道化師公演監督	共	2020.02.22	大阪文化創造館大ホール	主催/関西二期会
関西二期会オペラ本公演「カヴァレリア・ルスティカーナ」道化師公演監督	共	2020.02.23	大阪文化創造館大ホール	主催/関西二期会
斉藤言子門下新春コンサート	共	2020.01.04	豊中市民芸術文化センター	主催/斉藤言子
作曲・編曲・振付				
その他の研究発表、演奏				
学生寮賛美夕拝	単	2019.04.24	神戸女学院学生寮	
中高部音楽礼拝	単	2019.07.01	神戸女学院講堂	
その他の著作、訳書等				

研究助成金の受給状況					
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要			
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間	学会役員名				
公開講座					
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要	
講演「大阪府立大学特別公開講座「関西経済論XXV」	単	2019.07.11	大阪府立大学Uホール	内容/歌が繋げる世界 主催/大阪府立大学	
レクチャー;関西二期会オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」「道化師」	単	2020.01.31	大阪文化創造館	内容/オペラ内容についてのレクチャー	
公開レッスンでの指導					
イタリア歌曲唱法公開講座	単	2019.10.09	グリーンホール	イタリア古典。近代歌曲20曲	
「イタリア歌曲の流れ」公開講座	単	2019.09.29	グリーンホール	イタリア歌曲28曲	
「イタリア歌曲の流れ」公開講座	単	2019.10.26	神戸女学院合奏室	イタリア歌曲全曲通し	
コンクール等の審査					
日伊声楽コンクール	共	2019.06.07	西宮プレアホール	主催/読売新聞、日伊協会	
宝塚ベガコンクール予選	共	2019.06.08	宝塚ベガホール	主催/宝塚演奏連盟、宝塚文化振興財団	
宝塚ベガコンクール予選	共	2019.06.09	宝塚ベガホール	主催/宝塚演奏連盟、宝塚文化振興財団	
宝塚ベガコンクール本選会	共	2019.07.07	宝塚ベガホール	主催/宝塚演奏連盟、宝塚文化振興財団	
和歌山県文化表彰選考委員会(第一回)	共	2019.08.01	和歌山県庁	主催/和歌山県	
関西二期会オペラ公演「リゴレット」キャストオーディション」	共	2019.08.03	グリーンホール	主催/関西二期会	
全国学校音楽コンクール 小学、中学校の部	共	2019.08.06	長岡京市市民会館	主催/NHK	
全国学校音楽コンクール 高校の部	共	2019.08.07	長岡京市市民会館	主催/NHK	
ベートン音楽コンクール地区予選	共	2019.08.11	宝塚ベガホール	主催/ベートン音楽コンクール	
岡山県独唱独奏コンクール	共	2019.08.25	倉敷	主催/岡山県教育委員会	
大阪国際音楽コンクール予選	共	2019.08.25	阿倍野区民ホール	主催/大阪国際コンクール	
東京国際声楽コンクール	共	2019.08.26	うはらホール	主催/東京国際コンクール	
日本演奏家コンクール	共	2019.08.26	うはらホール		
兵庫芸術奨励賞選考会	共	2019.09.09	県民文化会館	主催/兵庫県	
和歌山県文化表彰選考委員会(第二回)	共	2019.09.11	和歌山県庁	主催/和歌山県	
大阪国際音楽コンクール本選会	共	2019.10.13	高槻現代劇場	主催/大阪国際コンクール	
瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール予選	共	2019.10.13	グランツ竹田大ホール	主催/竹田市教育委員会	
瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール本選会」	共	2019.10.20	グランツ竹田大ホール	主催/竹田市教育委員会	
ベートン音楽コンクール地区本選	共	2019.11.17	神戸女学院講堂	主催/ベートン音楽コンクール	
関西二期会オペラスタジオソロ試験	共	2020.02.02	グリーンホール	主催/関西二期会	
関西二期会オペラスタジオ入所オーディション	共	2020.03.22	グリーンホール	主催/関西二期会	
関西二期会オペラスタジオ本科修了オペラ	共	2020.03.28	ピッコロシアター大ホール	主催/関西二期会	
関西二期会オペラスタジオ入所オーディション	共	2020.03.29	グリーンホール	主催/関西二期会	
和歌山県文化・スポーツ補助金選考委員会	共	2020.03.30	和歌山県庁	主催/和歌山県	
学外機関委員等					
就任期間	機関名・委員名・役職名				
～2020.03.31	関西二期会副理事長				
～2020.03.31	和歌山県文化表彰選考委員				
～2020.03.31	和歌山県文化・スポーツ振興助成事業選考委員				
～2020.03.31	紀の国和歌山文化祭2021・チオ域文化発信事業選考委員				

～2020.03.31	兵庫県芸術奨励賞選考委員
～2020.03.31	宝塚ベガ国際コンクール理事
～2020.03.31	大学コンソーシアム神戸理事・監事
その他社会活動上特記すべき事項	
海外での活動	
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること	
期間	国名
	概要

氏名/所属/職名

佐々 由佳里 SASSA Yukari / 音楽学科 / 教授

学位						
芸術学士, Magister der Künste						
専門分野						
ピアノ						
研究課題						
音色とタッチの関わりについて, 室内楽(ピアノトリオ・ピアノを含む室内楽作品)						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
室内楽(I), 室内楽(II), ピアノMajor(I), ピアノMajor(III), ピアノMajor(IV)						
担当授業科目(大学院)						
器楽実技I, 器楽実技II						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
室内楽の愉しみ(室内楽クラス発表会)開催		2019.07.22	室内楽授業履修学生			
室内楽の愉しみ(室内楽クラス発表会)開催		2020.02.21	室内楽授業履修学生			
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
CD「トリオ・フォンターナ2019夏」(結成20周年記念コンサート)	共	2020	©& 2019 Trio Fontana	トリオ・フォンターナ		
学術論文						
学会発表						
演奏会・発表会						
トリオ・フォンターナ2019夏	共	2019.07.21	きびドーム	主催/有田川町教育委員会 Mozart: Klaviertrio K.496 Brahms: Klaviertrio No.1 Op.8 他 共演/久保由佳子、山下泰資		
トリオ・フォンターナ2019夏	共	2019.07.25	ザ・フェニックスホール	Mozart: Klaviertrio K.496 Brahms: Klaviertrio No.2 他 共演/久保由佳子、山下泰資		
佐々由佳里室内楽シリーズVol.7 Spring Concert	共	2020.02.15	岸和田市立自泉会館 ホール	Haydn: Klaviertrio Hob.XVI-24 Beethoven: 7Variationen Woo.70 Brahms: Klaviertrio No.2 Op.87 共演/菊本恭子、Adrian Janke		
佐々由佳里室内楽シリーズVol.7 Spring Concert	共	2020.02.18	西宮市立甲東ホール	Haydn: Klaviertrio Hob.XVI-24 Beethoven: 7Variationen Woo.70 Brahms: Klaviertrio No.2 Op.87 共演/菊本恭子、Adrian Janke		
作曲・編曲・振付						
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
トリオ・フォンターナ2019夏	神戸女学院大学研究所 体育芸術助成			代	227,896	2019年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			

社会貢献活動				
学会役員				
就任期間		学会役員名		
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
公開レッスンでの指導				
コンクール等の審査				
カワイピアノコンクール審査	共	2019.04.21	クレオ大阪東	主催/カワイ音楽コンクール委員会
泉の森フレッシュコンサートオーディション審査	共	2019.05.25	エブノ泉の森ホール	主催/泉佐野市文化振興財団
堺市新人コンサート予選審査	共	2019.06.08	東文化会館	主催/堺市文化振興財団
堺市新人コンサート本選審査	共	2019.08.17	東文化会館	主催/堺市文化振興財団
摂津音楽祭(予選)審査	共	2019.09.13	摂津市民会館	主催/摂津市施設管理公社
摂津音楽祭(予選)審査	共	2019.09.14	摂津市民会館	主催/摂津市施設管理公社
摂津音楽祭(本選)審査	共	2019.11.17	摂津市民会館	主催/摂津市施設管理公社
日本ピアノ教育連盟ピアノオーディション部C門審査	共	2019.11.29	神戸女学院大学音楽館ホール	主催/日本ピアノ教育連盟
第10回日本パッサコンクール審査	共	2019.12.01	神戸産業振興センターハーバーホール	主催/日本パッサコンクール実行委員会
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
2019.04-2020.03		岸和田文化事業協会理事		
2019.04-2020.03		(公財)日本ピアノ教育連盟関西支部幹事		
その他社会活動上特記すべき事項				
佐々由佳里 ピアノアドヴァイスレッスン		2019.05.26	小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催:コウキ商事
佐々由佳里 ピアノアドヴァイスレッスン		2019.06.23	小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催:コウキ商事
佐々由佳里 ピアノアドヴァイスレッスン		2019.07.07	小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催:コウキ商事
佐々由佳里 ピアノアドヴァイスレッスン		2019.08.04	小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催:コウキ商事
佐々由佳里 ピアノアドヴァイスレッスン		2019.09.15	小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催:コウキ商事
佐々由佳里 ピアノアドヴァイスレッスン		2019.10.20	小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催:コウキ商事
佐々由佳里 ピアノアドヴァイスレッスン		2019.11.10	小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催:コウキ商事
佐々由佳里 ピアノアドヴァイスレッスン		2019.12.22	小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催:コウキ商事
佐々由佳里 ピアノアドヴァイスレッスン		2020.01.12	小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催:コウキ商事
佐々由佳里 ピアノアドヴァイスレッスン		2020.02.23	小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催:コウキ商事
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		
2019.05.16	オーストリア	インターネット会議システムを使って、モーツァルテウム音楽大学ブラッグ教授のピアノレッスンを実施(国内で作業)		
2019.06.27	オーストリア	インターネット会議システムを使って、モーツァルテウム音楽大学ブラッグ教授のピアノレッスンを実施(国内で作業)		
2019.11.20	オーストリア	インターネット会議システムを使って、モーツァルテウム音楽大学ブラッグ教授のピアノレッスンを実施(国内で作業)		
2020.01.22	オーストリア	インターネット会議システムを使って、モーツァルテウム音楽大学ブラッグ教授のピアノレッスンを実施(国内で作業)		
2019.08.22	オーストリア	認定留学受入れ教員、Imre Rohmann教授、Tuende Kurucz教と授面会		
2019.08.22	オーストリア	モーツァルテウム夏期国際アカデミー聴講		
2019.08.24	オーストリア	認定留学受入れ教員、Elisabeth Wilke教授、Rolf Plagge教授と面会		
2019.10.27-11.3	オーストリア	Kobe College & Mozarteum Friendship Week 2019 の開催。公開レッスン、マスタークラス、ワークショップ、Friendship Concert、学生交流コンサート、高校生のためのフルート特別公開レッスンを実施(国内で作業)		

氏名／所属／職名

島崎 徹 SHIMAZAKI Toru / 音楽学科 / 教授

学位						
専門分野						
舞踊						
研究課題						
振り付け, 演出						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
Current Issues in Japan, アナライズクラス(I), アナライズクラス(II), アナライズクラス(III), アナライズクラス(IV), 舞踊レパートリークラス(III), 舞踊レパートリークラス(IV), ソロサイタル(舞踊), 卒業公演						
担当授業科目(大学院)						
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要			
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
演奏会・発表会						
創美バレエスクール第28回発表会	単	2019.08.10	狭山市SAYAKAホール	主催/創美バレエスクール		
Taipei Dance Forum30周年記念公演 (Dance Force)	単	2019.09.28, 29	台中国立歌劇院	台中国立歌劇院		
(Dance Force)	単	2019.10.02, 03	台北MetropolitanHall	Dance Forum Taipei		
舞踊専攻第11回卒業公演	単	2019.12.12, 13,14	神戸女学院大学エミリー・ブ ラウン記念館スタジオA	神戸女学院大学音楽学部		
SKHOLE BALLET ART 7th	単	2019.12.28	京都ロームシアター	SKHOLE BALLET ART		
作曲・編曲・振付						
創美バレエスクール第28回発表会 振付	単	2019.08.10	狭山市SAYAKAホール	Autumen Song		
Dance Force 振付	単	2019.09.28, 29	台中国立歌劇院	South, Zero Body, In the blink of an eye		
Dance Force 振付	単	2019.10.02, 03	台北MetropolitanHall	South, Zero Body, In the blink of an eye		
舞踊専攻第11回卒業公演 演出・振付	単	2019.12.12, 13,14	神戸女学院大学エミリー・ブ ラウン記念館スタジオA	Painfully Good, TEN		
SKHOLE BALLET ART 7th PERFORMANCE 振付	単	2019.12.28	京都ロームシアター	アンデスに続く道		
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要				

社会貢献活動				
学会役員				
就任期間		学会役員名		
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
公開レッスンでの指導				
台湾台中国立劇場 ダンスワークショップ	単	2019.08.24	台中国立劇場	In the blink of an eye
熊本県立劇場 ダンスワークショップ	単	2019.12.07, 08	熊本県立劇場	クラスレッスン
京都ダンスワークショップドリームズカムトゥルー	単	2020.03.28-30	バレエスタジオ舞音	クラスレッスン
コンクール等の審査				
コンクール審査:第6回全国MIEバレエコンペティション	共	2019.04.06, 07	四日市市民会館	全国MIEバレエコンペティション実行委員会
コンクール審査:EUROPEAN BALLET GRAND PRIX	共	2020.02.05-07	Muth Theatre(Vienna)	European Ballet Grand Prix
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

氏名／所属／職名

田中 修二 TANAKA Shuji / 音楽学科 / 教授

学位				
芸術学士				
専門分野				
ピアノ				
研究課題				
ピアノ音楽と、その指導について				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
ピアノ重奏II, ピアノ重奏III, ピアノMajor(I), ピアノMajor(III), ピアノMajor(IV)				
担当授業科目(大学院)				
器楽実技I				
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
学会発表				
演奏会・発表会				
サロンコンサート	共	2019.04.28	芦屋モーツァルトサロン	主催/サロンコンサート協会。共演/高津小百合/チャイコフスキー:ピアノ協奏曲第1番、ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番
サロンコンサート	共	2019.05.11	阪神自立の家	主催/サロンコンサート協会。共演/高津小百合/チャイコフスキー:ピアノ協奏曲第1番、ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番
サロンコンサート	共	2019.08.07	新大阪B-Techジャパン	主催/サロンコンサート協会。共演/高津小百合/チャイコフスキー:ピアノ協奏曲第1番、ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番
田中修二ピアノ協奏曲のタベ	共	2019.09.04	兵庫県立芸術文化センター大ホール	主催/田中修二。共演/阪哲朗指揮大阪センチュリー交響楽団/チャイコフスキー:ピアノ協奏曲第1番、ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番
作曲・編曲・振付				
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
研究助成金の受給状況				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別
				支給額
				支給年度
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間	学会役員名			
～現在	全日本ピアノ教育連盟運営委員			

公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
新響課題曲講座	単	2019.04.24	新響楽器オーパスサロン	コンクールの課題曲についての講座
兵庫県学生ピアノコンクール課題曲講座	単	2019.05.30	神戸東亜ホール	コンクールの課題曲についての講座
兵庫県学生ピアノコンクール課題曲講座	単	2019.06.05	豊岡市岡楽器店	コンクールの課題曲についての講座
兵庫県学生ピアノコンクール課題曲講座	単	2019.06.10	加古川オクダ楽器	コンクールの課題曲についての講座
公開レッスンでの指導				
新響楽器公開レッスン	単	2019.06.08	新響楽器オーパスサロン	コンクール参加者に対する公開レッスン
コンクール等の審査				
ヤマハジュニアコンクール県大会審査	共	2019.04.07	栗東芸術文化会館	主催/ヤマハミュージックリテイリング
姫路パルナソスコンクール審査	共	2019.05.12	姫路文化会館	主催/姫路市文化振興財団
大阪国際コンクール審査	共	2019.07.20	神戸女学院大学ホール	主催/大阪国際コンクール
全日本学生音楽コンクール予選審査	共	2019.09.07 ,08,13,14, 15	大阪フェニックスホール	主催/毎日新聞社事業部
全日本学生音楽コンクール本選審査	共	2019.10.20	大阪フェニックスホール	主催/毎日新聞社事業部
ベートンコンクール審査	共	2019.11.17	神戸女学院大学講堂	主催/ベートン音楽コンクール
オクダ楽器ピアノフェスティバル審査	単	2019.11.23	加古川ウェルネスパーク	主催/オクダ楽器
寝屋川アルカスコンクール審査	共	2019.11.30	寝屋川アルカスホール	主催/アルカスホール
小坂楽器コンクール審査	共	2019.12.27	大東市立文化ホール	主催/小坂楽器
ベートンコンクール本選審査	共	2019.12.28	福山芸術文化ホール	主催/ベートン音楽コンクール
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

学位				
教育学士, 芸術学修士				
専門分野				
音楽学				
研究課題				
ピアニスト小倉末子(1891-1944)の再評価, 初期神戸女学院の音楽教育, 社会における音楽の役割				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
初期神戸女学院, 音楽史(I)(諸民族の音楽を含む), ミュージック・コミュニケーション講座, 音楽によるアウトリーチ(講義), 音楽によるアウトリーチ(実習)				
担当授業科目(大学院)				
副論文制作I, 副論文制作II				
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者		概要
西宮市立門戸幼稚園でのアウトリーチ実習	2019.06.12			
西宮市立用海幼稚園でのアウトリーチ実習	2019.10.30			
野木病院でのアウトリーチ実習	2019.11.02			
大阪市立総合医療センターでのアウトリーチ実習	2009.11.07			
西宮市立子育てセンター附属あおぞら幼稚園でのアウトリーチ実習	2019.11.14			
国立病院機構兵庫中央病院でのアウトリーチ実習	2019.11.21			
雲雀丘学園小学校でのアウトリーチ実習	2009.12.13			
国立病院機構刀根山病院でのアウトリーチ実習	2020.03.04			
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
『京城日報』に見るソプラノ歌手永井郁子(1893～1983)の朝鮮楽旅	単	2020.03.20	神戸女学院大学女性学インスティテュート『女性学評論』第34号	pp.43-62.
「読売新聞データベース『ヨミダス歴史館』に見るソプラノ歌手永井郁子(1893～1983)」	単	2019.06.20	神戸女学院大学研究所『神戸女学院大学論集』66巻1号	pp.45-59.
『台湾日日新報』に見るソプラノ歌手永井郁子(1893～1983)の台湾楽旅	単	2019.12.20	神戸女学院大学研究所『神戸女学院大学論集』66巻2号	pp.95-111.
学会発表				
“Movement for Singin in Japanese’ (1925-1941) of NAGAI Ikuko: Gender, Femininity, Colonialism and Imperialism”	単	2019.07.24	国際美学会第21回世界大会、セルビア、ベオグラード大学	
“Nagai Ikuko’s ‘Movement for Singing in Japanese’ (1925-1941) in Colonial Korea and Taiwan”	単	2019.10.19	国際音楽学会東アジア大会、中国、蘇州大学	
“The development of Japanese art song: NAGAI Ikuko’s “Movement for Singing in Japanese” (1925-1941) and her collaboration with MIYAGI Michio”	単	2019.12.06	オーストラリア音楽学会大会、オーストラリア、モナシユ大学	
演奏会・発表会				
「子どものための七夕コンサート」(子どものためのコンサート・シリーズ第53回)	共	2019.07.06	神戸女学院講堂	主催/音楽学部。企画、指導、運営。
第10回「楽器で遊ぼう！子どものための音楽作りワークショップ」	共	2019.09.21	神戸女学院大学音楽館ホール	主催/音楽学部。企画、運営。

「子どものためのクリスマス・コンサート」(子どものためのコンサート・シリーズ第54回)	共	2019.12.07	神戸女学院講堂	主催/音楽学部。企画、指導、運営。		
「子どものためのオルガン・コンサート」(子どものためのコンサート・シリーズ第55回)	共	2020.02.08	神戸女学院講堂	主催/音楽学部。企画、運営。		
作曲・編曲・振付						
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
「今年度の調査と1930-1931年のデフォレスト書簡に見る音楽教育」	共	2020.01.31	神戸女学院大学「宣教師文書」研究会『C. B. デフォレスト書簡の解説(V)(1930-1931)アメリカン・ボード宣教師文書より』	共著/中野敬一、白井由美子。pp.23-32.		
「第10回 音で遊ぼう! 子どものための音楽作りワークショップ」	単	2019.09.20	神戸女学院大学音楽学部アウトリーチセンター『アウトリーチ通信』第34号	p.10.		
「子どものためのクリスマス・コンサート」	単	2019.09.20	神戸女学院大学音楽学部アウトリーチセンター『アウトリーチ通信』第34号	p.10.		
「子どものためのオルガン・コンサート」	単	2019.09.20	神戸女学院大学音楽学部アウトリーチセンター『アウトリーチ通信』第34号	p.11.		
「子どものためのコンサート・シリーズ来場者3万人達成」	単	2019.09.20	神戸女学院大学音楽学部アウトリーチセンター『アウトリーチ通信』第34号	p.11.		
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
もう一つの日本近代音楽史～大正・昭和初期の女性音楽家の創造的演奏活動を再評価する	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)			代	800千円	2019年度
宣教師文書の解説と解明～1930年代前半のデフォレスト文書を中心に	神戸女学院大学研究所 総合研究助成			代	1,500千円 (総額)	2019年度
ヘンデルのオラトリオ《メサイア》の演奏史	神戸女学院大学研究所 研究助成			代	299千円 (総額)	2019年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項						
音楽ティーチングアーティスト養成コアカリキュラム開発のための音楽大学(学部)連携	年月	2019.4-2020.3	科学的研究費:挑戦的研究(開拓) 研究協力者			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
2019.04-2020.03		日本音楽学会機関誌編集委員				
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
公開レッスンでの指導						
コンクール等の審査						
学外機関委員等						
就任期間		機関名・委員名・役職名				
2019.04-2020.03		文化庁芸術選奨推薦委員				
2019.04-2020.03		文化庁芸術祭執行委員会審査委員				
2019.04-2020.03		文化庁文化芸術による子供育成総合事業企画委員				
その他社会活動上特記すべき事項						

海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要
2019.05.20-22	アメリカ	マンハッタン音楽院での音楽キャリア教育会議
2019.05.23	アメリカ	ニュー音楽院でのアウトリーチ担当者会議
2019.05.24	アメリカ	ハーヴァード大学ホートン・ライブラリーでの資料調査

学位				
Bmus Honours, ARCM				
専門分野				
Flute Performance and Music Analysis				
研究課題				
Flute Solo, Chamber Music and Orchestral repertoire				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
伴奏実習(I), 伴奏実習(III), 伴奏実習(IV), 管打合奏(I), 管打合奏(II), 管打合奏(III), 管打合奏(IV), ウインド・オーケストラ(I), ウインド・オーケストラ(II), ウインド・オーケストラ(III), ウインド・オーケストラ(IV), 室内楽(I), 室内楽(II), リサイタル(I), リサイタル(II), リサイタル(III), 管楽器Major(I), 管楽器Major(III), 管楽器Major(IV), 器楽Minor(フルート)(II), 器楽Minor(フルート)(III)				
担当授業科目(大学院)				
演奏芸術特論I, 演奏芸術特論II				
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
CD "Elemental" "Inspired works by Debussy, Takemitsu and Reinecke"	共	2020.02.12	Camerata Records Japan	Xavier Luck - Flute Masaru Okada - Piano 1. La Flute de Pan: J.Mouquet. 2. Syrinx for Solo Flute: C.Debussy. 3. l'apres midi d'un faune: C. Debussy. 4. Undine Sonata Op. 168: C.Reinecke 5. Dance and Ballade of the Sylphs: J.Andersen 6. Air for Solo Flute: T.Takemitsu 7. Che Faro Senza Euridice: Gluck arr. T.Boehm.
学術論文				
学会発表				
演奏会・発表会				
ライオンズクラブ45周年記念コンサート	共	2019.04.17	Osaka	音屋組
Australian Flute Festival Solo Recital	単	2019.07.06	Verbruggen Hall Sydney Conservatorium of Music, Sydney Australia.	Xavier Luck - Flute Alan Hicks - Piano. 1. Sonata in C BWV 1033: J.S Bach 2. Voice for Solo Flute: T.Takemitsu 3. Concertstueck Op.3: J.Andersen. 4. Grand Fantasy on themes from Mignon: P.Taffanel. 5. Andante Pastoral et Scherzettino: P.Taffanel 6. Image for Solo Flute: E.Bozza
Degu Flute Festival Xavier Luck Solo Recital	共		Degu Concert Hall. Deugu South Korea.	Xavier Luck - Flute - Piano. Sonata in G moll BWV 1020: J.S Bach 2. Voice for Solo Flute: T.Takemitsu. 3. Freyschutz Fantasy: P.Taffanel. Sonata for Flute and Piano Op.94: S. Prokofev
Five Seasons Wind Quintet Workshop Recital	共	2019.07.18	Crossroads Hall. ANA Crown Hotel Kobe.	Five Seasons Wind Quintet. 6 Bagatelles for Wind Quintet: G. Ligeti. Wind Quintet No.1: Paul Taffanel. 5 Antique Hungarian Dances for Wind Quintet: F. Farkas.
ウィーン国立歌劇場 演奏会	共	2019.09.26	ウィーン国立歌劇場	Orchester der Wiener Staatsoper. Salome: R. Strauss (2nd Flute)
ウィーン国立歌劇場 演奏会	共	2019.09.29	ウィーン国立歌劇場	Orchester der Wiener Staatsoper. La Boheme (2nd Flute)

ライオンズクラブ岸和田コンサート	共	2019.10.24	岸和田グランドホール	Xavier and Michiko Luck – Flute Tomoe Takebahana Piano. Nocturne and Allegro Scherzando: P. Gaubert. Czadas for Flute and Piano: Monti. Un Petite Suite arr. For 2 flutes and Piano: C. Debussy. Selection of Japanese traditional airs and melodies arr. For 2 Flutes and Piano.
Wiener Philharmoniker Concert	共	2019.11.09	三重県文化会館	Wiener Philharmoniker Orchester. A.O Estrada – Conductor. Piano Concerto No.3: S.Rachmaninov. Le sacre du printemps: I.Stravinsky
Outreach Concert for High School Students	共	2019.11.13	Suntory Hall, Tokyo Japan	Wiener Philharmoniker Orchester. A.O Estrada. Instrumental Demonstration & Le sacre du printemps: I.Stravinsky
Wiener Philharmoniker Concert	共	2019.11.13	Suntory Hall, Tokyo Japan	Wiener Philharmoniker Orchester. A.O Estrada – Conductor. Piano Concerto No.3: S.Rachmaninov. Le sacre du printemps: I.Stravinsky
Wiener Philharmoniker Concert	共	2019.11.15	Suntory Hall, Tokyo Japan	Wiener Philharmoniker Orchester. C.Thielemann – Conductor. Til euleinenspiegels & Der Rosenkavilier Suite: R. Strauss.
Munich Philharmonic Soloists Chamber Concert Tour in China	共	2019.11.18	China National Symphony Orchestra Recital Hall. Beijing, China	Members of the Munich Philharmonic. Xavier Luck Solo Flute. Petite Symphony: Charles Gounod. Chamber Symphony No.1: A.Schoenberg l'apres midi d'un faune arr. Schoenberg: C. Debussy.
Five Seasons Wind Quintet Workshop Recital	共	2019.12.12	Crossroads Hall. ANA Crown Hotel Kobe.	Five Seasons Wind Quintet. A selection of works from the composition and improvisation workshop. 6 Bagatelles for Wind Quintet: G. Ligeti. 5 Antique Hungarian Dances for Wind Quintet: F. Farkas.
大阪フィルハーモニー交響楽団第九コンサート	共	2019.12.22	神戸国際会館こくさいホール	Osaka Philharmonic Orchestra. Kazuyoshi Akiyama – Conductor. Symphony No.9 Op.125: L.Beethoven
アンサンブル神戸第20回特別演奏会	共	2020.01.25	神戸松方ホール	Ensemble Kobe – Tadahiro Yano Conductor. Styx for Viola mixed choir and Orchestra: G.Kancheli. Requiem with Libretto by Ayako Sono: Shigeaki Saegusa
大阪教育大学附属中学高等学校同窓会創立70周年コンサート	共	2020.02.02	リーガロイヤルホテル大阪	Xavier Luck, Michiko Luck, M.Kawamichi, Y.Ouchi: Flute Flute en Vacances for Flute Quartet: J. Casterade. Image for solo Flute: E.Bozza. Fantasy on the Sound of Music arr. for flute Quartet: R.Rogers. An die Liebe: E.Elgar and a selection of Japanese Melodies arranged for Flute Quartet. F.Kanda.
PIANO +木管五重奏	共	2020.02.16	兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール	Xavier Luck – Flute. K.Miyamura – Oboe. W.Inamoto – Clarinet. M.Kuwahara – Bassoon. K.Okada – Horn. R.Kawashima – Piano. L'heure du Berger: J.Francaix. Sextet for Wind quintet and Piano FP100 : F.Poulenc
Five Seasons Wind Quintet Workshop Recital	共	2020.02.20	Crossroads Hall. ANA Crown Hotel Kobe.	Five Seasons Wind Quintet. A selection of works from the composition and improvisation workshop. 6 Bagatelles for Wind Quintet: G. Ligeti. Wind Quintet No.1: Paul Taffanel. 5 Antique Hungarian Dances for Wind Quintet: F. Farkas.
Die Zauberstunde Open Rehearsal (Sound and Video workshop) and Performance.	共	2020.03.08	Haydn Saal – MDW Wien	Xavier Luck – Flute Daniel Linton France – Piano. Du Bist die Ruh for Flute and Piano. In eine Zauberstunde Fantasy for Flute and Piano: Daniel Linton – France. Demons for solo Flute: B. Dean.

作曲・編曲・振付						
その他の研究発表、演奏						
Joint Masterclass and mini Concert with Hansgeorg Schmeiser	共	2019.04.16	神戸女学院大学音楽ホール	Selection of Orchestral Excerpts and Sonata in G TWV 40:101 for 2 Flutes		
Mozarteum Friendship Week Concert. Paolo Taballione & Xavier Luck - Flute. Masaru Okada - Piano.	共	2019.11.01	神戸女学院大学講堂	Andante et Rondo Op.25, Paraphrase "La Sonnambula" Op.42 for 2 Flutes and Piano: F. Doppler		
Joint Masterclass with Sally Walker	共	2020.01.08	神戸女学院大学音楽ホール	Breathing workshop, Analysis workshop of Ballade:Frank Martin. Concerto for Flute and Orchestra: J.Ibert. Suite Modal: E.Bloch etc.		
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要				
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
公開レッスンでの指導						
コンクール等の審査						
第45回フルート新人演奏会	共	2019.05.02	兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール	日本フルート協会関西部会		
関西8大オーケストラフェスティバルオーデション	共	2019.05.19	大阪音楽大学	関西音楽大学協会		
第73全日本学生音コン 大阪大会予選	共	2019.09.21-22	ザ・フェニックスホール 大阪	毎日新聞社		
第73全日本学生音コン 大阪大会本選	共	2019.10.21	ザ・フェニックスホール 大阪	毎日新聞社		
第5回堺管打楽器コンクール【本選】	共	2019.12.01	堺市立西文化会館ウェスティホール	堺管打楽器コンクール実行委員会 後援:堺市		
第4回ドルチェ楽器のアンサンブルコンクール	共	2020.03.29	ドルチェアーティストサロン	ドルチェ楽器		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名					
その他社会活動上特記すべき事項						
海外での活動						
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること						
期間	国名	概要				
2020.03.07-14	Austria	Research into Taffanel and his Influence on Chamber Music at the end of the 19th Century. MDW				

学位			
学士(教育学), M.Mus. P.G.Dop., 修士(音楽)			
専門分野			
指揮, 音楽教育			
研究課題			
オーケストラ作品の演奏表現の追求, オペラ及び合唱作品の音楽表現の追求, オーケストラの指導法研究, 教員養成における実践的指導力育成に向けた授業開発, コミュニケーションの活性化による音楽の授業づくり			
教育活動			
担当授業科目(大学)			
音楽科教育法I, 音楽科教育法II, 音楽科教育法III, 音楽科教育法IV, 教職実践演習(中・高), 教育実習I, 音楽を考える, オーケストラ(I), オーケストラ(II), オーケストラ(III), オーケストラ(IV), ウインド・オーケストラ(I), ウインド・オーケストラ(II), ウインド・オーケストラ(III), ウインド・オーケストラ(IV), 指揮法, 合唱(III), 合唱(IV), スコアリーディング			
担当授業科目(大学院)			
演奏芸術特論I, 演奏芸術特論II, オーケストラ特別実習I			
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要
教職課程オリエンテーション	2019年度	音楽学科教職課程履修学生	教職課程オリエンテーションの学科別ガイダンスで、教職課程履修上の注意点、教員採用試験の動向と実状、について等を指導した。
音楽科教育法I(教育方法の工夫)	2019.04-2019.07	音楽学科3年生教職課程履修学生	レジュメに対応したPowerPoint資料を作成。映像資料、要点化された図表の視覚認識により、理解の定着を図った。獲得した知識を活用した演習、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等を導入し、学習者の主体的、対話的な深い学びの獲得に向け、教育方法の工夫を行った。
音楽科教育法I(琴を用いた実習)	2019.05	音楽学科3年生教職課程履修学生	琴を用いた器楽実習を行い、楽器の扱い方、読譜、奏法についての指導を行った。テキストや映像資料の視聴では得られない技能習得を獲得した。
音楽科教育法II・IV(個々の学生へのケア)	2019.09-2020.01	音楽学科3年生教職課程履修学生	次年度教育実習に向け、学生1人あたり2回の模擬授業を実施した。事前指導として、教材研究、授業計画立案、学習指導案作成の指導を個別に実施。事後指導で授業の振り返りを個別に実施。個々の学生の実態と課題に寄り添った指導を行った。
指揮法(個々の学生へのケア)	2019.04-2019.07 2019.09-2020.01	音楽学科3年次学生のうち受講学生	10名程度の履修学生による集団授業において、1人8分程度の持ち時間内で、順次、単独指揮を行う形態を取り入れた。個々の学生が各々持つ表現欲求を尊重し、技能課題も個々に寄り添った指導を行った。
OG教員による特別講義	2019.12.10 2019.12.17	音楽学科4年生教職課程履修学生	教職実践演習の授業内でOGの現職教諭をお招きし、教育現場の実態についての特別講義を実施した。
教員採用試験の受験指導	2019.04-2019.08	音楽学科4年生学生のうち教員採用試験受験志望学生	教員採用試験を受験する学生に対し、準備指導、専門教養、面接、小論文、実技テスト、模擬授業についての指導を個別に行った。
教職志望学生への支援	2019.04-2019.12	音楽学科4年生学生のうち教職志望学生4名	教職志望学生に対して、講師登録の方法、私学求人情報の集め方、専門教養、面接、小論文、模擬授業について等を個別に指導した。 2019年度教職志望学生4名中就職4名(公立中学校教諭1名、公立小学校教諭1名、私立小学校校常勤講師1名、公立中学校非常勤講師1名)。

研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
演奏会・発表会						
ベガにオーケストラがやってきた!Vol.9	共	2019.06.25	宝塚ベガ・ホール	主催/神戸女学院大学音楽学部。曲目/ムソルグスキー(ラヴェル編)組曲「展覧会の絵」他。		
山陰フィル・ジュニアオーケストラ 第32回定期演奏会	共	2019.08.16	松江市総合文化センタープラバホール	主催/山陰フィル・ジュニアオーケストラ。曲目/チャイコフスキー「幻想序曲ロメオとジュリエット」、シューベルト「交響曲第7番」、バルトーク「ルーマニア民族舞曲」他。		
神戸女学院大学音楽学部定期演奏会	共	2019.11.26	兵庫県立芸術文化センターKOBELCO大ホール	主催/神戸女学院大学音楽学部。曲目/プロコフィエフ「ピアノ協奏曲第3番」、レスピーギ「交響詩ローマの松」。		
作曲・編曲・振付						
その他の研究発表、演奏						
神戸女学院クリスマス礼拝	共	2019.12.20	神戸女学院講堂	曲名/賛美歌「きよこの夜」「もとびとこぞりて」、ラター「ともしびのキャロル」、デイビス「世界中でいちばん素敵なお誕生日」、他。		
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要				
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
公開レッスンでの指導						
6月オープンキャンパス音楽学科模擬授業～ウインドオーケストラ～	共	2019.06.16	神戸女学院大学音楽館ホール	中高生を対象とした吹奏楽指導。		
12月オープンキャンパス音楽学科模擬授業～ウインドオーケストラ～	共	2019.12.15	神戸女学院大学音楽館ホール	中高生を対象とした吹奏楽指導。		
コンクール等の審査						
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名					
その他社会活動上特記すべき事項						
2020.2.27-現在 スミリンケアライフ(株)との産学連携協定に基づく高齢者入居施設に於ける音楽プログラムのコーディネーター。						

海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要

学位				
Konzert Diplom				
専門分野				
ピアノ				
研究課題				
ピアノ実技と演奏法				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
ピアノMajor(II),ピアノMajor(III),ピアノMajor(IV),ピアノMinor(I),ピアノMinor(III),ピアノSecond Major(I),ピアノSecond Major(II) ピアノ重奏I				
担当授業科目(大学院)				
器楽実技I,室内楽特別実習I				
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要	
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
学会発表				
演奏会・発表会				
東京・春・音楽祭 ミュージウムコンサート	共	2019.04.11	東京都美術館講堂	主催/東京・春・音楽祭実行委員会。曲名/ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第32番、リスト/ワーグナー:イゾルデの愛の死、シューベルト:死と乙女、セレナーデ
川村記念美術館 岡田将ピアノ・リサイタル	単	2019.05.25	川村記念美術館	主催/川村記念美術館。曲名/ヤナーチェク:霧の中で 他。
カノラホール開館30周年記念 カノラウィークエンド・コンサート 正戸里佳&岡田将 デュオ・リサイタル	共	2019.05.26	カノラホール	主催/(公財)おかや文化振興業団。曲名/ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ第9番、ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ第2番 他。
岡田将&正戸里佳 ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会第2回	共	2019.06.09	下関市生涯学習プラザ	主催/メロディー音楽企画。曲名/ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ第2番、第8番、第9番
ルイス・クラレット&岡田将 The Duo ~チェロとピアノの対話~	共	2019.06.15	JTアートホールアフィニス	主催/スピカ。曲名/ストラヴィンスキー:イタリア組曲、ベートーヴェン:チェロソナタ第4番、シューマン:幻想曲集、ブラームス:チェロ・ソナタ第2番
岡田将ラジオ公開収録コンサート	単	2019.06.30	奈良市西部会館市民ホール	主催/日本環境マネジメント株式会社。曲名/ドビュッシー:オンディーヌ、ラヴェル:夜のガスパール 他。
西田真由子ソプラノリサイタル	共	2019.07.18	兵庫県立芸術文化センター	主催/music-mn企画。曲名/ヘンデル:主よ、汝に感謝す、リスト:喜びに満ち、悲しみに満ち、山田耕作:二十三夜 他。
観月台クラシック・フェスティバル第1回 岡田将ピアノ・リサイタル	単	2019.09.01	観月台文化センター	主催/国見町。曲名/ベートーヴェン:悲愴、熱情、ラヴェル:水の精、ドビュッシー:オンディーヌ、沈める寺、リスト:ヴェネツィアとナポリ 他。
正戸里佳&岡田将デュオ・リサイタル	共	2019.09.22	真岡市民会館大ホール	主催/クラシックもおか。ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ第2番、リスト:愛の夢第3番、ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ第10番 他。

元町でショパンと出逢う昼下がりに	単	2019.09.28	兵庫県公館	主催/神戸ミュージックウィーク実行委員会。曲名/ショパン:英雄ポロネーズ、バラード第1番、ピアノ・ソナタ第3番 他。		
スイーツタイムコンサート 正戸里佳ヴァオリンコンサート	共	2019.10.08	宗次ホール	主催/宗次ホール。曲名/ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ第10番、シューマン:幻想小曲集、ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ第1番 他。		
園田高広メモリアルコンサート	共	2019.10.13	東京文化会館小ホール	主催/スピカ。曲名/ブラームス:4つの小品作品119よりRhapsodie		
観月 台クラシック・フェスティバル第6回 正戸里佳&岡田将デュオ・リサイタル	共	2019.10.20	観月台文化センター	曲名/ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ第9番、ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ第2番 他。		
正戸里佳ヴァイオリン・リサイタル	共	2019.10.13	東京文化会館	主催/コンサートイマジ。曲名/ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ第9番、第10番、ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ第2番		
新日本フィル 伊豆公演	共	2019.11.17	長岡総合会館	主催/新日本フィルハーモニー交響楽団。曲名/ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番		
豊田市美術館 ミュージアムコンサート	単	2019.11.23	豊田市美術館講堂	主催/(公財)高橋記念美術文化振興財団。曲名/ベートーヴェン「月光」、ショパン:ワルツ第1番、英雄ポロネーズ、リスト:ラ・カンパネラ、愛の夢 他		
プロスト交響楽団 定期演奏会	共	2019.11.30	すみだトリフォニーホール	主催/プロスト交響楽団。曲名/ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第3番。		
馬原裕子×岡田将ジョイントリサイタル	共	2019.12.06	MUSICASA	主催/光山文化財団。曲名/小林秀雄:落葉松、多忠亮:宵待草、平井康三郎:うめぼれ鏡 他。		
岡田将ピアノ・リサイタル	単	2019.12.17	兵庫県立芸術文化センター	主催/大阪新音。曲名/ブラームス:ピアノ・ソナタ第3番 他。		
広島交響楽団 アスティふれあいコンサート	共	2019.12.20	広島国際会議場フェニックスホール	主催/広島交響楽団。曲名/ガーシュウィン:ラプソディ・イン・ブルー 他。		
岡田将&正戸里佳 ベートーヴェン:ヴァオリン・ソナタ全曲演奏会第3回	共	2020.02.16	下関市生涯学習プラザ	主催/メロディー音楽企画。曲名/ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ第3番、第4番、第6番、第10番		
作曲・編曲・振付						
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル		助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
公開講座						
講座名、講演タイトル		単共の別	年月	場所	概要	

公開レッスンでの指導		
コンクール等の審査		
学外機関委員等		
就任期間	機関名・委員名・役職名	
その他社会活動上特記すべき事項		
海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要

学位					
芸術学士					
専門分野					
ヴァイオリン					
研究課題					
からだと楽器の一体化について, アンサンブルの極意, CD録音					
教育活動					
担当授業科目(大学)					
伴奏実習(I), 伴奏実習(II), 弦楽器Major(I), 弦楽器Major(III), 弦楽合奏(I), 弦楽合奏(III), 弦楽合奏(IV), 室内楽(I), 室内楽(II)					
担当授業科目(大学院)					
室内楽特別実習I					
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要	
研究活動					
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	
著書・CD					
CD「Adration」	共	2019.09.30	otaken records	共著/藤井由美 Adoration他	
学術論文					
学会発表					
演奏会・発表会					
作曲・編曲・振付					
その他の研究発表、演奏					
その他の著作、訳書等					
研究助成金の受給状況					
研究タイトル		助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要		
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間		学会役員名			
公開講座					
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要	
公開レッスンでの指導					
コンクール等の審査					
学外機関委員等					
就任期間		機関名・委員名・役職名			
その他社会活動上特記すべき事項					

海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要

学位						
教育学士, 教育学修士, 博士(教育学)						
専門分野						
臨床心理学						
研究課題						
間主観性の観点から見た乳幼児期の自己形成, 乳幼児期の発達の知見の心理療床場面への応用による面接過程の研究, 発達臨床の視座から見た, 環境への想像的認知と関わり						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
臨床心理学と人間, 臨床心理学概論, 臨床心理学, 臨床心理学と人間, 発達臨床心理学, 演習IA, 演習IIA, 演習IB, 演習IIB, 卒業研究A, 卒業研究B						
担当授業科目(大学院)						
臨床心理実習I(心理実践実習I), 臨床心理学特別研究I, 臨床心理実習II, 臨床心理地域実践実習II(心理実践実習IV), 臨床心理学特論, 臨床心理査定演習I(心理的アセスメントに関する理論と実践), 臨床心理査定演習II						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
「臨床心理士指定大学院附属心理相談室における精神分析設定でのケース実践について⑤～枠や居場所の意義を改めて考える～」	共	2019.07.04	第8回日本精神分析的心理療法フォーラム	指定討論者		
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要				
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
心理相談室ウィーク講演会「関係を良くするための心の持ちよう」	単	2019.07.31	神戸女学院大学	講演とワークショップ		
奈良県立平城高校講演会「高校生の発達障害とその対応のポイント」	単	2019.08.26	奈良県立平城高校	教員向け講習会		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名					
その他社会活動上特記すべき事項						
2019.04-2020.03 尼崎市の私立幼稚園にて月1回の訪問カウンセリング(キンダーカウンセラーとして)						

海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要

学位					
学士(地域文化), 修士(人間科学), 博士(人間科学)					
専門分野					
社会心理学					
研究課題					
潜在的・顕在的な自己観・健康行動に対する態度と健康行動との関係性に関する研究, 自己呈示尺度の作成, 潜在的・顕在的な自尊心と社会的適応の関係					
教育活動					
担当授業科目(大学)					
心理行動科学実験実習, 心理学入門ゼミ, 心理学実験, 社会心理学, 社会・集団・家族心理学, 演習IA, 演習IB, 演習IIA, 演習IIB, 卒業研究A, 卒業研究B					
担当授業科目(大学院)					
人間行動学演習I, 人間行動学特別研究I					
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要	
研究活動					
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	
著書・CD					
学術論文					
「顕在的自尊心と潜在的自尊心」	単	2019.10	心理学ワールド第87号	小特集・自尊心。pp.21-22.	
学会発表					
“Positive illusion of Japanese university students in 2017-2018.”	単	2019.07.11-13	Asian Association of Social Psychology 第13回大会, Academia Sinica, Taipei		
“Experimental study of confrontational discussions in collectivistic cultures: Comparison between Japanese and Chinese people”	共	2019.07.11-13	Asian Association of Social Psychology 第13回大会, Academia Sinica, Taipei	共同発表/Masanori Kimura, Xinhua Mao, Jinsheng Hu, Chihiro Kobayashi	
母親の就労状況と娘の潜在的ジェンダー職業ステレオタイプ、キャリア選択の理想度	単	2019.11.09-10	日本社会心理学会第60回大会、立正大学		
その他の研究発表、演奏					
その他の著作、訳書等					
研究助成金の受給状況					
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額	支給年度
日本人と中国人の異文化コミュニケーションに関する実験社会心理学的研究	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)		分	250千円	2019年度
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要		
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間		学会役員名			
2019.04-2020.03		日本社会心理学会理事(編集委員)			
公開講座					
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要	
心理学とは・大切な人・ものを失った人への心理と援助	単	2019.06.12	神戸婦人大学	内容/心理学について・悲哀の心理について、主催/神戸婦人大学	
高校生のための心理学講座・5限「社会心理学」	単	2019.11.23	大阪大学	内容/社会心理学とは、主催/日本心理学会	

学外機関委員等		
就任期間		機関名・委員名・役職名
その他社会活動上特記すべき事項		
海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要

学位			
文学士, 教育学士, 教育学修士			
専門分野			
臨床心理学, 家族臨床心理学, グループワーク, 音楽療法, マインドフルネス, トラウマケア			
研究課題			
調整的音楽療法の効果についての研究, 親子相互交流療法(PCIT)など子育て支援についての研究, トラウマケア(EMDRやイメージ療法)についての実践的研究, マインドフルネスに関する研究			
教育活動			
担当授業科目(大学)			
クローバーゼミ, 心理学入門ゼミ, 教育心理学, 臨床心理学概論, 臨床心理学, 家族臨床心理学, 臨床心理学実習III(臨床中級実習)(講義を含む), 演習IA, 演習IB, 演習IIA, 演習IIB, 卒業研究A, 卒業研究B			
担当授業科目(大学院)			
心理実践実習II, 臨床心理地域実践実習(心の健康教育に関する理論と実践), 心理療法特論, 臨床心理学特別研究I, 臨床心理学特別研究II, 臨床心理査定演習I(心理的アセスメントに関する理論と実践), 臨床心理査定演習II, 人間科学合同演習I, 人間科学合同演習II, 人間科学合同演習			
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要
大学院事例検討合宿みつば会の開催と指導	2019.07.20	大学院生および院修了生	大学院生と修了生を交えた事例検討会での指導(開催準備, 運営についての実務指導も含む)
学部4年生「臨床心理学実習III」での家庭裁判所見学の調整, 事前・事後指導と引率	2019.08.07	大学4年生	大学院を目指す学生が多く履修する, よりアドバンストな臨床実習である, 学部4年生配当の「臨床心理実習III」において, 授業外の時間に神戸家庭裁判所尼崎支部への見学実習を行い, 引率と事前・事後指導を行った。当日は, 実際の裁判室, 児童室などの見学与家裁調査官による講義を受け, 司法領域での臨床心理士・公認心理師の仕事について参加学生たちは具体的なイメージをつかむことができた。
大学院「心理相談室ウィーク」の運営と実施	2019.07.29-08.02	大学院生, 地域	大学院心理相談室による無料相談と講演会および院生への指導
親子相互交流療法の事例実践陪席を通じた臨床技術向上のための指導	2019.04-現在	大学院生, 研修生, 研究生	PCIT実践現場における事例担当, および, 院生への実地教育, 親子観察システムのトレーニング, 事後カンファレンスの実施
親子相互交流療法(PCIT)実践資格取得のためのワークショップを組み入れた大学院授業「心理療法特論」の実施。(日本の大学で初めての授業化)	2019.04-現在	大学院生, 研修生, 研究生	PCIT実践資格取得のためのPCIT-International に準拠したイニシャルワークショップを組み入れた授業を実施した。PCITを実践できる修了生が6名養成した。これは日本の大学で初めての先駆的試みである。
家庭裁判所調査官を招聘しての特別授業	2019.11.14	学部学生	筆者の担当する「家族臨床心理学」において現職の家庭裁判所調査官を招聘し, 家裁調査官の職務内容について講演いただくことを通じて, 家族臨床心理学の現場について具体的に理解できるよう工夫した。受講生の中に, 家庭裁判所調査官を志望する学生が出るなど, 良い影響を学生に与えることができた。
大阪府福祉(心理)職就職説明会の開催	2019.05.22	公務員職に関心のある学部生(心理・総合文化学科)	大阪府岸和田子どもセンター育成支援課職員に来校頂き, 府の就職説明会を開催するコーディネートを行った。この内容は大学ホームページにも報告された。
臨床心理学の諸学会(日本心理臨床学会)「日本心理学会」「PCIT-Japan CARE-Japan 合同研究会」などの院生, 研究生の引率	2019.06 2019.09 2019.12.01	大学院生 研修生, 研究生	日本心理臨床学会, 日本心理学会チュートリアルワークショップ, PCIT-Japan&Care-Japan 合同研究会に院生, 研修生, 研究生を引率, 指導した。
心理臨床学会発表のための添削指導	2020	大学院生, 研修生	心理臨床学会の院生, 研修生の発表エントリーにあたり, 発表抄録の添削指導を行った

親子相互交流療法(PCIT)認定セラピストの育成	2019.05	研究生	筆者のライブスーパービジョンにより、本学修士生(研究生)で初めてのPCIT-International認定セラピスト(国際資格者)が誕生した(近畿で3人目の認定セラピスト)。	
國吉ゼミ3年、4年生を対象とした大学院生による臨床心理学的グループワークのファシリテーター実践	2019.05.15 2019.10.30	大学院生、学部ゼミ生	筆者のゼミでは毎年、前、後期1回ずつ院生がファシリテーターを務めて、学部3年4年ゼミ生対象に心理学的グループワークを行うことが恒例となっている。学部生と院生が学年を超えて互いに自己洞察の機会を持ち、親睦を深め、情報交換する良い人間関係の地盤が形成される。さらに院生は筆者の長年のグループワークのノウハウを吸収する機会となり、将来臨床心理士・公認心理師として求められる地域支援や心理教育のためのスキルを体験的に学ぶことができる。グループワークは本ゼミにおける一大イベントであり、楽しみにしている学生が多い。(学部生で4回、院生で8回多彩なグループワークを体験的に学ぶことができるよう構造化している。)	
國吉ゼミ3年生を対象に実施される4年生による卒業研究進捗発表会と院生が加わったディスカッション	2019.07 (計4回)	学部ゼミ生、大学院生	筆者のゼミでは、前期中に3年ゼミ生を対象に(合同で)4年生が卒業研究進捗発表を行う。(3年ゼミとは別の時間に実施。)さらに院生が指導的な立場に加わり、4年生の研究へのコメントを行う。この質疑応答を通じて、4年生は自らの研究へのより深い議論とメタ認知を得て、研究を改善できる。3年生は1年後の具体的な目標イメージを持つことができる。院生にはコメント力や研究の着眼点をブラッシュアップできる。このような工夫をすることで、学年を超えて協働する学びの機会を創出している。	
カウンセリングルーム(学生相談室)の事例検討会(グループスーパービジョン)におけるスーパーバイズ	2019.09.05 2020.03.03	カウンセリングルーム相談員・コーディネーター・教職員相談室相談員	本学カウンセリングルームの事例検討のためのグループスーパービジョンをおこなった。	
2018年度カウンセリングルーム春の特別講義での司会	2019.06.14	本学教職員。学生。一般	カウンセリングルーム主催の春の特別講義「生きづらい時代と自己肯定感」(講師:立命館大学名誉教授 高垣忠一郎氏)において司会を務めた	
大学院「臨床心理実践実習」の報告会における指導	2020.02.05	大学院生	大学院生の「臨床心理学実践実習」報告会を授業外に実施し、報告内容についてディスカッションを行い、適宜コメントした。	
地域創りリーダー養成プログラム「地域活性化総合演習」報告会への出席とコメント	2019.07.11 2019.11.14 2020.01.23	学部生、地域	地域創りリーダー養成プログラム「地域活性化総合演習」での活動報告にすべて出席し、学生グループの活動に対するコメントを行った。	
大学院生対象の人間科学部研究倫理についての資料の整備と審査手続の策定	2019	大学院生	大学院人間科学合同演習での院生対象の研究倫理教育のための配布資料整備を倫理委員と協力して行った。	
人間科学部学部生対象の公認心理師外部実習先の開拓と実習先訪問(事前調整)	2019.12.09	学部生	2021年度から開始される、本学部公認心理師資格のための外部実習先として、神戸アドベンチスト病院と神戸真生塾の開拓を行い、神戸アドベンチスト病院を訪問し、指導責任者と実習のための事前打ち合わせを行った。	
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				

学術論文				
「調整的音楽療法(RMT)10回法の効果についての検討—STAI、POMS、半構造化面接の結果から—」	単	2019.12	神戸女学院大学『論集』第66号第2巻	Schwabe(1979)により開発された調整的音楽療法(RMT)の短縮版として筆者が開発した「RMT10回法」の手順の詳説と、不安、気分測定尺度における効果を検討した。さらにRMT10回法体験後に半構造化面接も実施した。その結果、いずれも10回法で原法と同じ効果がみられることがわかった。pp.17-32。
母なるものの本質的機能—親子相互交流療法(PCIT)によるジェンダーフリーな子育て—	単	2020.03	神戸女学院大学『女性学評論』第34号	先行研究をもとに、父性と母性が与える親の性別に限定されないことを紹介し、さらに脳科学の知見をもとに、子どもの共感性や自己制御能力の育成に有用なPCITのスキルについて、ジェンダーの視点から考察を試みた。親の性別を問わず子どもへの母性的態度と父性的態度を学べるPCITを利用することで養育者のジェンダーに関わらず、母性・父性のバランスがとれた子育てが可能になることを論じた。pp.1-20。
学会発表				
日本心理臨床学会第38回大会口頭発表「医療におけるタッピングタッチと心のケア」における座長	共	2019.06.07	日本心理臨床学会第38回大会、パシフィコ横浜	共同発表/中川一郎、中西健二、富森崇、國吉知子(座長)、川岸恵子(指定討論)
学会主催チュートリアルワークショップ「PCITによる支援の実際～PCITのケースマネジメント～」の講師	共	2019.09.12	日本心理学会第83回大会、立命館大学	共同発表/國吉知子(メイン講師)、神田有里子(アシスタント講師)
PCIT-Japan&CARE-Japan合同研究会プレコンgres CARE™専門家向けワークショップ講師	共	2019.11.30	PCIT-Japan&CARE-Japan合同研究会2019、京都テルサ	共同発表/國吉知子、福丸由佳、西順子
PCIT-Japan&CARE-Japan 合同研究会2019シンポジウム「PCIT関西研究会の研究と実践」座長(指定討論者)	共	2019.12.01	PCIT-Japan&CARE-Japan合同研究会2019、京都教育大学	共同発表/佐藤美幸、古川心、長江美代子、西順子、國吉知子
第19回日本音楽療法学会学術大会「慢性疼痛集学的リハビリテーションにおける調整的音楽療法の取り組み」	共	2019.09.21	第19回日本音楽療法学会学術大会、大阪国際会議場	共同発表/那須貴之、大東まどか、國吉知子
日本カウンセリング学会全国研修会「遊戯療法と親面接～親面接に有効なPCITの視点～」講師	単	2019.11.17	日本カウンセリング学会静岡県支部、もくせい会館	日本カウンセリング学会員対象に遊戯療法と親面接について講演を行った。(認定カウンセラー資格更新のための研修会)
日本遊戯療法学会 第25回大会 口頭発表「両親への暴言・暴力が強い男児との遊戯療法過程」における座長	共	2019.05.19	日本遊戯療法学会第25回大会、学習院大学	発表者/山口橘花、西村喜文、伊藤良子(指定討論)、國吉知子(司会)
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
「巻頭言」	単	2020.03.30	神戸女学院大学『カウンセリングルーム紀要』第25号	p.1
「スタッフ紹介」	単	2020.03.30	神戸女学院大学大学院『心理相談室紀要』第21号	p.195
「巻頭言」	単	2020.03.30	神戸女学院大学大学院研究誌『ヒューマンサイエンス』	p.1
「PCITセラピスト養成授業を開始!」	単	2020.03.30	2019年度神戸女学院『事業報告書』	p.11
『EMDR標準プロトコル実践ガイドブック 臨床家、スーパーバイザー、コンサルタントのために』	共	2019.06.01	誠信書房	EMDRのトップセラピストであり、Andrew M. Leeds(2016)によるEMDRの理論と実践の包括的ガイドブック“A Guide to the Standard EMDR Therapy Protocols.”を翻訳した。共訳/太田茂行、市井雅哉、國吉知子他16名。担当章:第12章「EMDRによるPTSD治療事例の実際」pp.206-225。

『しんじゅがいとチョウチョのおはなし』	共	2020.03	EMDR-Japan HPおよび Ana M. GomezのHPに(各国語訳とともに)掲載	EMDRセラピスト Ana M. Gomez (2020)による子ども向けのコロナウイルス対策についての絵本“The Story of The Oyster and The Butterfly:The Corona Virus and Me.”の翻訳をいち早く行い、HP上に公開した。共訳/國吉知子、白川美也子、矢吹幸江、興梠真紀、酒井佐枝子。pp.1-20。
---------------------	---	---------	---	--

研究助成金の受給状況

研究タイトル	助成金タイトル、支給元	代分の別	支給額	支給年度
PCIT(親子相互交流療法)のスキル習熟とマインドフルネス特性を含むパーソナリティ指標との関連性について	人間科学部教育・研究助成	代	370千円(総額)	2019年度

産官学連携の受給状況

--	--	--	--	--

その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要
PCIT-Japan&「CARE-Japan合同研究会in 京都 2019とプレングレスの企画、大会運営(PCIT関西準備委員代表)	2019.11.30-12.01	2019.11.30-12.1の2日間にわたる標記研究会を京都で開催するにあたり、PCIT関西研究会代表として、大会の受入、大会全体の企画、運営、進行、プレングレスの講師などの中心的役割を果たし、大会の成功に貢献した。
PCIT関西研究会 第2回の企画・運営	2019.10.20	PCITの関西地域の実践者の研究会を京都教育大学にて行った。米国PCIT研究会(2019.8 於:シカゴ)報告、関西各地でのPCIT実践報告などPCIT専門家の研鑽のための研究会を企画、運営した。
PCIT事例のグループスーパービジョン	2020.02.26 2020.03.18 2020.03.25	関西学院大学心理科学実践センターにおけるPCIT事例のスーパービジョンを行った。(PCIT-International認定資格取得のためのスーパービジョン)
PCITイニシャルワークショップ トレーナー	2019.05.17-19 2019.05.25-16 (計5日間)	日本PCIT研修センターにおけるPCITイニシャルワークショップの講師を務めた。(創始者EybergとマスタートレーナーBrestan-Knightの陪席のもと、マスタートレーナー加茂登志子らとともにPCIT実践のための基礎ワークショップの講師を務め、11名の修了者を養成した。)

社会貢献活動

学会役員

就任期間	学会役員名
2011.05-現在	日本EMDR学会常任編集委員
2017.05-現在	日本心理臨床学会社員(代議員)
2019.04-現在	日本遊戯療法学会監事

公開講座

講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
CIFカウンセリンググループ例会(4月)	単	2019.04.13	高槻市城内公民館	内容/自分のこころと身体をみつめる。主催/CIFカウンセリング研究会。
女性学インスティテュート連続講座「母なるものの役割」第4講	単	2019.05.28	神戸女学院大学	内容/現代家族の中の母。主催/神戸女学院大学女性学インスティテュート。
尼崎市カウンセリング概論講座(1)	単	2019.07.08	尼崎市立福祉厚生センター	内容/音楽療法とこころの癒し(受動的音楽療法と声を使った音楽療法)。主催/尼崎カウンセリング協会。
尼崎市カウンセリング概論講座(2)	単	2019.08.03	尼崎市立福祉厚生センター	内容/音楽療法とこころの癒し(能動的音楽療法と楽器を使ったドラマセラピー)。主催/尼崎カウンセリング協会。
CAREワークショップ	単	2019.09.07	クロスパル高槻(総合市民交流センター)	内容/CARE(子どもとおとなの絆を深めるプログラム)親向けワークショップ。主催/自閉症の人のバリアフリーを考える親の会「はぐくみ」。
第51回労働リーダーシップコース	単	2019.10.20	日本クリスチャンアカデミー関西セミナーハウス	内容/職場のメンタルヘルス。主催/全日本金属産業労働組合協議会。
近畿児童心理治療施設協議会 令和元年度テーマ別研修会	単	2020.01.20	弘済みらい園	内容/統合環境療法の理論と実際～ARC理論の視点から日々の仕事を振り返る～。主催/近畿児童心理治療施設協議会・弘済みらい園のぞみ園。
西宮市子育て支援担当者 事例検討会(1)	単	2020.01.31	西宮市子育て総合センター	内容/遊戯療法事例のコメントと解釈。主催/西宮市子育て総合センター。

CIFカウンセリンググループ例会(2月)	単	2020.02.04	富田林コミュニティセンター	内容/自分を調整する。主催/CIFカウンセリング研究会。
西宮市子育て支援担当者 事例検討会(2)	単	2020.02.07	西宮市子育て総合センター	内容/親面接事例のコメントと解釈。主催/西宮市子育て総合センター。
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
2018.04-現在		NPO法人大学院連合メンタルヘルスセンター顧問		
2018.12-現在		PCIT関西研究会代表		
その他社会活動上特記すべき事項				
西宮市甲陽園小学校ボランティアの募集・紹介				
兵庫少年友の会ボランティア(神戸市家庭裁判所)の募集・紹介				
宝塚市教育センターボランティアの募集・紹介				
PCITWebミーティングのリーダー				
PCIT関西研究会の組織化と運営				
医療機関での音楽療法による疼痛緩和プロジェクト研究協力(医療法人坂本病院)				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		
2019.04-現在 (月2回 計24回実施)	アメリカ	PCIT の創始者Dr. Eyberg(PCIT International) およびマスタートレーナーDr. Brestan-Knight(Professor, Auburn Univ.)とのネットによる遠隔トレーナーグループコンサルテーション(国内で作業)		

氏名／所属／職名

三浦 欽也 MIURA Kinya / 心理・行動科学科 / 教授

学位					
工学士, 工学修士, 博士(工学)					
専門分野					
認知科学					
研究課題					
感情のモデル化とその応用, 人間らしさの認知の構造に関する研究, 感性の情報化に関する研究					
教育活動					
担当授業科目(大学)					
認知科学概論, 地域活性化総合実習, 心理学入門ゼミ, 数学入門, 情報科学基礎演習, IT基礎演習, IT応用演習, プログラミング演習, 認知情報処理, 人工知能論, 演習IA, 演習IB, 演習II, 演習IIA, 演習IIB, 卒業研究, 卒業研究A, 卒業研究B					
担当授業科目(大学院)					
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要	
e-Learning システム (Moodle) の活用		2019.04-2020.01	Sc184(1), Sc285(1), BS101(2), Sc185(2), Sc289(2) 各受講者	教材の提示・学生とのコミュニケーション・小テストの実施・課題の電子的な提出に活用した。	
WWW上の授業資料の改訂		2019.04-2020.01	Sc285(1), Sc289(2) 各受講者	WWW上の授業資料の改訂を行った。	
教材用サンプルプログラムの追加・改訂		2019.04-2020.01	Sc285(1), Sc289(2) 各受講者	教材用サンプルプログラムを追加・改訂した。	
研究活動					
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	
著書・CD					
学術論文					
学会発表					
その他の研究発表、演奏					
その他の著作、訳書等					
研究助成金の受給状況					
研究タイトル		助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要		
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間		学会役員名			
公開講座					
講座名、講演タイトル		単共の別	年月	場所	概要
学外機関委員等					
就任期間		機関名・委員名・役職名			
その他社会活動上特記すべき事項					

海外での活動

海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること

期間	国名	概要

学位				
学士(文学), 修士(人間科学), 博士(人間科学)				
専門分野				
社会心理学、特にコミュニケーションと対人関係の心理学				
研究課題				
対人コミュニケーションの心理メカニズムに関する研究, 第三者介入による対人コミュニケーション支援に関する研究, 日本人と中国人の対人コミュニケーションの比較研究, 緊急事態のコミュニケーションに関する研究, コミュニケーションの同期現象				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
クローバーゼミ, 対人関係心理学, 演習IA, 演習IB, 演習IIA, 演習IIB, 卒業研究A, 卒業研究B				
担当授業科目(大学院)				
その他教育活動上特記すべき事項				
対人関係心理学研究室のWebサイト運用	年月	対象者	概要	
	2019年度	心理・行動科学科の学生	対人関係心理学研究室のWebサイトを運用している(http://m-kimura.net/)。サイトでは、研究室で学ぶ研究内容や活動内容を紹介している。また卒業研究に際して有用な学外のサイトも紹介している。これにより、ゼミ生の教育に役立てるとともに、これから専門分野を選択する学科生の検討材料にしよう。	
「心理学検定公式問題集2020年度版」の解説を一部担当	2020.03.13	心理学検定を受験する学生	日本心理学諸学会連合 心理学検定局(編)(2020). 心理学検定公式問題集2020年度版 実務教育出版。	
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
『感情心理学ハンドブック』	共	2019.09.14	北大路書房	共著/内山伊知郎(監修)他 担当箇所/「12章1節 親密な関係における感情」「トピック23 他者の感情を正確に判断できるのか」pp.243-248, 241.
学術論文				
“Rhythmic Features of Movement Synchrony for Bonding Individuals in Dyadic Interaction”	共	2020.02	『Journal of Nonverbal Behavior』, Volume 44, Issue 1	Co-authors: Ken Fujiwara, Ikuo Daibo. Pp. 173-193
「緊急時のコミュニケーションを心理学から紐解く—第2回 コミュニケーション心理学の基本(2)—」	共	2020.02	東京法令出版 『プレホスピタル・ケア』 155号	共著/塩谷尚正。Pp.66-67.
「緊急時のコミュニケーションを心理学から紐解く—第1回 コミュニケーション心理学の基本(1)—」	共	2019.12	東京法令出版 『プレホスピタル・ケア』 154号	共著/塩谷尚正。Pp.54-55.
学会発表				
“Synchronization of spontaneous pupillary dilation during real dyadic conversations”	共	2020.02.29	2020 Annual Convention of Society for Personality and Social Psychology, New Orleans, LA, USA.	Co-authors: Shanshan Yu, Akihito Yoshii, Kentaro Murase, Kiyonori Morioka, Minami Shinzato & Yuka Wakamatsu
“Characteristics of Japanese nonverbal communication knowledge.”	共	2020.02.29	2020 Annual Convention of Society for Personality and Social Psychology, New Orleans, LA, USA.	Co-authors: Kazumi Ogawa, Ken Fujiwara & Judith Hall
“Experimental study of confrontational discussions in collectivistic cultures: Comparison between Japanese and Chinese people.”	共	2019.07.11	The 13th Biennial Conference of Asian Association of Social Psychology, Taipei, Taiwan.	Co-authors: Xinhua Mao, Jinsheng Hu & Chihiro Kobayashi

「119番通報の事前知識がコミュニケーションの迅速さに及ぼす効果」	共	2019.11.10	日本社会心理学会第60回大会発表論文集, p.89. 於: 立正大学	共同発表/塩谷尚正・北小屋 裕		
「在中国日本人留学生の中国文化適応に関する社会的スキル・トレーニングの試み」	共	2019.11.09	日本社会心理学会第60回大会発表論文集, p.154. 於: 立正大学	共同発表/毛 新華		
「日本人用非言語的コミュニケーションに関する知識テストの作成」	共	2019.09.12	日本心理学会第83回大会発表論文集, p.186. 於: 立命館大学	共同発表/小川一美・藤原 健		
「サービス場面における誠実な謝罪と道具的な謝罪の非言語表出の検討」	共	2019.09.12	日本心理学会第83回大会発表論文集, p.125. 於: 立命館大学	共同発表/山本恭子・逢坂美希		
「集団主義文化における対立的討議の実験研究－対人葛藤と言語・非言語的行動による対処方略に関する日本人と中国人の比較－」	共	2019.09.11	日本心理学会第83回大会発表論文集, p.101. 於: 立命館大学	共同発表/毛 新華・胡 金生・小林知博		
「心理学を加味した口頭指導教育の取り組み」	共	2019.05.31	第22回日本臨床救急医学会総会・学術集会プログラム・抄録集, p.237. 於: 和歌山県民文化会館	共同発表/北小屋 裕・塩谷尚正		
「パネルディスカッション「通信指令教育について」事後検証を通して見えてきたCPA口頭指導不能症例の現状と課題の検討」	共	2020.02.08	第3回通信指令シンポジウム「通信指令を次のステージへ」於: 帝京平成大学	共同発表/阪上哲也・木村信広・松浦治人・大西 保・中尾彰太・松岡哲也		
「119番通報の事前知識による効果の心理学実験」	共	2020.02.08	第3回通信指令シンポジウム「通信指令を次のステージへ」於: 帝京平成大学	共同発表/塩谷尚正・北小屋裕		
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
日本人と中国人の異文化コミュニケーションに関する実験社会心理学的研究	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)			代	1,000千円	2019年度
解読力を測定する日本人用課題遂行型テストの開発	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)			分	200千円	2019年度
産官学連携の受給状況						
対人コミュニケーションにおける振る舞いの効果検証	株式会社 富士通研究所 人工知能研究所			代	1,000千円	2019年度
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要				
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
2019.06-現在	日本感情心理学会・「感情心理学研究」編集事務局長					
2019.04-現在	日本社会心理学会・学会活動委員					
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名					
その他社会活動上特記すべき事項						
2019年12月12日、兵庫県消防学校で令和元年度特別教育「通信指令科」の「通信指令と心理学」の講師を担当した。						
2019年10月9日、大阪府立消防学校で第128回特別教育通信指令研修の「緊急通信の心理学－通信指令業務教育における心理学の導入－」の講師を担当した。						

2019年9月17日と18日の2日間、泉州南広域消防本部で泉州地域メディカル・コントロール協議会の「緊急時の心理メカニズムとコミュニケーション心理学」の講師を担当した。

2019年8月22日、宮崎県消防学校で宮崎県消防学校・通信指令研修の「通信コミュニケーション総論・各論」の講師を担当した。

海外での活動

海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること

期間	国名	概要

氏名／所属／職名

水本 誠一 MIZUMOTO Seiichi / 心理・行動科学科 / 准教授

学位				
理学士				
専門分野				
精神保健福祉				
研究課題				
地域コンフリクトの解消・共生				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
精神保健福祉援助演習(基礎), 精神保健福祉に関する制度とサービス, 精神保健福祉援助演習(専門)I, 精神保健福祉援助演習(専門)II, 精神保健福祉援助実習指導I, 精神保健福祉援助実習指導II, 精神保健福祉援助実習, 演習IA, 演習IB, 演習IIA, 演習IIB, 卒業研究A, 卒業研究B				
担当授業科目(大学院)				
その他教育活動上特記すべき事項				
	年月	対象者		概要
学生ケア	2019.07-2020.03	学生A 及び当該保護者		発達障害のカミングアウトに伴う日常生活及び学習に関する相談支援
学生ケア	2019.12-2020.03	学生B 及び当該保護者		精神障害のカミングアウトに伴う日常生活及び学習に関する相談支援
職員ケア(学院環境)	2019.08-2020.02	職員A		学院環境に関連した課題改善
『音楽』(教科書/特別支援学校中学部障害者用)	継続	東京書籍		With You Smile (2012.02.10発行)
『音楽』(教科書解説/特別支援学校中学部障害者用)	継続	東京書籍		With You Smile (2012.04.10発行)
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
学会発表				
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
楽譜に書ききれなかったこと「歌は人間だけに与えられた神様からの贈りもの」～音を重ねる日々は、やがて心を重ねる日々～	単	2020.01.01	『教育音楽』小学校版 第75巻1月号、音楽之友社出版	pp.52-55。
楽譜に書ききれなかったこと「歌は人間だけに与えられた神様からの贈りもの」～音を重ねる日々は、やがて心を重ねる日々～	単	2020.01.01	『教育音楽』中学・高校版 第64巻1月号、音楽之友社出版	pp.62-65。
研究助成金の受給状況				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別
				支給額
				支給年度
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間	学会役員名			

公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
障害者の人権擁護と相談支援	単	2019.09.03 2019.09.12	(社福)はづき福祉会	内容/障害者への偏見差別について、障害者差別解消法の視点から考え、適切な相談支援活動に繋げる。主催/社会福祉法人はづき福祉会。
障害者の人権擁護と相談支援	単	2019.09.18	(社福)尼崎あすなろ福祉会	内容/障害者への偏見差別について、障害者差別解消法の視点から考え、適切な相談支援活動に繋げる。主催/社会福祉法人尼崎あすなろ福祉会。
コンクール等の審査				
大阪府精神医療審査会	共	2019.04.22	大阪府こころの健康総合センター	大阪府(根拠:精神保健福祉法第12条)
大阪府精神医療審査会	共	2019.05.13	大阪府こころの健康総合センター	大阪府(根拠:精神保健福祉法第13条)
大阪府精神医療審査会	共	2019.05.27	大阪府こころの健康総合センター	大阪府(根拠:精神保健福祉法第14条)
大阪府精神医療審査会	共	2019.06.10	大阪府こころの健康総合センター	大阪府(根拠:精神保健福祉法第15条)
大阪府精神医療審査会	共	2019.07.01	大阪府こころの健康総合センター	大阪府(根拠:精神保健福祉法第16条)
大阪府精神医療審査会	共	2019.07.08	大阪府こころの健康総合センター	大阪府(根拠:精神保健福祉法第17条)
大阪府精神医療審査会	共	2019.09.02	大阪府こころの健康総合センター	大阪府(根拠:精神保健福祉法第18条)
大阪府精神医療審査会	共	2019.09.19	大阪府こころの健康総合センター	大阪府(根拠:精神保健福祉法第19条)
大阪府精神医療審査会	共	2019.10.07	大阪府こころの健康総合センター	大阪府(根拠:精神保健福祉法第20条)
大阪府精神医療審査会	共	2019.10.21	大阪府こころの健康総合センター	大阪府(根拠:精神保健福祉法第21条)
大阪府精神医療審査会	共	2019.10.28	大阪府こころの健康総合センター	大阪府(根拠:精神保健福祉法第22条)
大阪府精神医療審査会	共	2019.11.11	大阪府こころの健康総合センター	大阪府(根拠:精神保健福祉法第23条)
大阪府精神医療審査会	共	2019.12.23	大阪府こころの健康総合センター	大阪府(根拠:精神保健福祉法第24条)
大阪府精神医療審査会	共	2020.01.27	大阪府こころの健康総合センター	大阪府(根拠:精神保健福祉法第25条)
大阪府精神医療審査会	共	2020.02.10	大阪府こころの健康総合センター	大阪府(根拠:精神保健福祉法第26条)
大阪府精神医療審査会	共	2020.02.17	大阪府こころの健康総合センター	大阪府(根拠:精神保健福祉法第12条)
大阪府精神医療審査会	共	2020.03.09	大阪府こころの健康総合センター	大阪府(根拠:精神保健福祉法第12条)
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名			
2002.07-2020.03	社会福祉法人 はづき福祉会 理事長			
2008.04-2020.03	大阪府精神医療審査会 委員			
2009.10-2020.03	阪神子どもの虐待防止ネットワーク「ほっと」運営委員			
2009.11-2020.03	社会福祉法人 あすなろ福祉会 理事長			
2013.04-2020.03	社会福祉法人 精神障害者社会復帰促進協会 (理事、2017.5～評議員)			
その他社会活動上特記すべき事項				
1982-現在 障がい者グループへの器楽演奏指導				
1992-現在 障がい者グループのミュージカル指導(創作及び演奏)				
2008-現在 精神障害者個別カウンセリング(無料)				
2019.09.28 障がい者グループによるライブコンサート及びミュージカルの企画・上演 (TAKE FIVE/茨木市内ライブハウス)				
2019.12.19 兵庫県芸術文化交流会 (神戸女学院大学教員として出席。県下文化人との交流/ホテルオークラ神戸)				

海外での活動

海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること

期間	国名	概要

学位				
学士(教育学), 修士(教育学), 博士(教育学)				
専門分野				
臨床心理学				
研究課題				
青年期の友人関係(発達の変遷とその問題), 遊戯療法の実践教育と事例研究, PCIT(親子相互交流療法)の実践と研究				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
臨床心理学概論, 臨床心理学, 臨床子ども学, 演習IA, 演習IB				
担当授業科目(大学院)				
臨床心理実習I(心理実践実習I), 臨床心理実習II, 臨床心理地域実践実習III(心理実践実V), 臨床心理面接特論II, 臨床心理学特別研究I, 臨床心理査定演習I(心理的アセスメントに関する理論と実践), 臨床心理査定演習II				
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要	
授業実践における工夫①	2019.09-2020.01	「臨床子ども学」受講者	毎回の授業で課す感想、質問コメントについて、次回の授業でフィードバックを行った。	
授業実践における工夫②	2019.06-2019.08	「臨床心理査定演習」(大学院)受講者	受講生が実習課題として実施した個別の検査結果の解釈、所見作成にあたり、査定の結果についての個別報告会を行い、指導を行った。	
授業実践における工夫③	2019.09-2020.01	「臨床心理面接特論」受講者	クライアント役、セラピスト役に対して毎回の授業で課す感想、質問コメントについて、次回の授業でフィードバックを行った。	
ジェンダー研究会への参加	2020.02-2020.03	大学院生、研修生(有志)	人間科学研究科教員と院生の合同研究会である「ジェンダー研究会」に参加し、院生の研究発表にコメントを行い、領域横断的な学術的交流を行った。	
大学院人間科学研究科 心理相談室主催事例検討会(みつば会)への参加	2020.06	大学院生、研修生	本学大学院生および修了生との合同事例検討会において、コメントを行った。	
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
「女子大学生の友人関係とSNSコミュニケーションの特徴―気遣いと心理的居場所感に着目して―」	単	2019.12	神戸女学院大学論集第66巻第2号	pp.63-77。
「三木論文へのコメント―プレイセラピーで子どもが自身の生に向き合うことを共にする―」(事例論文へのコメント論文)	単	2019.07	神戸松蔭女子学院大学大学院 神戸松蔭こころのケア・センター 臨床心理学研究第14号	pp.111-114。
学会発表				
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
研究助成金の受給状況				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		
公認心理師資格取得(国家資格) (登録番号:31507)	2019.10	2019年7月に実施された公認心理師試験を受験し、9月に合格したのち、10月に登録証を受けた。		

社会貢献活動				
学会役員				
就任期間		学会役員名		
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共 の別	年月	場所	概要
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
その他社会活動上特記すべき事項				
2019.04-現在 心療内科での心理師としての活動				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

氏名／所属／職名 鶴田 英也 TSURUTA Hidenari / 心理・行動科学科 / 准教授

学位						
学士(文学), 修士(教育学)						
専門分野						
臨床心理学						
研究課題						
バウムのコスモロジーをめぐる研究, イメージの心理臨床, 心理療法のプロセス						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
臨床心理学概論, 臨床心理学, イメージの心理臨床学, 臨床心理学実習III(臨床中級実習)(講義を含む), 演習IA, 演習IB, 演習IIA, 演習IIB, 卒業研究A, 卒業研究B						
担当授業科目(大学院)						
臨床心理基礎実習, 心理実践実習I, 心理実践実習II, 臨床心理地域実践実習I(心理実践実習III), 臨床心理地域実践実習(心の健康教育に関する理論と実践), 臨床心理面接特論I(心理支援に関する理論と実践), 臨床心理学特別研究I, 臨床心理査定演習I(心理的アセスメントに関する理論と実践), 臨床心理査定演習II						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
合同事例検討会みつば会の参加		2019.07.20	大学院生・修了生	大学院生と修了生の事例検討会にコメンテーターとして参加した。		
投影法研究会		2019.05.08 2019.07.05 2019.09.06 2020.01.24 2020.02.14	大学院生	主に投影法に関わる事例について検討会を有志で行った。		
神戸家庭裁判所見学		2019.08.07	学部生	臨床心理実習IIIの一環として学生を見学しに引率した。		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
「発達の問題を主訴とする子どもの心理学的評価視点の検討」	単	2019.11.17	日本箱庭療法学会第33回大会	司会		
その他の研究発表、演奏						
巻頭言	単	2020.03.31	神戸女学院大学大学院人間科学研究科心理相談室紀要 心理相談研究			
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
心相ウィーク 講演(石谷真一教授) 司会	単	2019.07.31	神戸女学院大学	心理相談室主催		

学外機関委員等		
就任期間		機関名・委員名・役職名
2019.04-2020.03		大学院連合メンタルヘルスセンター・理事
2019.04-2020.03		公認心理師養成機関連盟・正会員
2019.04-2020.03		日本臨床心理士養成大学院協議会・代議員
その他社会活動上特記すべき事項		
海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要

学位				
学士(人間科学), 修士(人間科学), 博士(教育学)				
専門分野				
臨床心理学, 精神分析学, 発達心理学, 臨床実践指導学				
研究課題				
精神分析的な心理療法の臨床実践と研究, 自閉症スペクトラム障害をもつ子どもの親の援助, 医療領域における精神分析の応用, 臨床心理スーパーヴィジョンの在り方				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
クローバーゼミ, 演習IA, 演習IB				
担当授業科目(大学院)				
臨床心理地域実践実習I(心理実践実習III), 臨床心理地域実践実習II(心理実践実習IV), 臨床心理地域実践実習III(心理実践実習V), 人間科学合同演習I, 人間科学合同演習II, 人間科学合同演習				
その他教育活動上特記すべき事項				
大学院事例検討会「みつば会」への参加、指導	年月	対象者	概要	
	2019.07.20	大学院生、院修了生	大学院生と修了生、学外のコメンテーターによる事例検討会への参加と臨床指導	
大学院授業「臨床心理地域実践実習」における実習先訪問	2019.04-2020.03	大学院生、実習指導者	公認心理師養成における学外実習の初年度であるため、実習指導者との連絡調整を密に行い、また実習生をフォローするため、5週に1回の頻度で、延べ21回施設訪問した。	
大学院授業「臨床心理地域実践実習」における事後指導	2019.04-2020.03	大学院生	学外実習の事後指導をグループで継続的に行った。グループ指導の他にも、レポート添削や個別面談なども必要に応じて行った。実習生の不安やリアリティショックを受け止めつつ、臨床家としての姿勢や他職種との協働などの、実際のかつ実践的な姿勢を滋養するよう努めた。	
大学院授業「臨床心理実践実習」報告会における指導	2020.02.05	大学院生	学外実習での成果を、修士2回生が教員および修士1回生の前で発表する報告会である。その形式や内容について、指導を行った。また発表会の場においても適宜コメントした。	
大学院授業「臨床心理地域実践実習」における事前指導・オリエンテーション	2019.04. 2020.02-03	大学院生	学外実習の各領域(医療、福祉、教育、司法、産業)の特徴や社会的役割などについて学ばせ、実習先への挨拶・訪問を引率した。	
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
精神分析の治療関係と「真実を知りたいという本能」について	単	2020.03	神戸女学院大学大学院人間科学研究科『ヒューマンサイエンス』第23号	
学会発表				
「子どもの精神分析的な心理療法を学ぶ意義3-自分を生きることとセラピストになるということ」	共	2019.06.06	日本心理臨床学会第38回大会 自主シンポジウム1 話題提供者	共同発表/小笠原貴史、吉沢伸一、熊田知佳、若佐美奈子
「解釈の生成における治療者の無意識のはたらき」	単	2019.07.06	日本精神分析的な心理療法フォーラム 第8回大会 研究発表	
その他の研究発表、演奏				
神戸女学院大学 心理・行動科学科 学科別集会 「自分を生きて、女性が心理療法家になること」	単	2019.07.19	神戸女学院大学 心理・行動科学科	
その他の著作、訳書等				

研究助成金の受給状況				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元	代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要	
日本精神分析学会 認定心理療法士の資格取得		2019.11		
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間		学会役員名		
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
大阪大学医学部附属病院 子どものこころの診療センター 夏季セミナー 講義「発達検査とその解釈」	単	2019.08.31	大阪大学医学部マルチメディアホール	内容/小児科医対象の夏季セミナー。発達障害をもつ子どもへの支援における、子どものこころの診療センター所属の医師・心理士の連続講義において、発達検査の臨床的応用について講義を行った。 主催/大阪大学医学部附属病院子どものこころの診療センター
C-2地域連携型コース講義「手の届き難い方への精神分析的アプローチ～援助提供モデルと自己理解促進モデルの長所と短所～」	単	2019.12.22	東京大学医学部附属病院	内容/「トラウマに配慮して援助できる」「当事者と共同創造できる」「これらの実現のため組織の治療文化を変革できる」ことを目標とした職業・地域架橋型一価値に基づく支援者育成(2018-2022年)のTic-pocプログラムにおけるC-2コースにおいて、精神分析的アプローチを医療ケアに応用する方法についての講義を行った。 主催/東京大学 文部科学省課題解決型高度医療人材養成プログラム
NPO子どもの心理療法支援会主催 精神分析入門セミナー 対象関係論の展開 講義「現代クライン派の臨床と理論」	単	2020.03.07	大阪心理臨床研究所・京橋心理相談室	内容/心理士・大学院生対象の精神分析入門セミナー(対象関係論の展開)において、現代クライン派の臨床家の紹介と理論についての概説を行った。 主催/NPO法人子どもの心理療法支援会(サポチル)
NPO子どもの心理療法支援会主催 森ノ宮事例検討会 事例への助言者	単	2020.03.07	大阪心理臨床研究所・京橋心理相談室	内容/少人数クローズドでの臨床事例検討会において、スクールカウンセリングの事例に対し、精神分析的な心理療法士として助言を行った。 主催/NPO法人子どもの心理療法支援会(サポチル)
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
2019.04-2020.03		追手門学院大学大学院スーパーヴァイザー		
2019.04-2020.03		神戸松蔭女子学院大学大学院スーパーヴァイザー		
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

学位						
学士(文学), 修士(心理学), 博士(心理学)						
専門分野						
認知心理学						
研究課題						
ジェンダー意識の発達, 子どもの貧困と発達の問題						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
心理行動科学実験実習, 心理学実験, 知覚・認知心理学, 認知心理学, 演習IA, 演習IB, 演習IIA, 演習IIB, 卒業研究A, 卒業研究B						
担当授業科目(大学院)						
認知心理学特論, 人間行動学演習I, 人間行動学特別研究I						
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者		概要		
ジェンダー研究会を立ち上げ, 2019年度は6回開催した	2019.04-	主に, 人間科学研究科の大学院生・修了生と教員であるが, 他学科教員も参加		ジェンダーに関わる文献を講読したり, 外部講師を招いて海外の状況を学んだり, 院生の研究計画について議論した		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
小学校教諭におけるジェンダー意識と教科学習能力の性差に対する認識の関係 — ジェンダー・ステレオタイプの再生産防止のために —	単	2019.06.20	神戸女学院大学『論集』第66巻, 第1号	pp.73-84		
日本人の化粧に対する意識 — 女性の化粧義務の解消に向けて —	共	2020.03.20	神戸女学院大学『女性学評論』第34号	共著/山下海, 矢野円郁. pp.63-75		
男性保育士に対する態度とジェンダー・ステレオタイプとの関係 ～保育士の専門性認識を高めるために～	単	2020.03	『哲学』第144号	pp.219-238		
学会発表						
「女性は化粧すべきか？」	共	2019.09.11	日本心理学会第83回大会, 立命館大学	共同発表/山下海, 矢野円郁		
「怒りの表し方と夫婦関係満足度 — 夫と妻の違いについて —」	共	2019.09.12	日本心理学会第83回大会, 立命館大学	共同発表/森菜津子, 矢野円郁		
その他の研究発表、演奏						
名古屋工業大学石川有香科研公開シンポジウム「ジェンダーと英語教育」の招待講演	単	2020.03.27	京都キャンパスプラザ	「教育者のジェンダー・ステレオタイプの実態とその影響 — ステレオタイプの再生産を防止するために —」		
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
STEM分野の大学院生の進路選択における男女差	神戸女学院大学研究所 女性学Inst. 研究助成			代	99千円 (総額)	2019年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要				
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
2014.05-現在	日本交通心理学会 国際交流委員会・委員					

公開講座				
講座名、講演タイトル	単共 の別	年月	場所	概要
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
2014.08-現在		JAF兵庫支部交通安全実行委員会・常任委員		
その他社会活動上特記すべき事項				
2020.02.12 中高部の人権研修会でパネリストを務め, LGBTなどジェンダーに関わる問題についてコメントした				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

氏名／所属／職名

出口 弘 DEGUCHI Hiroshi / 環境・バイオサイエンス学科 / 教授

学位				
工学士, 工学修士, 工学博士				
専門分野				
計算機工学				
研究課題				
授業支援システム, マルチメディア教材開発				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
解析学基礎, 数学入門, 情報科学入門, IT基礎演習, IT応用演習, マルチメディア演習, 演習I, 演習II, 卒業研究				
担当授業科目(大学院)				
人間科学合同演習I, 人間科学合同演習II, 人間科学合同演習				
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要
Sc185(2)授業用Web教材改訂		2019.10-	全学	WinSCP対応
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
学会発表				
その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
研究助成金の受給状況				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別
				支給額
				支給年度
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間	学会役員名			
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名			
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

氏名/所属/職名

遠藤 知二 ENDO Tomoji / 環境・バイオサイエンス学科 / 教授

学位						
農学士, 農学修士, 農学博士						
専門分野						
動物生態学						
研究課題						
海岸砂丘動物群集の保全生態的研究, 管住性ハチ類の生態学研究, 熱帯雨林におけるアリをモデルとするアリ形グモ群集の進化生態学研究						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
生物の適応と進化, 動物生態学, 環境保護論, 演習I, 演習II, 環境科学基礎実習(講義を含む), 生態学実習I(講義を含む), 生態学実習II(講義を含む), クローバーゼミ, 卒業研究						
担当授業科目(大学院)						
環境科学特別研究II, 環境科学演習II(A)						
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要			
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
兵庫県における管住性ハチ類相の10年間の変化	共	2020.03.04-08	第67回日本生態学会, 名古屋大会	共同発表/遠藤知二、千原瞳、横岡睦美、辻井美咲、西本裕。		
近縁ドロバチ2種は寄生者を介して競争しているか? 野外操作実験による検証	共	2020.03.04-08	第67回日本生態学会, 名古屋大会	共同発表/辻井美咲、遠藤知二。		
アリグモはモデル・アリを見分けるか?	共	2020.03.04-08	第67回日本生態学会, 名古屋大会	共同発表/橋本佳明、遠藤知二、兵藤不二夫、市岡孝朗、山崎健史。		
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
コクロアナバチにおける共同育室の出現	共	2019.04.23	『昆虫と自然』5月号、ニューサイエンス社	共著/遠藤知二、今崎惟、牧菜々美、辻井美咲。pp.26-29。		
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
アリグモの種多様性を増大させるアリ擬態効果の解明	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)			分	240千円	2019年度
管住性ハチ類の採餌行動と対寄生者防衛行動に関する研究	人間科学部教育・研究助成			代	370千円	2019年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要				
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
朝日親と子の自然環境教室「昆虫および昆虫と植物の共生」	単	2019.07.06	神戸女学院・人間科学部	内容/自然観察・講義。主催/NPO法人シニア自然大学校。		
シニア自然大学校・星組「昆虫観察」	単	2019.07.27	神戸女学院・人間科学部	内容/自然観察・講義。主催/NPO法人シニア自然大学校。		

社家郷山で遊ぼうや「里山 昆虫採集&標本作り」	単	2019.08.04	社家郷山キャンプ場	内容/昆虫採集・標本製作の指導。主催/甲山自然環境センター。
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
2019.04-2020.03		西宮市環境計画パートナーシップ会議・委員		
2019.04-2020.03		西宮市生物多様性推進部会・委員		
2019.04-2020.03		兵庫県環境影響評価審査会・委員		
2019.04-2020.03		宝塚市環境審議会・委員		
2019.04-2020.03		兵庫県土地収用事業認定審議会・委員		
その他社会活動上特記すべき事項				
2019.09.25-JICA草の根技術協力事業で来日したソロモン諸島ホニアラ市長一行の本学視察訪問を案内				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		
2019.08.27-09.03	マレーシア	科研費による海外調査		

学位						
工学士, 工学修士, 博士(農学)						
専門分野						
環境化学						
研究課題						
化学物質の環境中での動態, 環境汚染物質の生物への影響評価, 環境汚染物質の処理						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
クローバーゼミ, 環境科学概論, 環境科学, 環境科学基礎実習(講義を含む), 環境科学実習(講義を含む), 演習I, 演習II, 卒業研究						
担当授業科目(大学院)						
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要			
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
Management strategies of soil heavy metal pollution in urban and agricultural areas:a short review	共	2019	NOVA,Soil pollution Sources, Management Strategies and Health Effects	Chee Kong Yap, Hideo Okamura, Hiroya Harino and Ram Avtar, 275-296		
学術論文						
東京湾のアマモZostera marinaにおける船底防汚物質の蓄積特性	共	2019.11	日本マリンエンジニアリング学会誌54,107-108,2019	大地まどか、金盛功治、張野宏也		
「竹炭を用いた排水中の有機物、窒素および陰イオン界面活性剤の除去」	共	2020.03.09	環境化学、30、11-15、2020	張野宏也、八束絵美		
学会発表						
「田辺湾における有機スズ化合物の汚染実態」	共	2019.06.12-14	第28回環境化学討論会、埼玉会館	張野宏也、曾根嵩玄、大地まどか、大和茂之		
「フナムシ属Ligia sp.における船底防汚物質の蓄積特性」	共	2019.06.12-14	第28回環境化学討論会、埼玉会館	曾根嵩玄、張野宏也、大地まどか		
「アルテミアArtemia salinaにおける船底防汚物質の急性毒性影響」	共	2019.06.12-14	第28回環境化学討論会、埼玉会館	岡村遥、張野宏也、大地まどか		
「東京湾周辺沿岸域における化学物質の実態」	共	2020.03.26-30	令和2年度日本水産学会春季大会、東京海洋大学品川キャンパス	張野宏也、角舎優一、大地まどか		
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
船底防汚物質の環境動態および生物影響に関する研究	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)			分	100千円	2019年度
沿岸域における酸化防止剤の汚染実態の解明	人間科学部教育研究助成金			代	740千円	2019年度
産官学連携の受給状況						
クロマグロ飼育水の環境測定	マルハニチロ株式会社			代	400千円	2019年度
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要				
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
2019.04-2020.03	日本分析化学会近畿支部幹事					
2019.04-2020.03	日本水産学会シンポジウム企画委員					

公開講座				
講座名、講演タイトル	単共 の別	年月	場所	概要
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名			
2019.04-2020.03	豊中市環境保全委員 委員			
2019.04-2020.03	吹田市環境影響評価審査会 委員			
2019.04-2020.03	兵庫県排出基準未設定化学物質評価検討委員 委員			
2019.04-2020.03	武庫川市民学会 監事			
2019.04-2020.03	武庫川流域圏ネットワーク 幹事			
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

学位				
教育学士, 修士(学術), 博士(学術)				
専門分野				
環境社会学, 科学教育				
研究課題				
環境理解を促進する地域コミュニティの形成と発展プロセス, 持続可能な社会構築に向けた科学リテラシー教育の展開				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
環境教育実践論, 理科教育法III, 環境社会学, 演習I, 演習II, 卒業研究				
担当授業科目(大学院)				
環境社会学特論, 人間科学合同演習I, 人間科学合同演習II, 人間科学合同演習				
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者		概要
アクティブラーニングによる教授法の授業への展開	2019.04-07	環境教育実践論受講者		3つのコンテンツを含むアクティブラーニングの実施をした。1) 動物園のフィールドワークを課外活動として行う, 2) 取材内容に基づいて動物紹介カードを制作する, 3) 学生同士のピアレビューによる評価。
理科指導法における教材研究の手法開発	2019.09-12	理科指導法(III)の受講生		中学校理科における教材の目的, 内容を理解し, 実際に制作し, 授業実践するという教材研究の手法開発に取り組んだ。
学生のケア	2019年前期・後期	演習I, 演習IIの受講生		単位数が少ない学生や欠席の多い学生への面談を行った。
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
Culture and Environment	共	2019	Brill	編者David Zandvliet 担当章chapter4 Using a Digital Picture Book to Promote Understanding of Human-Wildlife Conflict pp.59-74
学術論文				
学会発表				
Effective Socio-Scientific Communication Observing Audience Reaction to a Picture- Story Show at a Japanese Zoo	単	2019.07.04	The 50th Australasian Science Research Association Conference	(於 ニュージーランド・クイーンズタウン)
Exploring How a Card-Type Game for Terminal Care can Promote the Health and Well-Being Awareness of Non-Science Students	共	2019.08.28	The 13th Conference of European Science Education Research Association	共同発表/大貫麻美(於 イタリア・ボローニャ)
Using Kamishibai to Teach Socio- Environmental Human-Wildlife Issues for the Public: Grassroots Action in Response to the 15th SDGs	単	2019.11.23	2019 Global Conference on Teacher Education for Education for Sustainable Development	(於 岡山大学)
How Kamishibai Works to Promote Biodiversity Conservation Awareness for Citizens	単	2019.11.04	The 10th World Environmental Education Congress	(於 タイ・バンコク)
来園者の興味・関心を集めるコミュニケーション型展示の効果的デザイン:聴衆者の時系列変化からの検討	単	2019.08.23	第43回日本科学教育学会年会	論文集469-470 (於 宇都宮大学)
女子大学生を対象とした初年次教育のための生命倫理をテーマとしたアクティブラーニングの実践	共	2019.09.22	日本理科教育学会第69回全国大会	共同発表/大貫麻美, 論文集
諸外国の動物園から読み解く生物多様性保全を伝える展示デザインの特徴	共	2019.12.14	第60回日本動物園水族館教育研究会柏大会	共同発表/高岡素子, 論文集p.34
動物園のサイエンスコミュニケーションに関する一考察:ブラハ動物園(チェコ)を事例とした検討	共	2019.12.14	第60回日本動物園水族館教育研究会柏大会	共同発表/高岡素子, 論文集p.28

その他の研究発表、演奏				
その他の著作、訳書等				
研究助成金の受給状況				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元	代分の別	支給額	支給年度
科学リテラシー教育の応用によるグローバルシティズンシップ育成モデルの実証的研究	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)	代	430千円 0千円	2019年度
環境先進国の自然系博物館。動物園から探る生物多様性教育の効果的展開を実現する要件	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(B)	代	35000千円 3500千円	2019年度
未来を生きる女子の生命観と自己決定力を育む生命科学教育研究～私立学校を事例として	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(B)	分	800千円	2019年度
幼年期における科学的素養醸成のための科学コミュニケーションに関する学際的研究	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(A)	分	450千円	2019年度
産官学連携の受給状況				
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		
日本科学教育学会論文賞	2019.08.24	論文「動物園におけるコミュニケーション型展示の開発と評価」科学教育研究, 42(2), 73-81, 2018.		
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間	学会役員名			
2019.04-現在	日本科学教育学会代議員			
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名			
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		
2019.10.24-10.28	オーストリア	ウィーンシェーンブルン動物園における科学教育展示の調査(現地調査)		

学位			
農学士, 理学修士, 博士(学術)			
専門分野			
理科教育, 化学教育, 物理化学, 溶液論			
研究課題			
マイクロスケール実験に関する教材開発・改良と授業実践, 分子性溶液内の溶質-溶媒相互作用, 物理学および化学に関するリメディアル教育			
教育活動			
担当授業科目(大学)			
理科教育法I, 理科教育法II, 教職実践演習(中・高), 教育実習I, 教育実習II, クローバーゼミ, 化学入門, 化学概論, 文系のための化学入門, 物理学実習(講義を含む), 物理学概論			
担当授業科目(大学院)			
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要
教職関連業務全般	2019.04-2020.03	教職課程履修社および履修予定者	教職センターディレクターとして, 教職センターや教務課と連携しながら, 種々の教職課程関連業務(教職課程再課程認定申請手続き, 文科省等からのアンケート調査への回答, 文書作成, 非常勤講師の依頼, 教員採用試験対策講座等)に従事した。
教職課程に関する履修指導・相談	2019.04-2020.03	教職課程履修者および履修予定者	教職センターディレクターとして, 教職センターや教務課と連携しながら, 教職課程に関する履修指導・相談を随時実施した。
1年生アカデミックアドバイザー	2019.05/2019.10	環境・バイオサイエンス学科1年生	アカデミックアドバイザーとして, 環境・バイオサイエンス学科1年生に, 学期当初に履修カルテに基づき面談指導を行った。
2年生アカデミックアドバイザー	2019.05/2019.10	環境・バイオサイエンス学科2年生	アカデミックアドバイザーとして, 環境・バイオサイエンス学科2年生に, 学期当初に履修カルテに基づき面談指導を行った。
3年生対象第1回教職オリエンテーション	2019.04.12	3年生教職課程履修者	教職センターディレクターとして, 教職課程を履修するにあたっての注意事項や, 教育実習実施のための諸手続きに関して説明した。
4年生対象第1回教職オリエンテーション	2019.04.19	4年生教職課程履修者	教職センターディレクターとして, 教育実習実施の際の全般的な注意に関して説明した。
4年生対象第2回教職オリエンテーション	2019.04.20	4年生教職課程履修者	教職センターディレクターとして, 教育実習実施に向けて, 人権教育講演会とOG現職教員講演会を実施した。
1年生対象第1回教職オリエンテーション	2019.05.17	1年生教職課程履修予定者	教職センターディレクターとして, 教職課程の概要および教職課程を履修するにあたっての注意事項に関して説明した。
2年生対象第1回教職オリエンテーション	2019.05.31	2年生教職課程履修予定者	教職センターディレクターとして, 教職課程を履修するにあたっての注意事項に関して説明した。
理科専任教員免許取得に関する説明	2019.06.14	人間科学研究科博士前期課程進学予定者	教職センターディレクターとして, 理科専任教員免許取得に必要な履修方法について説明した。
1年生対象第2回教職オリエンテーション	2019.11.22	1年生教職課程履修予定者	教職センターディレクターとして, 教職課程を履修するにあたっての注意事項, 教員免許更新制度や, 履修カルテの記入方法に関して説明した。
2年生対象第1回教職オリエンテーション	2019.11.29	2年生教職課程履修予定者	教職センターディレクターとして, 教職課程を履修するにあたっての注意事項, 教職科目履修計画や, 履修カルテの記入方法に関して説明した。

3年生対象第2回教職オリエンテーション	2019.12.06	3年生教職課程履修者	教職センターディレクターとして、教職課程を履修するにあたっての注意事項、教職科目履修計画、近畿圏の教員採用試験の動向や、履修カルテの記入方法に関して説明した。
化学入門 文系のための化学入門	2019.04-07	主に全学1年生	授業で用いたパワーポイントの原稿をまとめた補助プリント(ハンドアウト)を作成し、授業開始時に配布した。随時問題演習を導入し、学習者の理解の定着を図った。なお、テキストとして、これまでの講義原稿をまとめて執筆した自書「化学の基礎」(化学同人)を用いた。
物理学概論	2019.04-07	主に環境・バイオサイエンス 学科2年生	授業で用いたパワーポイントの原稿をまとめた補助プリント(ハンドアウト)を作成し、授業開始時に配布した。随時問題演習を導入し、学習者の理解の定着を図った。
理科教育法I	2019.04-07	環境・バイオサイエンス学科 3年生教職課程履修者	授業で用いたパワーポイントの原稿をまとめた補助プリント(ハンドアウト)を作成し、授業開始時に配布した。次年度の教育実習に向けて高校理科の模擬授業(ミニ授業)を実施した。模擬授業の学習指導案・板書計画を集約した冊子や、模擬授業コメントシートを配布した。コメントシートについては、授業者ごとに集約して渡し、今後、授業を行う際の参考にするよう指導した。
物理学実習(講義を含む)	2019.09-2020.01	主に環境・バイオサイエンス 学科2年生	授業で用いたパワーポイントの原稿をまとめた補助プリント(ハンドアウト)を作成し、授業開始時に配布した。実験・実習を多く取り入れ、物理学に対する興味・関心を高めるように工夫した。実験レポートに関しては有効数字の誤りや考察の不備を指摘し、修正の後再提出させるなど、きめ細かい指導を行った。
化学概論	2019.09-2020.01	主に環境・バイオサイエンス 学科1年生	授業で用いたパワーポイントの原稿をまとめた補助プリント(ハンドアウト)を作成し、授業開始時に配布した。随時問題演習を導入し、学習者の理解の定着を図った。
理科教育法II	2019.09-2020.01	環境・バイオサイエンス学科 3年生教職課程履修者	授業で用いたパワーポイントの原稿をまとめた補助プリント(ハンドアウト)を作成し、授業開始時に配布した。次年度の教育実習に向けて中学校理科の模擬授業(ミニ授業)を実施した。模擬授業の学習指導案・板書計画を集約した冊子や、模擬授業コメントシートを配布した。
教育実習I・II	2019.04-2020.01	環境・バイオサイエンス学科 4年生教職課程履修者	中学校・高等学校理科教員免許を取得するための教育実習に関する指導を実施した(事前事後指導を含む)。具体的には、事前指導、実習校への訪問、事後指導、実習ノートの点検とコメント、評価等である。
教職実践演習	2019.09-2020.01	環境・バイオサイエンス学科 4年生教職課程履修者	教員としての資質が定着していることの確認のため、模擬授業やグループ討議を実施した。模擬授業の学習指導案・板書計画を集約した冊子や、模擬授業コメントシートを配布した。コメントシートについては、授業者ごとに集約して渡し、今後、授業を行う際の参考にするよう指導した。
クローバーゼミ	2019.09-2020.01	全学1年生	「教育」という共通テーマをもとに、専門分野の異なる3人の教員でアクティブ・ラーニングによる、学生主体型の授業を実施した。討議やディベートを通して、学生が主体的に学習する能力が修得できるように配慮した。
理科教職課程講演会第1回 「高校理科を教える楽しさと教材・教具の工夫」	2019.10.15	環境・バイオサイエンス学科 教職課程履修者及び 履修予定者	兵庫県立西宮今津高等学校教諭宮澤雄大氏(理科・化学)を講師に迎え、理科教職講演会を実施した。講師の依頼および講演会の司会を担当した。

理科教職課程講演会第2回 「中学校・高等学校で理科を指導するための心構え」	2019.12.19	環境・バイオサイエンス学科 4年生教職課程履修者	兵庫県立神戸高等学校教諭中澤克行氏(理科・化学)を講師に迎え、理科教職講演会を実施した。講師の依頼および講演会の司会を担当した。	
教職センター委員会の運営	2019.04-2020.03	教員・職員	教職センターディレクターとして、教職センター委員会を運営し、必要に応じて委員会を開催した。	
「神戸女学院大学教職センター研究紀要」の編集・発行	2019.07-2020.03	教員・職員	本学の教職センター委員会が発行する電子ジャーナル「神戸女学院大学教職センター研究紀要」の第3巻第1号、2号を発行した。編集は中川単独で行い、Moodleにアップロードした。	
教職関連科目のシラバスチェック	2020.03	教員・職員	2020年度本学で開講される教職に関する科目のシラバスを精査し、結果を教務課へ報告した。	
図書館新館における特集コーナー「メンデレーエフと周期表発表150年」の開催依頼	2019.11.18-12.06	教員・職員・学生	国際周期表年2019を記念して、図書館に特集コーナー「メンデレーエフと周期表発表150年」の開催を依頼した。ここでは、メンデレーエフ並びに周期表関連書籍を展示した。	
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				
学術論文				
「二成分系溶液とそれらの相互変換式に関する再検討(1)―濃度、コンテンツ、分率、および比の相互変換―」	単	2019.06.20	神戸女学院大学研究所『神戸女学院大学論集』第66巻第1号	pp.1-13.
「二成分系溶液とそれらの相互変換式に関する再検討(2)―濃度-コンテンツおよび濃度-分率の相互変換―」	単	2019.12.20	神戸女学院大学研究所『神戸女学院大学論集』第66巻第2号	pp.51-62.
“Micro-scale Experiment on Electrical Conductivities of Some Solids and Their Aqueous Solutions using Plastic Bottle Caps and Cardboard Container”(査読あり)	単	2019.07.30	Proceedings of 8th International Conference on Network for Inter-Asian Chemistry Educators	pp.88-89.
「物理学概論および物理学実習の授業における有効数字の指導法」	単	2019.10.18	神戸女学院大学教職センター『神戸女学院大学教職センター研究紀要』第3巻第1号	pp.19-27.
「ペットボトルのキャップと白板紙製容器を用いたマイクロスケール実験の提案」	単	2020.03.31	神戸女学院大学教職センター『神戸女学院大学教職センター研究紀要』第3巻第2号	pp.1-9.
「二成分系溶液とそれらの相互変換式に関する再検討(3)―濃度-比の相互変換―」	単	2020.03.31	神戸女学院大学教職センター『神戸女学院大学教職センター研究紀要』第3巻第2号	pp.23-31.
「神戸女学院大学教職オリエンテーションにおける教育実習事前指導―4年生教職課程履修者対象の講演―」	単	2020.03.31	神戸女学院大学教職センター『神戸女学院大学教職センター研究紀要』第3巻第2号	pp.33-44.
「化学概論における元素の周期律と周期表の授業と神戸女学院大学図書館における関連図書と資料の展示―国際周期表2019を祝賀して―」	単	2020.03.31	神戸女学院大学教職センター『神戸女学院大学教職センター研究紀要』第3巻第2号	pp.55-64.
学会発表				
「生徒主体型学習による「化学反応の量的関係」の実験のマイクロスケール化」	共	2019.06.04	第21回近畿地区化学教育研究発表会, 8, 大阪教育大学天王寺キャンパス	共同発表/平井俊男, 中川徹夫.

「ペットボトルのキャップと紙製容器を用いたマイクロスケール実験教材の開発ー小学校から中学校、高等学校まで幅広い校種で使用できる教材ー」	単	2019.06.04	第21回近畿地区化学教育研究発表会, 9, 大阪教育大学天王寺キャンパス			
“Micro-scale Experiment on Electrical Conductivities of Some Solids and Their Aqueous Solutions using Plastic Bottle Caps and Cardboard Container”	単	2019.07.30-08.01	8th International Conference on Network for Inter-Asian Chemistry Educators, #1033, Taipei, Taiwan			
「ペットボトルのキャップを用いた酢酸およびアンモニアの電離平衡の移動に関するマイクロスケール実験」	単	2019.09.22-23	日本理科教育学会第69回全国大会, 2J05, 静岡大学静岡キャンパス			
「理科教育に有用なマイクロスケール実験ーペットボトルのキャップを使用した酢酸とアンモニアの電離平衡の移動ー」	単	2019.10.13-14	日本教科教育学会第45回全国大会, 1C2-1, 愛知教育大学			
「電離平衡の移動に関するマイクロスケール実験の授業実践ーペットボトルのキャップを使用した酢酸とアンモニアの電離平衡の移動ー」	単	2019.11.30	日本理科教育学会近畿支部大会(和歌山大会), A-07, 和歌山大学教育学部附属中学校			
「中学校理科や高等学校化学教科書にみられる塩化ナトリウムの水に対する溶解度の値は正確だろうか?」	単	2020.03.22-25	日本化学会第100春季年会, 2I2-07, 東京理科大学野田キャンパス			
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
生徒主体型学習に有用なマイクロスケール実験教材の開発と改良	日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)			代	600千円	2019年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要				
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名					
2019.04-2020.03	兵庫県教員免許更新講習連絡協議会・委員					
その他社会活動上特記すべき事項						
2019.04-現在 マイクロスケール実験に関する指導助言(小学校・中学校・高等学校理科教員対象, 随時)						
2019.04-現在 化学, とりわけ物理化学に関する指導助言(中学校・高等学校理科教員対象, 随時)						
2019.04-現在 理科教育, とりわけ化学教育に関する指導助言(小学校・中学校・高等学校理科教員対象, 随時)						
2019.04-現在 探究活動, 課題研究に関する指導助言(高等学校理科教員対象, 随時)						
2019.04-現在 科研費の研究協力者に対する情報提供(科研費の研究協力者に対して, 学会や研究発表会に関する情報を, 電子メールで配信)						
2019.04-2020.03 理科教育に関する普及活動1(実験マニュアル「マイクロスケール実験シート」(改訂版)を学会会場, オープンキャンパス等で配布)						
2019.04-2020.03 理科教育に関する普及活動2(「白板紙製マイクロスケール実験容器」を学会会場, オープンキャンパス等で配布)						
2019.08.04 サイエンス体験「ペットボトルのキャップを使用したマイクロスケール実験で, 電離平衡の移動を調べよう!」, 神戸女学院大学						
2019.10.24 平成31年度神戸高校SSH特別講義「ペットボトルのキャップを使用したマイクロスケール実験で, 電離平衡の移動を調べよう!」, 兵庫県立神戸高等学校						
2020.02 マイクロスケール実験容器作成用紙の提案・作製						

海外での活動

海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること

期間	国名	概要

氏名／所属／職名

西田 昌司 NISHIDA Masashi / 環境・バイオサイエンス学科 / 教授

学位						
理学士, 理学修士, 医学士, 医学博士						
専門分野						
健康医学						
研究課題						
細胞のストレス応答, 動脈硬化						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
入門ゼミ, バイオサイエンス基礎実習(講義を含む), 人体の構造と機能, 生命の科学実習(講義を含む), 病気の細胞生物学, 健康医学, 演習I, 演習II, 卒業研究						
担当授業科目(大学院)						
専門領域通訳特論(自然科学)II, 細胞生物学特論						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
アミロイドβによる神経細胞障害機構に及ぼすエストロゲンの効果	単	2019.06	神戸女学院大学論集第66巻	pp.15-25		
学会発表						
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
ストレスによる生体応答の評価に関する領域融合的研究	神戸女学院大学研究所 総合研究助成			分	1,486千円 (総額)	2019年度
温熱負荷が筋細胞のエネルギー代謝、Ca動態に及ぼす影響	神戸女学院大学研究所 研究助成			代	300千円 (総額)	2019年度
筋疲労に対する温熱負荷の効果	人間科学部教育・研究助成			代	740千円	2019年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間		機関名・委員名・役職名				
2019.04-2020.03		大学基準協会大学評価第1分科会委員				
2019.04-2020.03		全国大学保健管理協会評議員				
その他社会活動上特記すべき事項						

海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要

氏名／所属／職名

野寄 玲児 NOZAKI Reiji / 環境・バイオサイエンス学科 / 教授

学位					
農学士, 農学修士, 農学博士					
専門分野					
植物生態学					
研究課題					
東播磨における禿げ山の植生学的研究, 日本の植生帯の研究, ブナ科樹木の生態					
教育活動					
担当授業科目(大学)					
入門ゼミ, 環境科学基礎実習(講義を含む), 地域活性化論, 地域活性化総合実習, 自然観察入門, 地球生物圏の科学, 植物生態学, 生態学実習I(講義を含む), 生態学実習II(講義を含む), 演習I, 演習II, 卒業研究					
担当授業科目(大学院)					
植物生態学特論					
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要	
研究活動					
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	
著書・CD					
学術論文					
学会発表					
その他の研究発表、演奏					
その他の著作、訳書等					
研究助成金の受給状況					
研究タイトル		助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要		
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間		学会役員名			
公開講座					
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要	
西宮の都市近郊の自然 神戸女学院岡田山キャンパスの自然とカラスの生態	単	2019.09.02	西宮市フレンテホール	2019年度 西宮市生涯学習大学「宮水学園」ふるさと講座	
身近な教材、どんぐりを用いた生物学教育	単	2019.08.03	神戸女学院大学	兵庫県高等学校教育研究会生物部会 令和元年第1回神戸・阪神支部合同研修会	
学外機関委員等					
就任期間		機関名・委員名・役職名			
その他社会活動上特記すべき事項					
2019.05.7, 07.9, 11.5, 2019.02.18 西宮市立甲東小学校3年生自然にふれあう体験型環境学習「調べよう甲東の自然」全4回講師(本学)					
2019.10.21 門戸幼稚園どんぐり拾い指導(本学)					
海外での活動					
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること					
期間	国名	概要			

氏名／所属／職名

塩見 尚史 SHIOMI Naofumi / 環境・バイオサイエンス学科 / 教授

学位						
工学士, 工学修士, 博士(工学)						
専門分野						
応用生命科学						
研究課題						
微生物を利用したバイオレメディエーション, メタボリックシンドロームの機構とその予防, 細胞の分化とその利用, 細胞の老化機構の解析と若返り物質の探索						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
地域活性化総合実習, プレゼンテーション演習, 生命科学概論, バイオサイエンス基礎実習(講義を含む), 微生物学実習(講義を含む), 食品環境学, バイオテクノロジー概論, 演習I, 演習II, 卒業研究						
担当授業科目(大学院)						
その他教育活動上特記すべき事項						
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
アートウォークinKobeー神戸のパブリックアート散策ー	単	2020.03.20	三和印刷(株)	単著/塩見尚史		
Current Topics in Biochemical Engineering	単	2019	InTech	編集/塩見 尚史		
Current Topics in Biochemical Engineering Chapter Introductory Chapter 1” Artificial Enzyme Introduced by Directed Evolution Technology”	単	2019	InTech	単著/塩見 尚史		
学術論文						
学会発表						
「低温処理がマウス細胞に及ぼす影響とベージュ脂肪細胞への分化」	共	2020.03.18	日本農芸化学会2020年度大会[福岡]	共同発表/塩見尚史, 富士原由貴		
「高濃度スベルミンによる体細胞から多能性幹細胞への脱分化」	単	2019.09.18	第71回日本生物工学会大会(2019)	塩見尚史		
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
細胞の若返りに関する研究2	人間科学部教育研究助成金			代	740千円	2019年度
ストレスによる生体応答の評価に関する領域融合的研究	神戸女学院大学研究所 総合研究助成			分	1,486千円 (総額)	2019年度
白色脂肪細胞からベージュ脂肪細胞への効率的な分化誘導	神戸女学院大学研究所 研究助成			代	300千円 (総額)	2019年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項						
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間			学会役員名			

公開講座				
講座名、講演タイトル	単共 の別	年月	場所	概要
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
2019.04－2020.03		InTech Book Editor		
2019.04－2020.03		MedOne Guest Editor		
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

学位					
農学士, 農学修士, 博士(学術)					
専門分野					
食品科学					
研究課題					
教室内環境がアレルギーと喘息に対する影響, アミノ酸に対する身体の応答性について, 抗不安作用をもつ食品の探索, 発酵食品の機能性、紅茶、緑茶の機能性、鶏肉の調理特性					
教育活動					
担当授業科目(大学)					
入門ゼミ, 栄養生理学, 食品学, 食品学基礎実習(講義を含む), バイオサイエンス基礎実習(講義を含む), 演習I, 演習II, 卒業研究					
担当授業科目(大学院)					
健康科学演習II, 健康科学特別研究II					
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要		
「ゼミ活動」神戸大学付属農場での農場実習	2019.09.12-14	ゼミ3,4年生	神戸大学の付属農場での実習		
e-learning システム Moodleの活用	2019.04.01-2020.03.31	HE361、HE253受講者	小テストの実施、質問の受付		
研究活動					
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	
著書・CD					
<i>Indoor Environmental Quality and Health Risk toward Healthier Environment for All.</i>	共	2019	Springer	Reiko Kishi Editors Chapter 5.	
学術論文					
“Effect of amino-acid intake on physical conditions and skin state: a randomized, double-blind, placebo-controlled, crossover trial”	共	2019.05.24	Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition 65(1):52-58	Motoko Takaoka,,Saki Okumura, Taizo Seki, Masaru Ohtani	
学会発表					
“Effects of green tea and L-theanine on psychological and physiological anti-stress responses among healthy female students”	共	2019.08.03-08	Asian Congress Nutrition 2019	Yuki Motono	
「動物園のサイエンスコミュニケーションに関する一考察: プラハ動物(チェコ)を事例とした検討」	共	2019.12.14-15	第60回動物園植物園研究会 柏大会	共同発表/三宅志穂	
「諸外国の動物園から読み解く生物多様性保全を伝える展示デザインの特徴」	共	2019.12.14-15	第60回動物園植物園研究会 柏大会	共同発表/三宅志穂	
“Effects of sake lees materials in the adipocyte differentiation gene expression”	共	2019.12.01-05	ICoFF2019/ISNFF 2019	Yuki Motono, Takeshi Imai, Iguchi Takafumi	
「鶏肉のおいしさの要因について プロイラーと京赤地鶏のムネ肉スープの比較」	共	2019.11.14	第58回栄養食科学会近畿支部会	共同発表/野々下 由希、趙姫楠、山之上 稔	
「熟成中の牛肉に及ぼす水素生成フィルム の鮮度保持および呈味物質増加効果」	共	2019.08.29-31	第66回日本食品科学工 学大会	共同発表/山之上 稔、岩崎 啓介、松井 哲也、上田 修司、中藤 伸之、野々下 由希	
その他の研究発表、演奏					
その他の著作、訳書等					
「精進料理考」吉村昇洋 書評	共	2019.10.17	『週刊読書人』		
研究助成金の受給状況					
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額	支給年度
環境先進国の自然系博物館・動物園から探る生物多様性教育の効果的 展開を実現する要件	日本学術振興会研究費補助金基盤研究(B)		分	144千円	2019年度
STEM分野の大学院生の進路選択における男女差	神戸女学院大学女性学Inst.助成		分	99千円 (総額)	2019年度
鶏肉のおいしさの数値化に関する研究	人間科学部教育・研究助成		代	740千円	2019年度

産官学連携の受給状況				
酒粕発酵物の肥満抑制作用に関する成分の探索	愛媛大学、ヤエガキ発酵技研(株)、 兵庫県工業技術センター	分	400千円	2019年度
アミノ酸の食品への応用研究	(株)DAC	代	20千円	2019年度
鶏肉のうま味成分に関連した遺伝子変動の解析	兵庫県工業技術センター	代	0	2019年度
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		
社会貢献活動				
学会役員				
就任期間		学会役員名		
2019.04-2020.03		日本調理科学会近畿支部会 委員		
2019.04-2020.03		発酵と酵素の機能食品研究会 理事		
2019.04-2020.03		神戸大学食資源教育研究センター 共同推進委員		
2019.04-2020.03		日本穀物研究会 理事		
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共 の別	年月	場所	概要
神戸婦人大学	単	2019.09.21	神戸市婦人会館	内容/体を温める食べ物について 主催/ 神戸市婦人会
西宮市 食の安全講演会	単	2019.05.29	西宮市役所	内容/腸内環境を整える食べ物 主催/ 西宮市保健所
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
その他社会活動上特記すべき事項				
2019.12.18 スーパーサイエンス(SSH)事業 兵庫「咲いテク」プログラム Rikejoを囲む会inたつの 龍野高校でSSHの高校生への講義と実験、座談会				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		
2019.11.29	スウェーデン	ジェンダー研究会におけるUppsala大学Dan Norback博士によるジェンダーバランスについての講義開催と学生との懇親会		

学位						
工学士, 工学修士, 工学博士						
専門分野						
食品分子機能科学						
研究課題						
食品成分の抗酸化性評価法に関する研究						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
食品機能解析実習(講義を含む),細胞生化学,バイオサイエンス基礎実習(講義を含む),食品分子機能科学,生物反応速度論,バイオサイエンス基礎実習(講義を含む),演習I,演習II,卒業研究						
担当授業科目(大学院)						
人間科学合同演習,人間科学合同演習I,人間科学合同演習II,健康科学演習II,健康科学特別研究II						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
学術論文						
「食品由来成分の抗酸化性を合理的に評価する」	単	2019.07.01	FFIジャーナルVol.224 No.03 2019			
学会発表						
国際ミニシンポジウム Forefront Research on Food Process Engineering -	単	2019.07.10	TFTビル東館(東京)	司会		
「活性酸素種がミオグロビン構造に与える影響」	共	2019.08.07-08	日本食品工学会、かがわ国際会議場	西村朱音、藤田彩花、大野利紗、坂根麻衣子、鷹野宏美、寺嶋正明		
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
「活性酸素種がミオグロビン構造に及ぼす影響」	人間科学部教育・研究助成			代	740千円	740千円
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要			
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
2019.04-2020.03		日本食品工学会・国際交流委員会委員				
2019.04-2020.03		化学工学会・バイオ部会役員				
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
学外機関委員等						
就任期間		機関名・委員名・役職名				
その他社会活動上特記すべき事項						
海外での活動						
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること						
期間	国名	概要				

氏名／所属／職名

横田 弘文 YOKOTA Hirofumi / 環境・バイオサイエンス学科 / 教授

学位					
農学学士, 農学修士, 博士(農学)					
専門分野					
生態毒性学					
研究課題					
化学物質の環境生物に対する毒性影響, 野生メダカの保護・育成に関する研究					
教育活動					
担当授業科目(大学)					
入門ゼミ, 環境科学基礎実習(講義を含む), 環境科学実習(講義を含む), 生態毒性学概論, 生態毒性学, 演習I, 演習II, 卒業研究					
担当授業科目(大学院)					
環境分子生物学特論, 環境科学演習I(E), 環境科学特別研究I					
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要	
研究活動					
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	
著書・CD					
Reproductive behavior of wild Japanese medaka. In "Medaka, biology, management, experimental protocols, vol.2", eds: Murata K, Kinoshita M, Naruse K.	共	2019.11.04	Wiley Blackwell	Kobayashi M, Kamide S, Yokota F, Iwata E pp.205-213.	
学術論文					
学会発表					
その他の研究発表、演奏					
「宝塚市西谷地区における野生メダカの遺伝子型解析 及び生息地における環境DNA分析の適用性」	共	2019.12.21	ひょうごユースecoフォーラム	共同発表/中嶋綾香・奥田薫子・島田愛希・古谷友里恵・江口さやか・横田弘文	
その他の著作、訳書等					
研究助成金の受給状況					
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額	支給年度
ストレスによる生体応答の評価に関する領域融合的研究	神戸女学院大学研究所 総合研究助成		代	1,486千円 (総額)	2019年度
加古川水系に生息する野生メダカの遺伝子型分布調査及び環境DNAを用いた野生メダカの生息状況の基礎検討-2	人間科学部教育・研究助成		代	560千円	2019年度
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要			
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間	学会役員名				
公開講座					
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要	
学外機関委員等					
就任期間	機関名・委員名・役職名				
2019.04-2020.03	化審法審査支援等検討会委員				
2019.04-2020.03	西宮市環境審議会委員長				

その他社会活動上特記すべき事項		
海外での活動		
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること		
期間	国名	概要

学位			
学士(教育学), 修士(教育学)			
専門分野			
スポーツ社会学, 体育学, 体育科教育学			
研究課題			
身体の近代化に関する研究			
教育活動			
担当授業科目(大学)			
健康スポーツ科学, 生涯スポーツコース(健やかさ再考[講義]), 生涯スポーツコース(ネット型スポーツ), 生涯スポーツコース(スポーツと社会[講義]), 生涯スポーツコース(フィットネス)			
担当授業科目(大学院)			
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要
健康スポーツ科学	2019.04-01	受講生	教育内容については、多くの運動やスポーツを取り扱い、学生一人ひとりが自分に合った運動やスポーツの実践および関わり方が持てるようにした。担当クラスの多くの学生が、2年次以降の選択科目の体育学(講義および実技)を履修しており、興味関心を高めることが出来ていると思われる。また、教育方法については、コミュニケーションを図ることを一番の目的とし、固定チームではなくランダムなチームを作成したり、少人数のグループもメンバーが時間内でも変わるようにした。学生には毎回、授業に関する感想と確認の問題を行い、双方向での情報交換の機会を保障した。この点は、押領の必要な学生や運動に対して苦手意識を持っている学生の状況を毎時間、確認することができ必要に応じて声かけができた。
生涯スポーツコース(健やかさ再考:講義)	2019.04-07	受講生	健康や身体に関する情報を提供するだけでなく、アルコールパッチテストや体組成の測定、骨密度の測定など実習的な内容も加え、学生の興味関心がより深まるようにした。配慮が必要な学生も含め、学生の学習環境として講義資料の見やすさ、内容の簡潔さ、映像を用いるなど行った。
生涯スポーツコース(スポーツと社会:講義)	2019.09-2020.01	受講生	教育内容については、身近なスポーツに関する事柄から各回の授業内容に迫るように工夫した。また、スポーツに関する映像や映画を紹介し、授業時間以外でのスポーツとの関りが持てるよう情報提供を行った。学生の毎回の感想をもとに、興味のある内容に近いスポーツ映画を紹介する等、双方向での情報共有に努めた。
生涯スポーツコース(ネット型)	2019.04-07	受講生	1つの種目ではなく、複数のネット型スポーツを扱うことで、それぞれに共通する技術・戦術への気づきが深まるとともに、学生の興味関心が持続している。また、最終回にスポーツ大会を実施し、チーム対抗で行ってきたスポーツを復習しながら、学生が中心となって会を運営する機会を設けた。
生涯スポーツコース(フィットネス)	2019.09-2020.01	受講生	運動強度や心拍数の変化を測定するスマートウォッチを用いて、運動による心身の変化が分かりやすいようにした。さまざまなエクササイズを一緒に行ったり、動画サイトを有効活用して、フィットネスに関する情報提供を行った。

研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
スポーツの「あたりまえ」を疑え！	共	2019.10.30	晃洋書房	共著/田島良輝・神野賢治編著。pp.25-46。		
学術論文						
学会発表						
「明治期におけるスポーツ観の再考-木下吉次(1961)による明治時代における運動の価値論の一考察から-」	単	2019.09.14	第25回西日本スポーツ社会学会			
その他の研究発表、演奏						
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
日本統治下における甲子園の受容と意義-台湾の嘉義農林の甲子園出場を手がかりに-	神戸女学院大学研究所 研究助成			代	139千円 (総額)	2019年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要				
社会貢献活動						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
2017.04-現在	日本スポーツ社会学会・広報委員					
公開講座						
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要		
スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会	単	2020.01.18, 26	兵庫県民会館	内容/講習会の講師を担当。主催/兵庫県体育協会		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名					
2018.06-継続中	西宮市スポーツ推進審議会委員 2019.06-同会副会長					
2017.07-継続中	スポーツクラブ21クラブアドバイザー派遣事業 アドバイザー					
2018.12-継続中	「(仮称)平野スポーツクラブ」設立準備委員会委員(スポーツ庁「運動部活動改革プラン」採択事業)					
2019.11-継続中	全国体育学習研究協議会・広報委員長					
その他社会活動上特記すべき事項						
2016.04-継続中 福祉レクリエーション・ネットワーク大阪運営委員						
海外での活動						
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること						
期間	国名	概要				

氏名／所属／職名

安田 友紀 YASUDA Yuki / 体育研究室 / 専任講師

学位			
学士(体育学), 修士(スポーツ科学)			
専門分野			
体育学, ダンス(ダンス・ムーブメント・セラピー), アダプテッド・スポーツ			
研究課題			
インクルーシブダンスにおける実践研究～地域交流事業としての評価検討の試み～、インクルーシブな活動におけるダンスプログラムの展開、生徒主体型学習に有効な身体表現(ダンス)の教材開発			
教育活動			
担当授業科目(大学)			
健康スポーツ科学, 生涯スポーツコース(アダプテッド・スポーツ科学[講義]), 生涯スポーツコース(民族舞踊)			
担当授業科目(大学院)			
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要
健康スポーツ科学	2019.04-2020.03	健康スポーツ科学履修者	毎授業の導入として、学生が抱える女性特有の健康問題(生理痛、頭痛、腰痛など)に焦点をあてた問いかけを行い、学生自らが生活習慣を見直し身体について考える時間を設けた。そして、運動やスポーツが健康にどのような意義があるか、約15分のレクチャーを経て実技へ展開する工夫を行った。実技においては、各種目の面白さを理解し、主体的に取り組めるよう毎授業資料を作成し、パワーポイントを用いた説明を簡潔に行った。身体能力に関わらず、誰もが共に楽しみ、動きを介したコミュニケーションが促進される身体活動となるよう、グループ分けやルール、用具を工夫し、安心安全に学生が取り組める積極的な声掛けを実施した。終結としては、毎授業において脈拍や運動強度、歩数の記録を行い、自身の身体の気づきを得るための振り返りを行った。また、学生が自宅で実践できるストレッチやヨガを取り入れ、快適な睡眠など日常生活の向上に繋がる取り組みを実施した。
民族舞踊	2019.04-07	民族舞踊履修者	国や地域の文化における知識を習得し、健康・体力の維持・増進をはかることを目標に、多様な国のフォークダンスをはじめ、「フラ」「よさこい」「エイサー」を主とした民族舞踊を行った。「フラ」においてはスカート、「よさこい」においては鳴子、「エイサー」においてはパーランクーを学生1人1つ用意し、より国や地域の文化に触れることができるよう準備を行った。また、グループワークを用いた創作を実施し、授業内発表を行った。それらを通して、授業で学んだ技術などを含め、自らの意見をグループで出し合い、共に創作するという過程において、学年や学部を超えたコミュニケーションを図れるよう積極的な声掛けを行い、達成感を得る工夫を行った。

アダプテッド・スポーツ科学	2019.09-2019.03	アダプテッド・スポーツ履修者	「多様性を受容する」ということをテーマに、他者理解や受容する姿勢に必要な環境とは何か、グループディスカッションなどグループワークを積極的に実施した。読み替え学生が安心して受講できるよう、声掛けを積極的に行い、必要に応じて個別対応するなど授業展開においても工夫を行った。さらに、2020年に開催されるオリンピック、パラリンピックに向け、興味関心を得る工夫として、日本や海外で実施されている現場の様子を理解できるよう視覚教材を積極的に用いた。また、アダプテッド・スポーツの体験機会を設け、身体が持つ可能性について、スポーツから日常生活において幅広く考え問う工夫をし、障害を含む多様性の理解と、受容する姿勢の意義を体験を通して学ぶ取り組みを実施した。		
研究活動					
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など	
著書・CD					
学術論文					
学会発表					
その他の研究発表、演奏					
その他の著作、訳書等					
研究助成金の受給状況					
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額	支給年度
インクルーシブダンスにおける実践研究～地域交流事業としての評価検討の試み～	神戸女学院大学研究所 研究助成		代	199千円	2019年度
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要			
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間	学会役員名				
公開講座					
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要	
学外機関委員等					
就任期間	機関名・委員名・役職名				
2016.04-現在	大阪女子体育連盟理事兼事務局長				
2019.06-2019.12	日本アダプテッド・スポーツ学会 第24回大会実行委員				
その他社会活動上特記すべき事項					
2005.04-現在 障がい児・者を主としたダンスグループにおけるダンス指導					
2019.10-2019.11 インクルーシブダンスワークショップの開催およびダンス指導					
海外での活動					
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること					
期間	国名	概要			

学位				
B.A.Ed., B.A., M.A., M.L.I.S.				
専門分野				
Applied Linguistics				
研究課題				
L2 speaking development, language testing & assessment, Rasch measurement, vocabulary acquisition, TBLT, CALL, library and information science				
教育活動				
担当授業科目(大学)				
Communication in English, Communication in English(II), English Honors(II)				
担当授業科目(大学院)				
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要	
Updated GE100ab/GE101ab part-time instructors' handbook.	2019.04.01	GE100ab/GE101ab instructors	2019 GE English Program Instructor Handbook	
Updated core course materials for GE100a.	2019.04.01	GE100a instructors and students	Conversation & Discussion Skills Coursepack, written tests, conversation evaluation sheet, discussion evaluation sheet	
Updated core course materials for GE101a.	2019.04.01	GE101a instructors and students	Pronunciation & Conversations Skills Coursepack, listening quizzes (A- + B/C-levels), pronunciation evaluation sheet, conversation evaluation sheet	
Served as GE101a EnglishCentral administrator	2019.04.01-2019.07.31	GE101a instructors and students	Served as on-site EnglishCentral administrator, liaison, and support	
Led the GE100a instructor orientation meetings.	2019.04.11-12	GE100a instructors	Provided 2019 GE Program Instructor Handbook, GE100a Teacher's Guide, course overview, etc. to all instructors.	
Led the GE101a instructor orientation meetings.	2019.04.08-10	GE101a instructors	Provided 2018 GE Program Instructor Handbook, course overview, and explained the course materials to all instructors.	
Led the GE100a instructor norming/feedback meetings.	2019.07.11-12	GE100a instructors	Meeting leader, norming example video discussion test & scoring guide, feedback discussion & survey	
Led the GE101a instructor norming/feedback meetings.	2019.07.08-10	GE101b instructors	Meeting leader, norming example pronunciation check & scoring guide, feedback discussion & survey	
Updated core course materials for GE100b.	2019.06.01	GE100b instructors and students	Conversation & Discussion Skills Coursepack, GE100b Teacher's Guide, written tests, conversation evaluation sheet, discussion evaluation sheet	
Updated core course materials for GE101b.	2019.06.01	GE101b instructors and students	Presentation Skills Coursepack (with co-author Kevin Ballou), Coursepack Answer Key, model presentation scripts, presentation evaluation sheets	
Hosted visiting University of Wyoming students in English Honors II.	2019.05.31-06.07	GE270 students and visiting University of Wyoming students	Hosted visiting University of Wyoming students in two special English Honors II classes focused on intercultural communication and discussion skills.	
Coordinated English Honors II "Travel Talk" presentations.	2019.06.01-30	GE270 students and all KC students in attendance	Coordinated the English Honors II students' "Travel Talk" presentation series held every Wednesday in June 2019.	
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など
著書・CD				

学術論文					
学会発表					
"Post-task transcription, revision, and reflection activities from the learner perspective"	共	2019.07.23	The Linguistic Association of Canada and the United States (LACUS) 2019 Conference, University of Waterloo, Waterloo, Ontario, Canada.		
"Learner perceptions of post-task transcription, revision, and reflection activities"	共	2019.09.20	The Second Language Research Forum (SLRF) 2019, Michigan State University, East Lansing, Michigan, U.S.A.		
"What do students think of post-task transcription and reflection activities?"	共	2019.11.01	The MITESOL 2019 Conference, Grand Valley State University, Grand Rapids, Michigan, U.S.A.		
"Making the most of post-task transcription"	共	2019.12.30	The 2019 International Conference on Education, Disney's Boardwalk Inn, Lake Buena Vista, Florida, U.S.A.		
その他の研究発表、演奏					
その他の著作、訳書等					
"Chapters: 2-1 Communication in English (GE100ab); 2-2 Communication in English II (GE101ab); 3-3 English Honors II (Speaking and Listening (GE270(1))."	分	2020.03.31	<i>Kobe College English Education Center Activity Report, Vol. 2.</i> Nishinomiya, Japan: Kobe College	Co-authors: Eiko Kawagoe & Chiaki Taoka	
研究助成金の受給状況					
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		代分の別	支給額	支給年度
"Post-task transcription, revision, and reflection activities from the learner perspective"	Kobe College Research Institute: International Presentation Grant		代	33,432円	2019
産官学連携の受給状況					
その他研究活動上特記すべき事項					
年月		概要			
社会貢献活動					
学会役員					
就任期間	学会役員名				
2019.04-2020.03	Editor, <i>Taking It to Task: The newsletter of the JALT task-based language teaching SIG</i>				
2019.04-2020.03	Publications Chair, JALT TBL SIG				
2019.04-2020.03	Proofreader, <i>JALT Journal</i>				
2019.04-2019.05	Editor, <i>JALT PanSIG 2019 Conference Handbook</i>				
2019.07	Proposal reviewer, TESOL International Convention & English Language Exposition				
2020.03	Proposal reviewer, JALT International Conference on Language Teaching and Learning				
公開講座					
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要	
学外機関委員等					
就任期間	機関名・委員名・役職名				
その他社会活動上特記すべき事項					

海外での活動

海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること

期間	国名	概要
2019.08.15- 2020.03.31	U.S.A.	Visiting Research Scholar at Bowling Green State University

備考：2019.08-2020.08 海外留学

学位						
学士(文学), 修士(英文学), M.A., Ph.D.						
専門分野						
認知言語学, 英語教育						
研究課題						
英語検定試験対策・指導法の研究, モチベーション研究						
教育活動						
担当授業科目(大学)						
English for International Communication(I), Reading and Writing English, English in Practice(I), English Honors(I), English Honors(II), Pre-English Honors: Reading and Writing, English for International Communication(II), Academic English for TOEFL and IELTS						
担当授業科目(大学院)						
その他教育活動上特記すべき事項						
年月	対象者	概要				
2019.04.22	全学科・全学年から希望者	留学のための英語検定、TOEFLとIELTSの違いや勉強の始め方について解説を行った。				
2019.05.24	全学科・全学年から希望者	主にTOEICが苦手と思っている学生に対して、基礎力をあげるためのおすすめ勉強法や使いやすいテキストについて説明した。				
2019.07.29	全学科・全学年から希望者	TOEFL iBT®テストの概要と説明。2019年8月からの変更点についても言及。過去の問題を使用したアクティビティーで対策法の解説も行った。				
2019.09	共通英語主催のスピーチコンテスト出場する1年生の学生	1時間半の間、数回にわたり、スピーチ原稿の英文校正と発表の指導を行った。				
2019.09-2020.01	ある一定の条件を満たした希望者	週4時間10週にわたるIELTSスコアアップを目的とした講座について、外部英語教育機関の選定、カリキュラムや運営の調整、効果を測るための学生へのアンケートの準備を行った。				
研究活動						
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前 曲名、担当頁など		
著書・CD						
『新形式対応 10日間集中 TOEFL iBTテスト スコア・アップ大特訓』	共	2020.01.18	アスク出版	2019年8月に変更されたTOEFL iBTテストに合わせて全体的な修正と加筆(p.180-182)		
学術論文						
学会発表						
その他の研究発表、演奏						
「英語教員対象TOEFL iBT®テストPropell®ワークショップに参加して得られること」	単	2020.01.17	TOEFLテスト日本事務局 公式チャンネル	英語教員に向けてTOEFL iBT Propell®ワークショップに参加する意義について		
その他の著作、訳書等						
研究助成金の受給状況						
研究タイトル	助成金タイトル、支給元			代分の別	支給額	支給年度
産官学連携の受給状況						
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要				

社会貢献活動				
学会役員				
就任期間		学会役員名		
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
「TOEFL iBT テストスキルアップセミナーin 広島」	単	2019.06.16	広島大学 東広島キャンパス	内容/受験予定・経験者向けに、テストの構成に関する説明、スコアアップのためのより効果的な学習方法についての解説と指導を行った。主催/国際教育交換協議会(CIEE)日本代表部、広島大学
「TOEFL ITP テストスキルアップセミナー」	単	2019.08.01	関西学院大学 上ヶ原キャンパス	内容/関西学院大学大学生を対象に、TOEFL ITPテストの問題を用いた英語力の伸ばし方、学習方法を充実させることによるスコアアップ達成の方法について解説と指導を行った。主催/関西学院大学 国際教育・協力センター
「Propell Workshop for the TOEFL iBT Test in Osaka」	単	2019.09.21	新大阪丸ビル別館	内容/英語教員を対象とした講座。テストの概要、採点基準、また統合的アプローチを使った指導法について解説した。主催/CIEE、ETS
「TOEFL iBT テストスキルアップセミナーin 大阪」	単	2019.11.16	関西大学 千里山キャンパス	内容/受験予定・経験者向けに、テストの構成に関する説明、スコアアップのためのより効果的な学習方法についての解説と指導を行った。主催/CIEE、関西大学
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
2016.08-現在		米国Educational Testing Service 公認トレーナー (TOEFL iBT テスト)		
2017.09-現在		米国Educational Testing Service 公認トレーナー (TOEFL ITP テスト)		
その他社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		

2019年度
神戸女学院大学 専任教員 教育・研究業績報告集

2020年11月発行

編集・発行 神戸女学院大学 学長室 (FDセンター)
〒662-8505 西宮市岡田山4番1号
TEL (0798) 51-8582

印刷所 三和印刷株式会社